注３ **大学番号：公010**

認可

［平成30年度設置］

計画の区分： 大学の設置

注１

公立小松大学

注２

【認可】設置に係る設置計画履行状況報告書

公立大学法人公立小松大学
平成３０年５月１日現在

作成担当者

担当部局（課）名　総務課

職名・氏名　係長・石黒（カカリチョウイシグロ）　康太郎（コウタロウ）

電話番号　0761-23-6600

（夜間）　0761-23-6600

ＦＡＸ　0761-48-3248

ｅ－mail　soumu@komatsu-u.ac.jp

（注）１　「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

２　大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院　・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には，表題には設置時の旧名称を記載し，その下欄に（　　）書きにて，現在の名称を記載してください。

例）　〇〇大学　△△学部　□□学科

（◇◇学部（平成◇◇年度より学部名称変更））

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例）

・大学新設の場合：「〇〇大学」

・学部の設置の場合：「〇〇大学　△△学部」

・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学　△△学部　□□学科」

・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学　△△学科」

・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院　〇〇研究科」

・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学　△△学部　□□学科（通信教育課程）」

３　大学番号の欄については，平成３０年３月２６日付事務連絡「履行状況報告書の提出について（依頼）」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

生産システム科学部

＜生産システム科学科＞　ページ

１．調査対象大学等の概要等　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１

２．授業科目の概要　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　５

３．施設・設備の整備状況、経費　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１０

４．ＡＣ対象学部等を含む大学等の状況　・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１１

５．教員組織の状況　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１２

６．留意事項等に対する履行状況等　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　２２

７．その他全般的事項　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　２３

保健医療学部

＜看護学科＞　ページ

１．調査対象大学等の概要等　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　２５

２．授業科目の概要　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　２９

３．施設・設備の整備状況、経費　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　３５

４．ＡＣ対象学部等を含む大学等の状況　・・・・・・・・・・・・・・・・・・　３６

５．教員組織の状況　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　３７

６．留意事項等に対する履行状況等　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　４８

７．その他全般的事項　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　４９

＜臨床工学科＞　ページ

１．調査対象大学等の概要等　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　５１

２．授業科目の概要　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　５５

３．施設・設備の整備状況、経費　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　６０

４．ＡＣ対象学部等を含む大学等の状況　・・・・・・・・・・・・・・・・・・　６１

５．教員組織の状況　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　６２

６．留意事項等に対する履行状況等　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　７２

７．その他全般的事項　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　７３

国際文化交流学部

＜国際文化交流学科＞　　ページ

１．調査対象大学等の概要等　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　７５
２．授業科目の概要　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　７９
３．施設・設備の整備状況、経費　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　８５
４．ＡＣ対象学部等を含む大学等の状況　・・・・・・・・・・・・・・・・・　８６
５．教員組織の状況　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　８７
６．留意事項等に対する履行状況等　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　９７
７．その他全般的事項　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　９９

資料

１．公立小松大学ＦＤ・ＳＤ推進委員会規則　・・・・・・・・・・・・・・　１０１

1　調査対象大学等の概要等

（1）設　置　者

公立大学法人公立小松大学

（2）大　学　名

公立小松大学

（3）大学の位置

〒923-0921
石川県小松市土居原町10-10
〒923-8511
石川県小松市四丁町ヌ1-3

（注）・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合，本部の位置を（　）書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には，複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

（4）管理運営組織

職　　名	設　　置　　時	変　更　状　況	備　　考
理 事 長	（ イシダ　ヒロト ） 石田　寛人 （現職就任30年4月）		
学　　長	（ ヤマモト　ヒロシ ） 山本　博 （現職就任30年4月）		
学 部 長	（ キムラ　シゲオ ） 木村　繁男 （現職就任30年4月）		
学科長等	（ キムラ　シゲオ ） 木村　繁男 （現職就任30年4月）		

（注）・「変更状況」は，変更があった場合に記入し，併せて「備考」に変更の理由と変更年月日，報告年度を（　）書きで記入してください。
（例）平成２９年度に報告済の内容　→（29）
平成３０年度に報告する内容　→（30）
・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば，「変更状況」に赤字にて記載（昨年度までに報告された記載があれば，そこに赤字で見え消し修正）するとともに，上記と同様に，「備考」に変更理由等を記入してください。
・大学院の場合には，「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は，各職に相当する職名の方を記載してください。

（５）　調査対象学部等の名称，定員，入学者の状況等

（注）・　当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等，定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
・　なお，課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は，法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
・　様式は，平成２７年度開設の４年制の学科の場合（平成３０年度までの４年間）ですが，開設年度・修業年限に合わせて作成してください。（修業年限が３年以下の場合には欄を削除し，５年以上の場合には，欄を設けてください。）

（５）－①　調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称（学位）	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
生産システム科学部 生産システム科学科 学士（工学）	工学関係	4年	80人	年次 －	320人	

（注）・　定員を変更した場合は，「備考」に変更前の人数，変更年月及び報告年度を（　）書きで記入してください。
・　学生募集停止を予定している場合は、「備考」にその旨記載してください。
・　「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第２号（その２の１））」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

（５）－②　調査対象学部等の入学者の状況

区分＼対象年度	平成２７年度		平成２８年度		平成２９年度		平成３０年度		平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
Ａ　入学定員	－ （　－　） ［　－　］	－	－ （　－　） ［　－　］	－	－ （　－　） ［　－　］	－	80人 （　－　） ［　－　］	－	1.00倍	
志願者数	－ （　－　） ［　－　］	－ （　－　） ［　－　］	－ （　－　） ［　－　］	－ （　－　） ［　－　］	－ （　－　） ［　－　］	－ （　－　） ［　－　］	400 （　－　） ［　－　］	－ （　－　） ［　－　］		
受験者数	－ （　－　） ［　－　］	－ （　－　） ［　－　］	－ （　－　） ［　－　］	－ （　－　） ［　－　］	－ （　－　） ［　－　］	－ （　－　） ［　－　］	305 （　－　） ［　－　］	－ （　－　） ［　－　］		
合格者数	－ （　－　） ［　－　］	－ （　－　） ［　－　］	－ （　－　） ［　－　］	－ （　－　） ［　－　］	－ （　－　） ［　－　］	－ （　－　） ［　－　］	193 （　－　） ［　－　］	－ （　－　） ［　－　］		
Ｂ　入学者数	－ （　－　） ［　－　］	－ （　－　） ［　－　］	－ （　－　） ［　－　］	－ （　－　） ［　－　］	－ （　－　） ［　－　］	－ （　－　） ［　－　］	80 （　－　） ［　－　］	－ （　－　） ［　－　］		
入学定員超過率 Ｂ／Ａ	－		－		－		1.00			

（注）・　数字は，平成３０年５月１日現在の数字を記入してください。
・　（　）内には，編入学の状況について**外数で**記入してください。なお，編入学を複数年次で行っている場合には，((　))書きとするなどし，その旨を「備考」に付記してください。 該当がない年には「－」を記入してください。
・　［　］内には，留学生の状況について**内数で**記入してください。該当がない年には「－」を記入してください。
・　留学生については，「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により，我が国の大学（大学院を含む。），短期大学，高等専門学校，専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
・　短期交換留学生など，定員内に含めていない学生については記入しないでください。
・　転入学生は記入しないでください。
・　学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「－」を記入してください。また，その他の学期に入学定員を設けている場合は，備考欄にその人数を記入してください。
・　「入学定員超過率」については，**各年度の春季入学とその他を合計した入学定員，入学者数で算出**してください。なお，計算の際は小数点以下第３位を切り捨て，小数点以下第２位まで記入してください。
・　「平均入学定員超過率」には，開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお，計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

（５）－③　調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 / 学　年	平成２７年度		平成２８年度		平成２９年度		平成３０年度		備　　考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
１年次	－ [－] （ － ）	－ [－] （ － ）	－ [－] （ － ）	－ [－] （ － ）	－ [－] （ － ）	－ [－] （ － ）	80 [－] （ － ）	－ [－] （ － ）	
２年次			－ [－] （ － ）	－ [－] （ － ）	－ [－] （ － ）	－ [－] （ － ）	－ [－] （ － ）	－ [－] （ － ）	
３年次					－ [－] （ － ）	－ [－] （ － ）	－ [－] （ － ）	－ [－] （ － ）	
４年次							－ [－] （ － ）	－ [－] （ － ）	
計	－ [－] （ － ）		－ [－] （ － ）		－ [－] （ － ）		80 [－] （ － ）		

（注）・　数字は，平成３０年５月１日現在の数字を記入してください。
・　[　　]内には，留学生の状況について**内数で**記入してください。該当がない年には「－」を記入してください。
・　留学生については，「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により，我が国の大学（大学院を含む。），短期大学，高等専門学校，専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
・　短期交換留学生など，定員内に含めていない学生については記入しないでください。
・　編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際，備考欄に人数の内訳を記入してください。
・　学期の区分に従い学生を入学させる場合は，春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は，その他の学期欄は「－」を記入してください。また，その他の学期に入学定員を設けている場合は，備考欄にその人数を記入してください。
・　「計」については，**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数，留学生数**を記入してください。
・（　）内には，留年者の状況について，内数で記入してください。該当がない年には「－」を記入してください。

（５）－④　調査対象学部等の退学者等の状況

区分 / 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由
			入学した年度	退学者数	退学者数のうち留学生数	
平成27年度	－ 人	－ 人	平成27年度	－ 人	－ 人	
平成28年度	－ 人	－ 人	平成27年度	－ 人	－ 人	
			平成28年度	－ 人	－ 人	
平成29年度	－ 人	－ 人	平成27年度	－ 人	－ 人	
			平成28年度	－ 人	－ 人	
			平成29年度	－ 人	－ 人	
平成30年度	80 人	0 人	平成27年度	－ 人	－ 人	
			平成28年度	－ 人	－ 人	
			平成29年度	－ 人	－ 人	
			平成30年度	0 人	0 人	
合　計	80 人	0 人				

（注）・ 数字は，平成30年5月1日現在の数字を記入してください。
・ 各年度の在学者数については，該当年度に在学した人数を記入してください。（途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。）
・ 内訳については，退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
・ 在学者数や退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
・ 留学生については，「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により，我が国の大学（大学院を含む。），短期大学，高等専門学校，専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
・ 短期交換留学生など，定員内に含めていない学生については記入しないでください。
・「主な退学理由」は，下の項目を参考に記入してください。その際，「就学意欲の低下（○人）」というように，その人数も含めて記入してください。
（記入項目例）・就学意欲の低下　・学力不足　・他の教育機関への入学・転学　・海外留学
・就職　・学生個人の心身に関する事情　・家庭の事情　・除籍　・その他

（５）－⑤　調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成27年度】

$$\frac{\text{平成27年度の退学者数(a)}}{\text{平成27年度の在学者数(b)}} = \frac{－}{－} = \text{\#VALUE!}\ \%$$

【平成28年度】

$$\frac{\text{平成28年度の退学者数(a)}}{\text{平成28年度の在学者数(b)}} = \frac{－}{－} = \text{\#VALUE!}\ \%$$

【平成29年度】

$$\frac{\text{平成29年度の退学者数(a)}}{\text{平成29年度の在学者数(b)}} = \frac{－}{－} = \text{\#VALUE!}\ \%$$

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{80} = 0\ \%$$

（注）・　小数点以下第３位を切り捨て，小数点以下第２位まで表示されます。

２　授業科目の概要

＜生産システム科学部　生産システム科学科＞

（１）ー① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
共通教育科目	導入科目	ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝ・ﾁｰﾑ論Ⅰ	1前	1			1					
		ｱｶﾃﾞﾐｯｸ・ｽｷﾙｽﾞ	1前	1								14
		ﾃｰﾏ別基礎ｾﾞﾐ	1後	2			13	4		2		
		情報処理基礎	1前	2			2	3				1
		南加賀の歴史と文化	1後	2								1
	一般科目（人間力）	哲学	1前		2							1
		心理学	1前		2							1
		人間の発達と心	1前		2							1
		日本の伝統芸能	1前		2							1
		人文地理学	1後		2							1
		文化人類学	1後		2							1
		医療と文化	1後		2							1
		文章表現法	1後		2							1
		言葉と文化	1後		2							2
	一般科目（社会力）	日本産業史	1前		2		4					
		自然資源と環境問題	1前		2							1
		経済学	1前		2							2
		政治学	1後		2							2
		社会学	1後		2							1
		公共政策論	1後		2							1
		社会福祉論	1後		2							1
		日本国憲法	1前		2							1
	一般科目（科学力）	データ科学と社会	1前		2		3					
		情報処理応用A	1後		2			2				
		情報処理応用B	1後		2							1
		ｸﾘﾃｨｶﾙｼﾝｷﾝｸﾞ	1後		2							1
		統計学	1前		2		1					1
		現代科学技術論	1前		2		5					
	一般科目（健康と体力）	健康と体の科学	1前		2							2
		スポーツ演習（ﾊﾞﾚｰﾎﾞｰﾙ）	1前・後		1							1
		スポーツ演習（硬式テニス）	1前		1							1
		スポーツ演習（フットサル）	1前・後		1							1
		スポーツ演習（卓球）	1後		1							1
		スポーツ演習（バドミントン）	1前・後		1							1
	英語科目	英語Ⅰa	1前	2								5
		英語Ⅰb	1前	2								3
		英語Ⅱa	1後	2								3
		英語Ⅱb	1後	2								4
		英語Ⅲ	1後		2							1
		英会話Ⅰ	1後		2							1
		英会話Ⅱ	1後		2							1
		実用英語Ⅰ	1前・後			2						1
		実用英語Ⅱ	1前・後			2						1
		実用英語Ⅲ	1前・後			2						1
		実用英語Ⅳ	1前・後			2						1

【平成３０年度】

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
共通教育科目	導入科目	ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝ・ﾁｰﾑ論Ⅰ	1前	1			1					
		ｱｶﾃﾞﾐｯｸ・ｽｷﾙｽﾞ	1前	1								14
		ﾃｰﾏ別基礎ｾﾞﾐ	1後	2			13	4		2		
		情報処理基礎	1前	2			2	3				1
		南加賀の歴史と文化	1後	2								1
	一般科目（人間力）	哲学	1前		2							1
		心理学	1前		2							1
		人間の発達と心	1前		2							1
		日本の伝統芸能	1前		2							1
		人文地理学	1後		2							1
		文化人類学	1後		2							1
		医療と文化	1後		2							1
		文章表現法	1後		2							1
		言葉と文化	1後		2							2
	一般科目（社会力）	日本産業史	1前		2		4					
		自然資源と環境問題	1前		2							1
		経済学	1前		2							2
		政治学	1後		2							2
		社会学	1後		2							1
		公共政策論	1後		2							1
		社会福祉論	1後		2							1
		日本国憲法	**1後**		2							1
	一般科目（科学力）	データ科学と社会	**1後**		2		3					
		情報処理応用A	1後		2			2				
		情報処理応用B	1後		2							1
		ｸﾘﾃｨｶﾙｼﾝｷﾝｸﾞ	1後		2							1
		統計学	**1後**		2		1					1
		現代科学技術論	1前		2		5					
	一般科目（健康と体力）	健康と体の科学	1前		2							2
		スポーツ演習（ﾊﾞﾚｰﾎﾞｰﾙ）	1前・後		1							1
		スポーツ演習（硬式テニス）	1前		1							1
		スポーツ演習（フットサル）	1前・後		1							1
		スポーツ演習（卓球）	1後		1							1
		スポーツ演習（バドミントン）	1前・後		1							1
	英語科目	英語Ⅰa	1前	2								5
		英語Ⅰb	1前	2								3
		英語Ⅱa	1後	2								3
		英語Ⅱb	1後	2								4
		英語Ⅲ	1後		2							1
		英会話Ⅰ	1後		2							1
		英会話Ⅱ	1後		2							1
		実用英語Ⅰ	1前・後			2						1
		実用英語Ⅱ	1前・後			2						1
		実用英語Ⅲ	1前・後			2						1
		実用英語Ⅳ	1前・後			2						1

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
共通教育科目	その他外国語科目	中国語Ⅰ	1前		2							1
		中国語Ⅱ	1後		2							1
		フランス語Ⅰ	1前		2							1
		フランス語Ⅱ	1後		2							1
		ドイツ語Ⅰ	1前		2							1
		ドイツ語Ⅱ	1後		2							1
		ロシア語Ⅰ	1前		2							1
		ロシア語Ⅱ	1後		2							1
		スペイン語Ⅰ	1前		2							1
		スペイン語Ⅱ	1後		2							1
専門基礎科目		応用数学Ⅰ	1前	2			1					
		工業数学	1前	2			1					
		応用物理学	1前	2			1					
		工業力学	1後	2			1					
		プログラミングⅠ	1後	2			1	1				
		材料力学及び演習	2前	2			1					
		工業熱力学及び演習	2前	2			1					
		流れ学及び演習	2前	2			1					
		電気回路及び演習	2前	2			1					
		振動工学及び演習	2後	2			1					
専門共通科目		数値解析	2後	2			1					
		技術英語Ⅰ	2後	2								1
		技術者倫理	2後	2			2					
		機械設計製図Ⅰ	2後	2			2	1		1		
		生産工学	3前	2			1					
		ロボット機構学	3前	2			1	1				
		技術英語Ⅱ	3前	2								1
		機械設計製図Ⅱ	3前	2			2			2		
		機械工作実習	3前	1			3	1		2		
		機械電気工学実験Ⅰ	3前	1			5	2		2		
		生産技術	3後	2			1					
		課題探求プロジェクト	3後	1			13	4		2		
		技術英語演習Ⅰ	3後	1								1
		機械電気工学実験Ⅱ	3後	1			4	3		1		
		学外技術体験実習A	3前・後		1		1					
		学外技術体験実習B	3前・後		2		1					
		課題研究ゼミナール	4前	1			13	4		2		
		技術英語演習Ⅱ	4前	1								1
		卒業研究	4通	8			13	4		2		
専門科目		応用数学Ⅱ	1後		2		1					
		複素解析	1後		2		1					
		化学入門	1後		2							1
		統計・確率論	2前		2		1					
		ｴﾚｸﾄﾆｸｽ概論	2前		2		1					
		ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞⅡ	2前		2		1					
		機械加工学	2後		2		1					
		電気制御学	2後		2		1					
		機械材料学	2後		2		1					
		機械要素設計	2後		2		1					
		ｴﾈﾙｷﾞｰ資源と開発	2後		2		1					
		ｱﾙｺﾞﾘｽﾞﾑ論	2後		2		1					
		応用電磁気学	2後		2		1					
		環境適合技術論	3前		2		1					
		制御工学	3前		2			1				
		電子回路	3前		2			1				

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
共通教育科目	その他外国語科目	中国語Ⅰ	1前		2							1
		中国語Ⅱ	1後		2							1
		フランス語Ⅰ	1前		2							1
		フランス語Ⅱ	1後		2							1
		ドイツ語Ⅰ	1前		2							1
		ドイツ語Ⅱ	1後		2							1
		ロシア語Ⅰ	1前		2							1
		ロシア語Ⅱ	1後		2							1
		スペイン語Ⅰ	1前		2							1
		スペイン語Ⅱ	1後		2							1
専門基礎科目		応用数学Ⅰ	1前	2			1					
		工業数学	1前	2			1					
		応用物理学	1前	2			1					
		工業力学	1後	2			1					
		プログラミングⅠ	1後	2			1	1				
		材料力学及び演習	2前	2			1					
		工業熱力学及び演習	2前	2			1					
		流れ学及び演習	2前	2			1					
		電気回路及び演習	2前	2			1					
		振動工学及び演習	2後	2			1					
専門共通科目		数値解析	2後	2			1					
		技術英語Ⅰ	2後	2								1
		技術者倫理	2後	2			2					
		機械設計製図Ⅰ	2後	2			2	1		1		
		生産工学	3前	2			1					
		ロボット機構学	3前	2			1	1				
		技術英語Ⅱ	3前	2								1
		機械設計製図Ⅱ	3前	2			2			2		
		機械工作実習	3前	1			3	1		2		
		機械電気工学実験Ⅰ	3前	1			5	2		2		
		生産技術	3後	2			1					
		課題探求プロジェクト	3後	1			13	4		2		
		技術英語演習Ⅰ	3後	1								1
		機械電気工学実験Ⅱ	3後	1			4	3		1		
		学外技術体験実習A	3前・後		1		1					
		学外技術体験実習B	3前・後		2		1					
		課題研究ゼミナール	4前	1			13	4		2		
		技術英語演習Ⅱ	4前	1								1
		卒業研究	4通	8			13	4		2		
専門科目		応用数学Ⅱ	1後		2		1					
		複素解析	1後		2		1					
		化学入門	1前		2							1
		統計・確率論	2前		2		1					
		ｴﾚｸﾄﾆｸｽ概論	2前		2		1					
		ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞⅡ	2前		2		1					
		機械加工学	2後		2		1					
		電気制御学	2後		2		1					
		機械材料学	2後		2		1					
		機械要素設計	2後		2		1					
		ｴﾈﾙｷﾞｰ資源と開発	2後		2		1					
		ｱﾙｺﾞﾘｽﾞﾑ論	2後		2		1					
		応用電磁気学	2後		2		1					
		環境適合技術論	3前		2		1					
		制御工学	3前		2			1				
		電子回路	3前		2			1				

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門科目	情報科学概論	3前		2		1					
	データベース論	3前		2		1					
	資源有効利用学	3後		2		1					
	人工知能	3後		2		1					
	電気機器工学	3後		2			1				
	画像認識論	3後		2			1				
	ﾃﾞｰﾀｰﾏｲﾆﾝｸﾞ	3後		2		1					
	地球環境と環境流体	4前		2		1					
	センサと通信	4前		2		1					
	ｲﾝﾃﾘｼﾞｪﾝﾄ生産ｼｽﾃﾑ	4前		2		1					

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門科目	情報科学概論	3前		2		1					
	データベース論	3前		2		1					
	資源有効利用学	3後		2		1					
	人工知能	3後		2		1					
	電気機器工学	3後		2			1				
	画像認識論	3後		2			1				
	ﾃﾞｰﾀｰﾏｲﾆﾝｸﾞ	3後		2		1					
	地球環境と環境流体	4前		2		1					
	センサと通信	4前		2		1					
	ｲﾝﾃﾘｼﾞｪﾝﾄ生産ｼｽﾃﾑ	4前		2		1					

（注）・　認可申請書又は設置届出書の様式第２号（その２の１）に準じて作成してください。
・　設置認可時又は届出時の授業科目全て（兼任，兼担教員が担当する科目を含む。）を黒字で記載してください。
その上で，認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。
・　履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。
・　１ページ目には認可時又は届出時と平成３０年度の表を記入してください。
・　不要な年度（平成２８年度開設であれば平成２７年度、平成２９年度開設であれば平成２７年度及び平成２８年度、平成３０年度開設であれば平成２７年度から平成２９年度）の表は適宜削除し，詰めてください。
（２つの表が１ページに表示されるようにしてください。）

（１）ー②授業科目表に関する変更内容

【平成３０年度】

・教育内容の向上を図るため、「医療と文化」の担当教員を「兼任教員」から「兼担教員」に変更（授業科目表上は変更なし）。
・兼任教員の本業の予定と合わない理由により、「日本国憲法」の開講時期を「１前」から「１後」に変更。
・兼任教員の本業の予定と合わない理由により、「データ科学と社会」の開講時期を「１前」から「１後」に変更。
（３０年度において、翌年度より専任教員となる新田雅道教授が兼任教員として授業を担当）
・兼任教員の本業の予定と合わない理由により、「統計学」の開講時期を「１前」から「１後」に変更。
・兼任教員の本業の予定と合わない理由により、「化学入門」の開講時期を「１後」から「１前」に変更。

（注）・　変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
・　変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
・　不要な年度（平成２８年度開設であれば平成２７年度、平成２９年度開設であれば平成２７年度及び平成２８年度、平成３０年度開設であれば平成２７年度から平成２９年度）の表は適宜削除してください。

（２）授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計（Ａ）	必修	選択	自由	計	
36 科目	70 科目	4 科目	110 科目	36 科目 [0]	70 科目 [0]	4 科目 [0]	110 科目 [0]	

（注）・　未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに，［　］内に，設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：１科目減の場合：△１）

（３） 未開講科目

該当なし

番号	授業科目名	単 位 数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1						
2						
3						

（注）・　配当年次に達しているにも関わらず，何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。
・　履修希望者がいなかったために未開講となった科目については，記入しないでください。
・　教職大学院の場合は，「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

（４） 廃止科目

該当なし

番号	授業科目名	単 位 数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1						
2						
3						

（注）・　設置時の計画にあり，何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。
・　教職大学院の場合は，「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

（５） 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

（注）・　授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

（６） 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目（３）と廃止科目（４）の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計（Ａ）}} = \frac{0}{110} = 0\%$$

（注）・　小数点以下第３位を切り捨て，小数点以下第２位まで表示されます。
・　「未開講科目と廃止科目の計」が、「（３）未開講科目」と「（４）廃止科目」の合計数となるように留意してください。

３　施設・設備の整備状況，経費

区分		内容				備考
（1）校地等	区分	専用	共用	共用する他の学校等の専用	計	末広キャンパス 借用面積：3,676 ㎡ 借用期間：25年
	校舎敷地	18,962.05 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	18,962.05 ㎡	
	運動場用地	14,271.00 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	14,271.00 ㎡	
	小計	33,233.05 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	33,233.05 ㎡	
	その他	8,251.28 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	8,251.28 ㎡	
	合計	41,484.33 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	41,484.33 ㎡	
（2）校舎		専用	共用	共用する他の学校等の専用	計	末広キャンパス 借用面積：930 ㎡ 借用期間：25年 中央キャンパス 借用面積：4,030 ㎡ 借用期間：25年
		16,305.47 ㎡ （4,555.95 ㎡）	0 ㎡ （3,644.67 ㎡）	0 ㎡ （4,926.47 ㎡）	16,305.47 ㎡ （13,127.09 ㎡）	

（3）教室等	講義室	演習室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	備考
	23 室	12 室	18 室	0 室 （補助職員　0人）	0 室 （補助職員　0人）	大学全体

（4）専任教員研究室	新設学部等の名称	室数	備考
	生産システム科学部　生産システム科学科	20 室	

（5）図書・設備	新設学部等の名称	図書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標本 点	備考
	生産システム科学部 生産システム科学科	13,558〔524〕 （12,992〔354〕）	46〔29〕 （735〔721〕）	29〔29〕 （722〔719〕）	156 （83）	96 （28）	0 （0）	
	計	13,558〔524〕 （12,992〔354〕）	46〔29〕 （735〔721〕）	29〔29〕 （722〔719〕）	156 （83）	96 （28）	0 （0）	

（6）図書館	面積	閲覧座席数	収納可能冊数	備考
	909.83 ㎡	118 席	80,000 冊	大学全体

（7）体育館	面積	体育館以外のスポーツ施設の概要		備考
	960.00 ㎡	－	－	大学全体

（8）経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区分	開設年度	完成年度	区分	開設前年度	開設年度	完成年度	備考
		教員１人当り研究費等	600千円	600千円	図書購入費	~~13,491千円~~ 3,658千円	13,491千円	7,594千円	共通教育用の図書については、国際文化交流学部の図書として算定を行っている（30） 設備の一部についてリースにて対応することとしたため（30） 設備購入費は大学全体
		共同研究費等	6,000千円	6,000千円	設備購入費	~~130,000千円~~ 111,156千円	98,000千円	3,000千円	

学生１人当り納付金	第１年次	第２年次	第３年次	第４年次	第５年次	第６年次
	市内学生918千円 その他1,059千円	636千円	636千円	636千円	－　千円	－　千円

学生納付金以外の維持方法の概要	大学運営費交付金、資産運用収入、雑収入　等

（注）・　設置時の計画を，申請書の様式第２号（その１の１）に準じて作成してください。（複数のキャンパスに分かれている場合，複数の様式に分ける必要はありません。なお，「（１）校地等」及び「（２）校舎」は大学全体の数字を，その他の項目はＡＣ対象学部等の数値を記入してください。）

・　運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は，その旨（所要時間・距離等）を「備考」に記入してください。

・　「(５)図書・設備」については，上段に完成年度の予定数値を，下段には平成３０年５月１日現在の数値を記入してください。

・　昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては，変更部分を赤字で見え消し修正するとともに，その理由及び報告年度「（30）」を「備考」に赤字で記入してください。

なお，昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については，見え消しのまま黒字にしてください。

・　校舎等建物の計画の変更（校舎又は体育館の総面積の減少，建築計画の遅延）がある場合には，「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。

・　国立大学については「（８）経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

４　ＡＣ対象学部等を含む大学等の状況

大学の名称	公立小松大学								備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開設年度	所在地	
	年	人	年次 人	人		倍			
生産システム科学部									
生産システム科学科	4	80	－	320	学士 （工学）	1.00	平成30年度	石川県小松市土居原町10-10 石川県小松市四丁町ヌ1-3	
保健医療学部									
看護学科	4	50	－	200	学士 （看護学）	1.06	平成30年度	石川県小松市土居原町10-10 石川県小松市向本折町へ14-1	
臨床工学学科	4	30	－	120	学士 （臨床工学）	1.13	平成30年度	同上	
国際文化交流学部									
国際文化交流学科	4	80	－	320	学士 （国際文化学）	1.03	平成30年度	石川県小松市土居原町10-10	

大学の名称	小松短期大学								備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開設年度	所在地	
地域創造学科	2年	0人	－ 年次 － 人	0人	短期大学士	－ 倍	昭和63年	石川県小松市四丁町ヌ1-3	平成30年4月 学生募集停止

（注）・本調査の対象となっている大学等の設置者（学校法人等）が設置している全ての大学（学部，学科），大学院（専攻）及び短期大学（学科）（ＡＣ対象学部等含む）について，それぞれの学校種ごとに，平成３０年５月１日現在の上記項目の情報を記入してください。

・学部の学科または研究科の専攻等，「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。

※「入学定員を定めている組織ごと」には，課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。

※なお，課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は，法令上規定されている組織上の最小単位（大学であれば「学科」，短期大学であれば「専攻課程」）でも記載してください。

・専攻科に係るものについては，記入する必要はありません。

・ＡＣ対象学部等については、必ず記入するとともに、下線を引いてください。

・「平均入学定員超過率」には，標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第２位まで（小数点以下第３位を切り捨て）を記入してください。

・学生募集を停止している学部等がある場合，入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「－」とし，「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

５　教員組織の状況

＜生産システム科学部　生産システム科学科＞

（１）ー① 担当教員表

【認可時又は届出時】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
専	教授	木村　繁男 (67) ＜平成30年4月＞	キャリアデザイン・チーム論Ⅰ テーマ別基礎ゼミ 現代科学技術論 ※ 工業熱力学及び演習 機械電気工学実験Ⅰ 課題探求プロジェクト 課題研究ゼミナール エネルギー資源と開発 卒業研究
専	教授	山田　外史 (68) ＜平成30年4月＞	テーマ別基礎ゼミ 日本産業史 ※ 電気回路及び演習 数値解析 課題探求プロジェクト 課題研究ゼミナール 電気制御学 応用電磁気学 センサと通信 卒業研究
専	教授	山田　良穂 (67) ＜平成30年4月＞	テーマ別基礎ゼミ 日本産業史 ※ 機械電気工学実験Ⅰ 課題探求プロジェクト 学外技術体験実習Ａ 学外技術体験実習Ｂ 課題研究ゼミナール 機械材料学 機械加工学 卒業研究
専	教授	安達　正明 (66) ＜平成30年4月＞	テーマ別基礎ゼミ 現代科学技術論 ※ 応用物理学 工業力学 機械電気工学実験Ⅱ 課題探求プロジェクト 課題研究ゼミナール 卒業研究
専	教授	木村　春彦 (66) ＜平成30年4月＞	テーマ別基礎ゼミ データ科学と社会 ※ 現代科学技術論 ※ 課題探求プロジェクト 課題研究ゼミナール アルゴリズム論 情報科学概論 データベース論 人工知能 データマイニング 卒業研究
専	教授	川端　信義 (65) ＜平成30年4月＞	テーマ別基礎ゼミ 現代科学技術論 ※ 流れ学及び演習 機械電気工学実験Ⅰ 課題探求プロジェクト 課題研究ゼミナール 地球環境と環境流体 卒業研究
専	教授	田村　博志 (65) ＜平成31年4月＞	テーマ別基礎ゼミ 統計学 現代科学技術論 ※ 応用数学Ⅰ 工業数学 課題探求プロジェクト 課題研究ゼミナール 応用数学Ⅱ 複素解析 卒業研究
兼任	講師	田村　博志 (64) ＜平成30年4月＞	現代科学技術論 ※ 応用数学Ⅰ 工業数学 応用数学Ⅱ 複素解析

【平成３０年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
専	教授	木村　繁男 (67) ＜平成30年4月＞	キャリアデザイン・チーム論Ⅰ テーマ別基礎ゼミ 現代科学技術論 ※ 工業熱力学及び演習 機械電気工学実験Ⅰ 課題探求プロジェクト 課題研究ゼミナール エネルギー資源と開発 卒業研究
専	教授	山田　外史 (68) ＜平成30年4月＞	テーマ別基礎ゼミ 日本産業史 ※ 電気回路及び演習 数値解析 課題探求プロジェクト 課題研究ゼミナール 電気制御学 応用電磁気学 センサと通信 卒業研究
専	教授	山田　良穂 (67) ＜平成30年4月＞	テーマ別基礎ゼミ 日本産業史 ※ 機械電気工学実験Ⅰ 課題探求プロジェクト 学外技術体験実習Ａ 学外技術体験実習Ｂ 課題研究ゼミナール 機械材料学 機械加工学 卒業研究
専	教授	安達　正明 (66) ＜平成30年4月＞	テーマ別基礎ゼミ 現代科学技術論 ※ 応用物理学 工業力学 機械電気工学実験Ⅱ 課題探求プロジェクト 課題研究ゼミナール 卒業研究
専	教授	木村　春彦 (66) ＜平成30年4月＞	テーマ別基礎ゼミ データ科学と社会 ※ 現代科学技術論 ※ 課題探求プロジェクト 課題研究ゼミナール アルゴリズム論 情報科学概論 データベース論 人工知能 データマイニング 卒業研究
専	教授	川端　信義 (65) ＜平成30年4月＞	テーマ別基礎ゼミ 現代科学技術論 ※ 流れ学及び演習 機械電気工学実験Ⅰ 課題探求プロジェクト 課題研究ゼミナール 地球環境と環境流体 卒業研究
専	教授	田村　博志 (65) ＜平成31年4月＞	テーマ別基礎ゼミ 統計学 現代科学技術論 ※ 応用数学Ⅰ 工業数学 課題探求プロジェクト 課題研究ゼミナール 応用数学Ⅱ 複素解析 卒業研究
兼任	講師	田村　博志 (64) ＜平成30年4月＞	現代科学技術論 ※ 応用数学Ⅰ 工業数学 応用数学Ⅱ 複素解析

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
専	教授	岩田　佳雄 (65) ＜平成31年4月＞	テーマ別基礎ゼミ 日本産業史 ※ 振動工学及び演習 技術者倫理 ※ 機械設計製図Ⅱ ロボット機構学 ※ 機械電気工学実験Ⅱ 課題探求プロジェクト 課題研究ゼミナール 卒業研究
兼任	講師	岩田　佳雄 (64) ＜平成30年4月＞	日本産業史 ※
専	教授	新田　雅道 (60) ＜平成31年4月＞	テーマ別基礎ゼミ 情報処理基礎 データ科学と社会 ※ プログラミングⅠ 課題探求プロジェクト 課題研究ゼミナール プログラミングⅡ 卒業研究
兼任	講師	新田　雅道 (59) ＜平成30年4月＞	テーマ別基礎ゼミ 情報処理基礎 データ科学と社会 ※ プログラミングⅠ
専	教授	富澤　淳 (59) ＜平成30年4月＞	テーマ別基礎ゼミ 日本産業史 ※ 機械設計製図Ⅰ 技術者倫理 ※ 機械工作実習 機械電気工学実験Ⅰ 生産技術 課題探求プロジェクト 課題研究ゼミナール 環境適合技術論 資源有効利用学 卒業研究
専	教授	上田　芳弘 (60) ＜平成33年4月＞	テーマ別基礎ゼミ 情報処理基礎 データ科学と社会 ※ 現代科学技術論 ※ 課題探求プロジェクト 課題研究ゼミナール インテリジェント生産システム 卒業研究
専	教授	酒井　忍 (54) ＜平成30年4月＞	テーマ別基礎ゼミ 材料力学及び演習 機械設計製図Ⅰ 機械工作実習 機械電気工学実験Ⅰ 機械電気工学実験Ⅱ 課題探求プロジェクト 課題研究ゼミナール 機械要素設計 卒業研究
専	教授	香川　博之 (53) ＜平成30年4月＞	テーマ別基礎ゼミ 機械設計製図Ⅱ 生産工学 機械工作実習 機械電気工学実験Ⅱ 課題探求プロジェクト 課題研究ゼミナール 統計・確率論 エレクトロニクス概論 卒業研究
専	准教授	石若　裕子 (51) ＜平成33年4月＞	テーマ別基礎ゼミ 情報処理基礎 情報処理応用Ａ プログラミングⅠ 課題探求プロジェクト 課題研究ゼミナール 卒業研究

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
専	教授	岩田　佳雄 (65) ＜平成31年4月＞	テーマ別基礎ゼミ 日本産業史 ※ 振動工学及び演習 技術者倫理 ※ 機械設計製図Ⅱ ロボット機構学 ※ 機械電気工学実験Ⅱ 課題探求プロジェクト 課題研究ゼミナール 卒業研究
兼	講師	岩田　佳雄 (64) ＜平成31年4月＞	日本産業史 ※
専	教授	新田　雅道 (60) ＜平成31年4月＞	テーマ別基礎ゼミ 情報処理基礎 データ科学と社会 ※ プログラミングⅠ 課題探求プロジェクト 課題研究ゼミナール プログラミングⅡ 卒業研究
兼	講師	新田　雅道 (59) ＜平成31年4月＞	テーマ別基礎ゼミ 情報処理基礎 データ科学と社会 ※ プログラミングⅠ
専	教授	富澤　淳 (59) ＜平成30年4月＞	テーマ別基礎ゼミ 日本産業史 ※ 機械設計製図Ⅰ 技術者倫理 ※ 機械工作実習 機械電気工学実験Ⅰ 生産技術 課題探求プロジェクト 課題研究ゼミナール 環境適合技術論 資源有効利用学 卒業研究
専	教授	上田　芳弘 (60) ＜平成33年4月＞	テーマ別基礎ゼミ 情報処理基礎 データ科学と社会 ※ 現代科学技術論 ※ 課題探求プロジェクト 課題研究ゼミナール インテリジェント生産システム 卒業研究
専	教授	酒井　忍 (54) ＜平成30年4月＞	テーマ別基礎ゼミ 材料力学及び演習 機械設計製図Ⅰ 機械工作実習 機械電気工学実験Ⅰ 機械電気工学実験Ⅱ 課題探求プロジェクト 課題研究ゼミナール 機械要素設計 卒業研究
専	教授	香川　博之 (53) ＜平成30年4月＞	テーマ別基礎ゼミ 機械設計製図Ⅱ 生産工学 機械工作実習 機械電気工学実験Ⅱ 課題探求プロジェクト 課題研究ゼミナール 統計・確率論 エレクトロニクス概論 卒業研究
専	准教授	石若　裕子 (51) ＜平成33年4月＞	テーマ別基礎ゼミ 情報処理基礎 情報処理応用Ａ プログラミングⅠ 課題探求プロジェクト 課題研究ゼミナール 卒業研究

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
専	准教授	疋津　正利 (47) ＜平成30年4月＞	テーマ別基礎ゼミ 情報処理基礎 機械設計製図Ⅰ ロボット機構学 ※ 機械工作実習 機械電気工学実験Ⅱ 課題探求プロジェクト 課題研究ゼミナール 制御工学 卒業研究
専	准教授	池田 愼治 (45) ＜平成30年4月＞	テーマ別基礎ゼミ 機械電気工学実験Ⅰ 機械電気工学実験Ⅱ 課題探求プロジェクト 課題研究ゼミナール 電子回路 電気機器工学 卒業研究
専	准教授	梶原　祐輔 (32) ＜平成30年4月＞	テーマ別基礎ゼミ 情報処理基礎 情報処理応用Ａ 機械電気工学実験Ⅰ 機械電気工学実験Ⅱ 課題探求プロジェクト 課題研究ゼミナール 画像認識論 卒業研究
専	助教	史　金星 (37) ＜平成30年4月＞	テーマ別基礎ゼミ 機械設計製図Ⅰ 機械設計製図Ⅱ 機械工作実習 機械電気工学実験Ⅰ 課題探求プロジェクト 課題研究ゼミナール 卒業研究
専	助教	立野　大地 (34) ＜平成30年4月＞	テーマ別基礎ゼミ 機械設計製図Ⅱ 機械工作実習 機械電気工学実験Ⅰ 機械電気工学実験Ⅱ 課題探求プロジェクト 課題研究ゼミナール 卒業研究
兼担	教授	北岡　和代 (64) ＜平成30年4月＞	アカデミック・スキルズ
兼担	教授	中島　素子 (65) ＜平成30年4月＞	健康と体の科学 ※
兼担	教授	松井　優子 (52) ＜平成30年4月＞	アカデミック・スキルズ
兼担	教授	徳田　真由美 (52) ＜平成30年4月＞	アカデミック・スキルズ
兼担	准教授	佐藤　大介 (38) ＜平成30年4月＞	アカデミック・スキルズ
兼担	教授	中山　謙二 (72) ＜平成31年4月＞	アカデミック・スキルズ 統計学
兼任	講師	中山　謙二 (71) ＜平成30年4月＞	アカデミック・スキルズ 統計学
兼担	教授	井関　尚一 (66) ＜平成30年4月＞	アカデミック・スキルズ
兼担	教授	八賀　正司 (64) ＜平成30年4月＞	アカデミック・スキルズ

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
専	准教授	疋津　正利 (47) ＜平成30年4月＞	テーマ別基礎ゼミ 情報処理基礎 機械設計製図Ⅰ ロボット機構学 ※ 機械工作実習 機械電気工学実験Ⅱ 課題探求プロジェクト 課題研究ゼミナール 制御工学 卒業研究
専	准教授	池田 愼治 (45) ＜平成30年4月＞	テーマ別基礎ゼミ 機械電気工学実験Ⅰ 機械電気工学実験Ⅱ 課題探求プロジェクト 課題研究ゼミナール 電子回路 電気機器工学 卒業研究
専	准教授	梶原　祐輔 (32) ＜平成30年4月＞	テーマ別基礎ゼミ 情報処理基礎 情報処理応用Ａ 機械電気工学実験Ⅰ 機械電気工学実験Ⅱ 課題探求プロジェクト 課題研究ゼミナール 画像認識論 卒業研究
専	助教	史　金星 (37) ＜平成30年4月＞	テーマ別基礎ゼミ 機械設計製図Ⅰ 機械設計製図Ⅱ 機械工作実習 機械電気工学実験Ⅰ 課題探求プロジェクト 課題研究ゼミナール 卒業研究
専	助教	**朴　亨原** **(35)** **＜平成30年7月＞**	テーマ別基礎ゼミ 機械設計製図Ⅱ 機械工作実習 機械電気工学実験Ⅰ 機械電気工学実験Ⅱ 課題探求プロジェクト 課題研究ゼミナール 卒業研究
兼担	教授	北岡　和代 (64) ＜平成30年4月＞	アカデミック・スキルズ
兼担	教授	中島　素子 (65) ＜平成30年4月＞	健康と体の科学 ※
兼担	教授	松井　優子 (52) ＜平成30年4月＞	アカデミック・スキルズ
兼担	教授	徳田　真由美 (52) ＜平成30年4月＞	アカデミック・スキルズ
兼担	准教授	佐藤　大介 (38) ＜平成30年4月＞	アカデミック・スキルズ
兼担	教授	中山　謙二 (72) ＜平成31年4月＞	アカデミック・スキルズ 統計学
兼任	講師	中山　謙二 (71) ＜平成30年4月＞	アカデミック・スキルズ 統計学
兼担	教授	井関　尚一 (66) ＜平成30年4月＞	アカデミック・スキルズ
兼担	教授	八賀　正司 (64) ＜平成30年4月＞	アカデミック・スキルズ

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
兼担	准教授	辻村　真一 (39) ＜平成30年4月＞	情報処理応用Ｂ
兼担	講師	井澤　純子 (48) ＜平成30年4月＞	情報処理基礎
兼担	教授	岩田　礼 (65) ＜平成30年4月＞	アカデミック・スキルズ 言葉と文化 ※
兼担	教授	宮崎　猛 (67) ＜平成30年4年＞	アカデミック・スキルズ 自然資源と環境問題
兼担	教授	VANCE, Timothy John (66) ＜平成30年4月＞	言葉と文化 ※ 英語Ⅰb 英語Ⅱb
兼担	教授	盛田　清秀 (65) ＜平成30年4月＞	経済学　※
兼担	教授	西村　聡 (65) ＜平成32年4月＞	南加賀の歴史と文化 日本の伝統芸能 文章表現法
兼任	講師	西村　聡 (63) ＜平成30年4月＞	南加賀の歴史と文化 日本の伝統芸能 文章表現法
兼担	教授	岡村　徹 (56) ＜平成30年4月＞	アカデミック・スキルズ 英語Ⅰa 英語Ⅱa 英語Ⅱb
兼担	教授	杓谷　茂樹 (55) ＜平成30年4月＞	文化人類学 スペイン語Ⅰ スペイン語Ⅱ
兼担	教授	刘 迺华 (55) ＜平成30年4月＞	中国語Ⅰ 中国語Ⅱ
兼担	准教授	塩谷　サルフィ マクスーダ (63) ＜平成30年4月＞	英語Ⅰa 英語Ⅱa 英語Ⅱb
兼担	准教授	中子(佐藤) 富貴子 (50) ＜平成30年4月＞	アカデミック・スキルズ
兼担	准教授	小原　文衛 (49) ＜平成30年4月＞	英語Ⅰa 英語Ⅱa
兼担	准教授	一ノ渡　忠之 (43) ＜平成30年4月＞	経済学 ※ ロシア語Ⅰ ロシア語Ⅱ
兼担	准教授	木村　誠 (38) ＜平成31年4月＞	アカデミック・スキルズ 心理学 人間の発達と心
兼担	准教授	木場　紗綾 (37) ＜平成30年4月＞	アカデミック・スキルズ 政治学 ※

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
兼担	**准教授**	**藤田　一寿 (39) ＜平成30年7月＞**	情報処理応用Ｂ
兼担	講師	井澤　純子 (48) ＜平成30年4月＞	情報処理基礎
兼担	教授	岩田　礼 (65) ＜平成30年4月＞	アカデミック・スキルズ 言葉と文化 ※
兼担	教授	宮崎　猛 (67) ＜平成30年4年＞	アカデミック・スキルズ 自然資源と環境問題
兼担	教授	VANCE, Timothy John (66) ＜平成30年4月＞	言葉と文化 ※ 英語Ⅰb 英語Ⅱb
兼担	教授	盛田　清秀 (65) ＜平成30年4月＞	経済学　※
兼担	教授	西村　聡 (65) ＜平成32年4月＞	南加賀の歴史と文化 日本の伝統芸能 文章表現法
兼任	講師	西村　聡 (63) ＜平成30年4月＞	南加賀の歴史と文化 日本の伝統芸能 文章表現法
兼担	教授	岡村　徹 (56) ＜平成30年4月＞	アカデミック・スキルズ 英語Ⅰa 英語Ⅱa 英語Ⅱb
兼担	教授	杓谷　茂樹 (55) ＜平成30年4月＞	文化人類学 スペイン語Ⅰ スペイン語Ⅱ
兼担	教授	刘 迺华 (55) ＜平成30年4月＞	中国語Ⅰ 中国語Ⅱ
兼担	准教授	塩谷　サルフィ マクスーダ (63) ＜平成30年4月＞	英語Ⅰa 英語Ⅱa 英語Ⅱb
兼担	准教授	中子(佐藤) 富貴子 (50) ＜平成30年4月＞	アカデミック・スキルズ
兼担	准教授	小原　文衛 (49) ＜平成30年4月＞	英語Ⅰa 英語Ⅱa
兼担	准教授	一ノ渡　忠之 (43) ＜平成30年4月＞	経済学 ※ ロシア語Ⅰ ロシア語Ⅱ
兼任	講師	木村　誠 (37) ＜平成31年4月＞	アカデミック・スキルズ 心理学 人間の発達と心
兼担	准教授	木場　紗綾 (37) ＜平成30年4月＞	アカデミック・スキルズ 政治学 ※

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
兼担	准教授	千葉　悠志 (32) ＜平成30年4月＞	アカデミック・スキルズ 政治学 ※
兼担	助教	長辻　幸 (35) ＜平成30年4月＞	英語Ⅰa 英語Ⅱa
兼任	講師	三浦　要 (59) ＜平成30年4月＞	哲学 クリティカルシンキング
兼任	講師	宇根　義己 (38) ＜平成30年4月＞	人文地理学
兼任	講師	碇　陽子 (41) ＜平成30年4月＞	医療と文化
兼任	講師	溝部　明男 (68) ＜平成30年4月＞	社会学
兼任	講師	木村　高宏 (43) ＜平成30年4月＞	公共政策論
兼任	講師	井上　英夫 (70) ＜平成30年4月＞	社会福祉論
兼任	講師	山崎　友也 (45) ＜平成30年4月＞	日本国憲法
兼任	講師	榊原　千秋 (56) ＜平成30年4月＞	健康と体の科学　※
兼任	講師	松下　裕子 (58) ＜平成30年4月＞	スポーツ演習（バレーボール） スポーツ演習（硬式テニス） スポーツ演習（フットサル） スポーツ演習（卓球） スポーツ演習（バドミントン）
兼任	講師	川畠　嘉美 (49) ＜平成32年4月＞	英語Ⅰa
兼任	講師	ABE DAVID KIYOSHI (55) ＜平成32年4月＞	英語Ⅰa
兼任	講師	Raker Vincent ERIC (49) ＜平成30年4月＞	英語Ⅰb 英語Ⅱb
兼任	講師	ERTL JOHN JOSEF (43) ＜平成30年4月＞	英語Ⅰb
兼任	講師	FOX SENAN JAMES (42) ＜平成30年4月＞	英語Ⅱb
兼任	講師	島内　俊彦 (48) ＜平成30年4月＞	英語Ⅲ 英会話Ⅰ 英会話Ⅱ 実用英語Ⅰ 実用英語Ⅱ 実用英語Ⅲ 実用英語Ⅳ 技術英語Ⅰ 技術英語Ⅱ 技術英語演習Ⅰ 技術英語演習Ⅱ

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
兼担	准教授	千葉　悠志 (32) ＜平成30年4月＞	アカデミック・スキルズ 政治学 ※
兼担	助教	長辻　幸 (35) ＜平成30年4月＞	英語Ⅰa 英語Ⅱa
兼任	講師	三浦　要 (59) ＜平成30年4月＞	哲学 クリティカルシンキング
兼任	講師	宇根　義己 (38) ＜平成30年4月＞	人文地理学
兼担	**教授**	**横川　善正** **(69)** **＜平成30年7月＞**	医療と文化
兼任	講師	溝部　明男 (68) ＜平成30年4月＞	社会学
兼任	講師	木村　高宏 (43) ＜平成30年4月＞	公共政策論
兼任	講師	井上　英夫 (70) ＜平成30年4月＞	社会福祉論
兼任	講師	山崎　友也 (45) ＜平成30年4月＞	日本国憲法
兼任	講師	榊原　千秋 (56) ＜平成30年4月＞	健康と体の科学　※
兼任	講師	松下　裕子 (58) ＜平成30年4月＞	スポーツ演習（バレーボール） スポーツ演習（硬式テニス） スポーツ演習（フットサル） スポーツ演習（卓球） スポーツ演習（バドミントン）
兼任	講師	川畠　嘉美 (49) ＜平成32年4月＞	英語Ⅰa
兼任	講師	ABE DAVID KIYOSHI (55) ＜平成32年4月＞	英語Ⅰa
兼任	講師	Raker Vincent ERIC (49) ＜平成30年4月＞	英語Ⅰb 英語Ⅱb
兼任	講師	ERTL JOHN JOSEF (43) ＜平成30年4月＞	英語Ⅰb
兼任	講師	FOX SENAN JAMES (42) ＜平成30年4月＞	英語Ⅱb
兼任	講師	島内　俊彦 (48) ＜平成30年4月＞	英語Ⅲ 英会話Ⅰ 英会話Ⅱ 実用英語Ⅰ 実用英語Ⅱ 実用英語Ⅲ 実用英語Ⅳ 技術英語Ⅰ 技術英語Ⅱ 技術英語演習Ⅰ 技術英語演習Ⅱ

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
兼任	講師	岩津　航 （42） ＜平成30年4月＞	フランス語Ⅰ フランス語Ⅱ
兼任	講師	名執　純子 （49） ＜平成30年4月＞	ドイツ語Ⅰ ドイツ語Ⅱ
兼任	講師	南保　英孝 （46） ＜平成30年4月＞	情報処理基礎 プログラミングⅠ
兼任	講師	田村　和弘 （61） ＜平成30年4月＞	化学入門

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
兼任	講師	岩津　航 （42） ＜平成30年4月＞	フランス語Ⅰ フランス語Ⅱ
兼任	講師	名執　純子 （49） ＜平成30年4月＞	ドイツ語Ⅰ ドイツ語Ⅱ
兼任	講師	南保　英孝 （46） ＜平成30年4月＞	情報処理基礎 プログラミングⅠ
兼任	講師	田村　和弘 （61） ＜平成30年4月＞	化学入門

（注）・　申請書又は届出書の様式第３号（その２の１）に準じて作成してください。
・　設置認可時又は届出時の教員全て（兼任，兼担教員を含む。）を黒字で記入してください。
その上で，**認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。**
・　年齢は，**それぞれの年度の５月１日時点の満年齢**を記入してください。
・　専任、兼担、兼任の順に記入してください。
・　不要な年度（平成２８年度開設であれば平成２７年度、平成２９年度開設であれば平成２７
平成２９年度）の表は適宜削除し，詰めてください。

（１）ー②担当教員表に関する変更内容

【平成３０年度】

・立野大地助教就任辞退。初年度前期に担当科目がないことから、朴亨原を科目を担当しない助教として採用し、平成３０年度第１回ＡＣ教員審査に提出（審査中）。 ・共通教育科目「医療と文化」の担当教員を、兼任教員から兼担教員である横川善正教授に変更。国際文化交流学部の専任教員として平成３０年度第１回ＡＣ教員審査に提出（審査中）。

（注）・　変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。

・　**認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合**は，当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し，大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**

・　「専任教員採用等変更書（ＡＣ）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。なお，設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は，「教員審査省略」と記入してください。

・　不要な年度（平成２８年度開設であれば平成２７年度、平成２９年度開設であれば平成２７年度及び平成２８年度、平成３０年度開設であれば平成２７年度から平成２９年度）の表は適宜削除してください。

（２） 専任教員数等

（２）－①　設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要専任教員数	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数
14 名	7 名

（注）・　大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二条別表第一イにより算出される専任教員数を記入してください。

（２）－②　専任教員数

設置時の計画					現在（報告書提出時）の状況					現在（報告書提出時）の完成年度時の計画				
教　授	准教授	講　師	助　教	計（A）	教　授	准教授	講　師	助　教	計（B）	教　授	准教授	講　師	助　教	計（C）
13	4	0	2	19	9	3	0	2	13	13	4	0	2	19
(9)	(3)	(0)	(2)	(13)						［０］	［０］	［０］	［０］	［０］

（注）・「設置時の計画」には，設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに，（　）内に開設時の状況を記入してください。
・「現在（報告書提出時）の状況」には、報告書提出年度の５月１日の教員数（実人数）を記入してください。
・**「現在（報告書提出時）の完成年度時の計画」には，「現在（報告書提出時）の状況」に記入した数字に，教員審査を受審済みであり，完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入**するとともに，［　］内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：１名減の場合：△１）

（２）－③　年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告書提出時（上記（B））の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記（C））の教員うち、定年を延長して採用する教員数
65 歳	5 名	8 名

（注）・「年齢構成」には，当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません），および，平成３０年５月１日現在，定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
・なお,職位等によって定年年齢が異なる場合には,職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し，「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

（２）－④　設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在(報告書提出時)の完成年度時の計画(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{19}{19} = \boxed{100}\ \%$$

（注）・　小数点以下第３位を切り捨て，小数点以下第２位まで表示されます。

（２）－⑤　現在（報告書提出時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告書提出時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在(報告書提出時)の状況(B)}} = \frac{5}{13} = \boxed{38.46}\ \%$$

（注）・　小数点以下第３位を切り捨て，小数点以下第２位まで表示されます。

（３） 専任教員辞任等の理由

（３）ー①　専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番　号	職　位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由
1	助教	立野　大地	必修	テーマ別基礎ゼミ	①	他大学の教員着任のため就任辞退（29）
			必修	機械設計製図Ⅱ	①	
			必修	機械工作実習	①	
			必修	機械電気工学実験Ⅰ	①	
			必修	機械電気工学実験Ⅱ	①	
			必修	課題探求プロジェクト	①	
			必修	課題研究ゼミナール	①	
			必修	卒業研究	①	

合計（Ｄ）			後任補充状況の集計（Ｅ）		
就任を辞退した教員数	担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）		①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）
1　人	必修	8　科目	必修　8　科目	必修　0　科目	必修　0　科目
	選択	0　科目	選択　0　科目	選択　0　科目	選択　0　科目
	自由	0　科目	自由　0　科目	自由　0　科目	自由　0　科目
	計	8　科目	計　8　科目	計　0　科目	計　0　科目

（注）・　認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
・　「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。
就任した後に辞任した教員は、以下「（３）ー②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
・　昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに就任を辞退した場合，赤字にて記入するとともに，
「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（　）書きで報告年度を記入してください。
・　また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、
「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・専任教員が担当する（している）場合は「①」
・兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

（３）ー②　専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番　号	職　位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
		該当なし				

合計（Ｆ）			後任補充状況の集計（Ｇ）		
辞任した教員数	担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）		①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）
0　人	必修	0　科目	必修　0　科目	必修　0　科目	必修　0　科目
	選択	0　科目	選択　0　科目	選択　0　科目	選択　0　科目
	自由	0　科目	自由　0　科目	自由　0　科目	自由　0　科目
	計	0　科目	計　0　科目	計　0　科目	計　0　科目

（注）・　一度就任した後に、**定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員**についてに記入してください。
・　昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合，赤字にて記入するとともに，「辞任等の理由」
に辞任理由等および（　）書きで報告年度を記入してください。
・　また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、
「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・専任教員が担当する（している）場合は「①」
・兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

（３）ー③　上記（３）ー①　・　（３）ー②　の合計

合計（Ｄ）＋（Ｆ）			後任補充状況の集計（Ｅ）＋（Ｇ）		
辞任等した教員数	担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）		①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）
1　人	必修	8　科目	必修　8　科目	必修　0　科目	必修　0　科目
	選択	0　科目	選択　0　科目	選択　0　科目	選択　0　科目
	自由	0　科目	自由　0　科目	自由　0　科目	自由　0　科目
	計	8　科目	計　8　科目	計　0　科目	計　0　科目

（３）－④　設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3)-③合計(D)+(F)}{(2)-②設置時の計画(A)} = \frac{1}{19} = 5.26\%$$

（注）・　小数点以下第３位を切り捨て，小数点以下第２位まで表示されます。

（３）－⑤　定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番　号	職　位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
		該当なし				

合計				後任補充状況の集計								
辞任した教員数	担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）			①の合計数（a）			②の合計数（b）			③の合計数（c）		
0　人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
	計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

（注）・　**定年により退職した全ての専任教員**について記入してください。
・　昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合，赤字にて記入するとともに，「辞任等の理由」に辞任理由等および（　）書きで報告年度を記入してください。
・　また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・専任教員が担当する（している）場合は「①」
・兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

（４）専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

本学部における専任教員就任辞退者は、開学年度の前期に担当授業科目を有しておらず、学生の履修等への影響は出ていない。後任については、候補者選を速やかに行い、平成30年第１回のＡＣ教員審査に提出し、現在審査を受けている。なお、当該後任候補者については、授業を持たない専任教員として４月から採用しており、授業の準備等を行っている。これにより、十分な準備期間を与え、適切な履修につなげていく。

（注）・　上記（３）の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

６　留意事項等に対する履行状況等

区　　分	留　意　事　項　等		履　行　状　況		未履行事項についての実施計画
設　置　時 （２９年８月）	・設置の趣旨・目的等が生かされるよう、設置計画を確実に履行すること。また、開設時から４年制大学にふさわしい教育研究活動を行うことはもとより、その水準を一層向上させるよう努めること。	留意事項	・理事長・学長のトップマネジメントのもとに、設置計画を確実に履行し、的確な大学運営を行っている。 ・教育研究活動水準の向上に向け、全学委員会及び学部教授会の両体制から取り組みを行うことを予定している。（３０年度）	未履行	・５月に６年間の計画である中期計画（6年間の計画）を策定し、その後、年度計画を策定する。 ・年度計画を踏まえ、全学委員会である「教育企画委員会」、「研究・地域連携委員会」が具体的な活動計画を策定し、個々の活動は学部教授会のもとに行っていく。（３０年度）
設　置　時 （２９年８月）	・完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について着実に実施すること。	留意事項	・豊富な経験と業績を持つ教授と若手教員が連携して活動を行い、後継者の育成を行っている。 ・中長期的な観点から、教員採用・育成のための計画を策定し、それに沿って教員人事の適正な運用を行う予定である。（３０年度）	未履行	・今年度中に、完成年度までの教員採用・育成計画を策定に着手する。策定後は、計画のもとに、教員の公募・育成等を行うとともに、適宜ＡＣ教員審査に諮っていく。（３０年度）

（注）・　「設置時」には，当該大学等の設置時（認可時又は届出時）に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）　と，それに対する履行状況等について，具体的に記入し，報告年度を（　　）書きで付記してください。

・　「設置計画履行状況調査時」には，当該設置計画履行状況調査の結果，**当該大学に付された意見を全て記入**するとともに，付された意見に対する履行状況等について，具体的に記入してください。その履行状況等を裏付ける資料があれば，添付してください。

・　「履行状況」では，履行途中であれば「未履行」，履行済みであれば「履行済」を選択してください。

・　該当がない場合には，「該当なし」と記入してください。

・　「設置計画履行状況調査時」の（年月）には，調査結果を公表した月（通常２月）を記入してください。（実地調査や面接調査を実施した日ではありません。）

７　その他全般的事項

＜生産システム科学部　生産システム科学科＞

（１） 設置計画変更事項等

設　置　時　の　計　画	変更内容・状況，今後の見通しなど
該当なし	

（注）・　１～６の項目に記入した事項以外で，設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）
及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

（２） 教員の資質の維持向上の方策（ＦＤ・ＳＤ活動含む）

①　実施体制

ａ　委員会の設置状況

公立小松大学ＦＤ・ＳＤ推進委員会規則を制定（３０年４月）

ｂ　委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

未開催（３０年６月第１回会議を開催予定）

ｃ　委員会の審議事項等

ＦＤ・ＳＤの推進計画の策定、実施に関すること

②　実施状況

ａ　実施内容

実施内容については、今後開催する公立小松大学ＦＤ・ＳＤ推進委員会により審議を行っていく。

ｂ　実施方法

実施方法については、今後開催する公立小松大学ＦＤ・ＳＤ推進委員会により審議を行っていく。

ｃ　開催状況（教員の参加状況含む）

未開催のため該当なし。

ｄ　実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

未実施のため該当なし。実施後に取り組みを行っていく。

③　学生に対する授業評価アンケートの実施状況

ａ　実施の有無及び実施時期

未実施。３０年度前期開講科目終了時に、授業評価アンケートを実施を予定。

ｂ　教員や学生への公開状況，方法等

学科ごとに集計を行い教員全体で内容を共有することを予定している。また、学生に対しては、学内掲示板等により結果を公表することを予定している。

（注）・「①ａ　委員会の設置状況」には，関係規程等を転載又は添付すること。
「②実施状況」には，実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

（３） 自己点検・評価等に関する事項

①　設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

開学後１ヵ月が経過し、設置認可申請書に記載した内容に沿って、大学運営が行われている。引き続き、設置の趣旨・目的の達成に向かって大学運営を行っていきたい。

②　自己点検・評価報告書

ａ　公表（予定）時期

・平成３１年６月　公表予定

ｂ　公表方法

・大学ホームページ上に公開予定（平成３１年６月末を予定）

③　認証評価を受ける計画

・学内で検討を行っている。

（注）・　設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。
また，「①　設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については，できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。
なお，「②　自己点検・評価報告書」については，当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

（４） 情報公表に関する事項

○　設置計画履行状況報告書

ａ　ホームページに公表（予定）の有無　（　有　・　(無)　）

ｂ　公表（予定）有の場合の公表（予定）時期　（　年　月　日　）

（注）・　「ａ　ホームページに公表（予定）有無」には，５月１日時点で公表している場合，もしくは，今後公表する予定の場合は，「有」にマルを記入してください。今後も公表する予定がない場合は，「無」にマルを記入してください。
・　「ｂ　公表（予定）有の場合の公表（予定）時期」には，「ａ　ホームページに公表（予定）有無」で「有」にマルを記入した場合のみ，時期を記入してください。

1　調査対象大学等の概要等

（1）設　置　者

公立大学法人公立小松大学

（2）大　学　名

公立小松大学

（3）大学の位置

〒923-0921
石川県小松市土居原町10-10
〒923-0961
石川県小松市向本折町へ14-1

（注）・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合，本部の位置を（　）書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には，複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

（4）管理運営組織

職　　名	設　　置　　時	変　更　状　況	備　　考
理 事 長	（ イシダ　ヒロト ） 石田　寛人 （現職就任30年4月）		
学　　長	（ ヤマモト　ヒロシ ） 山本　博 （現職就任30年4月）		
学 部 長	（ キタオカ　カズヨ ） 北岡　和代 （現職就任30年4月）		
学科長等	（ キタオカ　カズヨ ） 北岡　和代 （現職就任30年4月）		

（注）・「変更状況」は，変更があった場合に記入し，併せて「備考」に変更の理由と変更年月日，報告年度を（　）書きで記入してください。
（例）平成２９年度に報告済の内容　→（29）
平成３０年度に報告する内容　→（30）
・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば，「変更状況」に赤字にて記載（昨年度までに報告された記載があれば，そこに赤字で見え消し修正）するとともに，上記と同様に，「備考」に変更理由等を記入してください。
・大学院の場合には，「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は，各職に相当する職名の方を記載してください。

（５）　調査対象学部等の名称，定員，入学者の状況等

（注）・　当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等，定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
・　なお，課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は，法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
・　様式は，平成２７年度開設の４年制の学科の場合（平成３０年度までの４年間）ですが，開設年度・修業年限に合わせて作成してください。（修業年限が３年以下の場合には欄を削除し，５年以上の場合には，欄を設けてください。）

（５）－①　調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称（学位）	学位又は学科の分野	設置時の計画				備　考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
保健医療学部 看護学科 学士（看護学）	保健衛生学関係（看護学関係）	4年	50人	年次 －	200人	

（注）・　定員を変更した場合は，「備考」に変更前の人数，変更年月及び報告年度を（　）書きで記入してください。
・　学生募集停止を予定している場合は、「備考」にその旨記載してください。
・　「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第２号（その２の１））」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

（５）－②　調査対象学部等の入学者の状況

区分＼対象年度	平成２７年度		平成２８年度		平成２９年度		平成３０年度		平均入学定員超過率	備　考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
Ａ　入学定員	－ （　－　） ［　－　］	－	－ （　－　） ［　－　］	－	－ （　－　） ［　－　］	－	50人 （　－　） ［　－　］	—人	1.06倍	
志願者数	－ （　－　） ［　－　］	－ （　－　） ［　－　］	－ （　－　） ［　－　］	－ （　－　） ［　－　］	－ （　－　） ［　－　］	－ （　－　） ［　－　］	562 （　－　） ［　－　］	－ （　－　） ［　－　］		
受験者数	－ （　－　） ［　－　］	－ （　－　） ［　－　］	－ （　－　） ［　－　］	－ （　－　） ［　－　］	－ （　－　） ［　－　］	－ （　－　） ［　－　］	448 （　－　） ［　－　］	－ （　－　） ［　－　］		
合格者数	－ （　－　） ［　－　］	－ （　－　） ［　－　］	－ （　－　） ［　－　］	－ （　－　） ［　－　］	－ （　－　） ［　－　］	－ （　－　） ［　－　］	129 （　－　） ［　－　］	－ （　－　） ［　－　］		
Ｂ　入学者数	－ （　－　） ［　－　］	－ （　－　） ［　－　］	－ （　－　） ［　－　］	－ （　－　） ［　－　］	－ （　－　） ［　－　］	－ （　－　） ［　－　］	53 （　－　） ［　－　］	－ （　－　） ［　－　］		
入学定員超過率 Ｂ／Ａ							1.06			

（注）・　数字は，平成３０年５月１日現在の数字を記入してください。
・　（　）内には，編入学の状況について**外数で**記入してください。なお，編入学を複数年次で行っている場合には，((　))書きとするなどし，その旨を「備考」に付記してください。 該当がない年には「－」を記入してください。
・　［　］内には，留学生の状況について**内数で**記入してください。該当がない年には「－」を記入してください。
・　留学生については，「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により，我が国の大学（大学院を含む。），短期大学，高等専門学校，専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
・　短期交換留学生など，定員内に含めていない学生については記入しないでください。
・　転入学生は記入しないでください。
・　学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「－」を記入してください。また，その他の学期に入学定員を設けている場合は，備考欄にその人数を記入してください。
・　「入学定員超過率」については，**各年度の春季入学とその他を合計した入学定員，入学者数で算出**してください。なお，計算の際は小数点以下第３位を切り捨て，小数点以下第２位まで記入してください。
・　「平均入学定員超過率」には，開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお，計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

（５）－③　調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 / 学　年	平成２７年度		平成２８年度		平成２９年度		平成３０年度		備　　考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
１年次	－ [－] （ － ）	－ [－] （ － ）	－ [－] （ － ）	－ [－] （ － ）	－ [－] （ － ）	－ [－] （ － ）	53 [－] （ － ）	－ [－] （ － ）	
２年次			－ [－] （ － ）	－ [－] （ － ）	－ [－] （ － ）	－ [－] （ － ）	－ [－] （ － ）	－ [－] （ － ）	
３年次					－ [－] （ － ）	－ [－] （ － ）	－ [－] （ － ）	－ [－] （ － ）	
４年次							－ [－] （ － ）	－ [－] （ － ）	
計	－ [－] （ － ）		－ [－] （ － ）		－ [－] （ － ）		53 [－] （ － ）		

（注）・　数字は，平成３０年５月１日現在の数字を記入してください。
・　[　　]内には，留学生の状況について**内数で**記入してください。該当がない年には「－」を記入してください。
・　留学生については，「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により，我が国の大学（大学院を含む。），短期大学，高等専門学校，専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
・　短期交換留学生など，定員内に含めていない学生については記入しないでください。
・　編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際，備考欄に人数の内訳を記入してください。
・　学期の区分に従い学生を入学させる場合は，春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は，その他の学期欄は「－」を記入してください。また，その他の学期に入学定員を設けている場合は，備考欄にその人数を記入してください。
・　「計」については，**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数，留学生数**を記入してください。
・（　）内には，留年者の状況について，内数で記入してください。該当がない年には「－」を記入してください。

（５）－④　調査対象学部等の退学者等の状況

区分 / 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由
			入学した年度	退学者数	退学者数のうち留学生数	
平成27年度	－ 人	－ 人	平成27年度	－ 人	－ 人	
平成28年度	－ 人	－ 人	平成27年度	－ 人	－ 人	
			平成28年度	－ 人	－ 人	
平成29年度	－ 人	－ 人	平成27年度	－ 人	－ 人	
			平成28年度	－ 人	－ 人	
			平成29年度	－ 人	－ 人	
平成30年度	53 人	0 人	平成27年度	－ 人	－ 人	
			平成28年度	－ 人	－ 人	
			平成29年度	－ 人	－ 人	
			平成30年度	0 人	0 人	
合　計	53 人	0 人				

（注）・ 数字は，平成30年5月1日現在の数字を記入してください。
・ 各年度の在学者数については，該当年度に在学した人数を記入してください。（途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。）
・ 内訳については，退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
・ 在学者数や退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
・ 留学生については，「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により，我が国の大学（大学院を含む。），短期大学，高等専門学校，専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
・ 短期交換留学生など，定員内に含めていない学生については記入しないでください。
・「主な退学理由」は，下の項目を参考に記入してください。その際，「就学意欲の低下（○人）」というように，その人数も含めて記入してください。
（記入項目例）・就学意欲の低下　・学力不足　・他の教育機関への入学・転学　・海外留学
・就職　・学生個人の心身に関する事情　・家庭の事情　・除籍　・その他

（５）－⑤　調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成27年度】

$$\frac{\text{平成27年度の退学者数(a)}}{\text{平成27年度の在学者数(b)}} = \frac{－}{－} = \text{\#VALUE!}\ \%$$

【平成28年度】

$$\frac{\text{平成28年度の退学者数(a)}}{\text{平成28年度の在学者数(b)}} = \frac{－}{－} = \text{\#VALUE!}\ \%$$

【平成29年度】

$$\frac{\text{平成29年度の退学者数(a)}}{\text{平成29年度の在学者数(b)}} = \frac{－}{－} = \text{\#VALUE!}\ \%$$

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{53} = 0\ \%$$

（注）・　小数点以下第３位を切り捨て，小数点以下第２位まで表示されます。

２　授業科目の概要

＜保健医療学部　看護学科＞

（１）ー① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
共通教育科目	導入科目	ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝ･ﾁｰﾑ論Ⅱ	1前	1			1		1	1		3
		ｱｶﾃﾞﾐｯｸ･ｽｷﾙｽﾞ	1前	1								11
		ﾃｰﾏ別基礎ｾﾞﾐ	1後	2			3	1	1			5
		情報処理基礎	1前	2								6
		南加賀の歴史と文	1後	2								1
	一般科目（人間力）	哲学	1前		2							1
		心理学	1前		2							1
		人間の発達と心	1前		2							1
		日本の伝統芸能	1前		2							1
		人文地理学	1後		2							1
		文化人類学	1後		2							1
		医療と文化	1後		2							1
		文章表現法	1後		2							1
		言葉と文化	1後		2							2
	一般科目（社会力）	日本産業史	1前		2							4
		自然資源と環境問題	1前		2							1
		経済学	1前		2							2
		政治学	1後		2							2
		社会学	1後		2							1
		公共政策論	1後		2							1
		社会福祉論	1後		2							1
		日本国憲法	1前		2							1
	一般科目（科学力）	データ科学と社会	1前		2							3
		情報処理応用A	1後		2							2
		情報処理応用B	1後		2							1
		ｸﾘﾃｨｶﾙｼﾝｷﾝｸﾞ	1後		2							1
		統計学	1前		2							2
		教養としての物理	1前		2							2
		教養としての数学	1後		2							2
		現代科学技術論	1前		2							5
	一般科目（健康と体力）	健康と体の科学	1前		2		1					1
		ｽﾎﾟｰﾂ演習（ﾊﾞﾚｰﾎﾞｰﾙ）	1前・後		1							1
		ｽﾎﾟｰﾂ演習（硬式ﾃﾆｽ）	1前		1							1
		ｽﾎﾟｰﾂ演習（ﾌｯﾄｻﾙ）	1前・後		1							1
		ｽﾎﾟｰﾂ演習（卓球）	1後		1							1
		ｽﾎﾟｰﾂ演習（ﾊﾞﾄﾞﾐﾝﾄﾝ）	1前・後		1							1
	英語科目	英語Ⅰa	1前	2								5
		英語Ⅰb	1前	2								3
		英語Ⅱa	1後	2								3
		英語Ⅱb	1後	2								4
		英語Ⅲ	1後		2							1
		英会話Ⅰ	1後		2							1

【平成３０年度】

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
共通教育科目	導入科目	ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝ･ﾁｰﾑ論Ⅱ	1前	1			1		1	1		3
		ｱｶﾃﾞﾐｯｸ･ｽｷﾙｽﾞ	1前	1								11
		ﾃｰﾏ別基礎ｾﾞﾐ	1後	2			3	1	1			5
		情報処理基礎	1前	2								6
		南加賀の歴史と文	1後	2								1
	一般科目（人間力）	哲学	1前		2							1
		心理学	1前		2							1
		人間の発達と心	1前		2							1
		日本の伝統芸能	1前		2							1
		人文地理学	1後		2							1
		文化人類学	1後		2							1
		医療と文化	1後		2							1
		文章表現法	1後		2							1
		言葉と文化	1後		2							2
	一般科目（社会力）	日本産業史	1前		2							4
		自然資源と環境問題	1前		2							1
		経済学	1前		2							2
		政治学	1後		2							2
		社会学	1後		2							1
		公共政策論	1後		2							1
		社会福祉論	1後		2							1
		日本国憲法	**1後**		2							1
	一般科目（一般科目（科学力））	データ科学と社会	**1後**		2							3
		情報処理応用A	1後		2							2
		情報処理応用B	1後		2							1
		ｸﾘﾃｨｶﾙｼﾝｷﾝｸﾞ	1後		2							1
		統計学	**1後**		2							2
		教養としての物理	1前		2							2
		教養としての数学	**1前**		2							2
		現代科学技術論	1前		2							5
	一般科目（健康と体力）	健康と体の科学	1前		2		1					1
		ｽﾎﾟｰﾂ演習（ﾊﾞﾚｰﾎﾞｰﾙ）	1前・後		1							1
		ｽﾎﾟｰﾂ演習（硬式ﾃﾆｽ）	1前		1							1
		ｽﾎﾟｰﾂ演習（ﾌｯﾄｻﾙ）	1前・後		1							1
		ｽﾎﾟｰﾂ演習（卓球）	1後		1							1
		ｽﾎﾟｰﾂ演習（ﾊﾞﾄﾞﾐﾝﾄﾝ）	1前・後		1							1
	英語科目	英語Ⅰa	1前	2								5
		英語Ⅰb	1前	2								3
		英語Ⅱa	1後	2								3
		英語Ⅱb	1後	2								4
		英語Ⅲ	1後		2							1
		英会話Ⅰ	1後		2							1

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
共通教育科目	英語科目	英会話Ⅱ	1後		2							1
		実用英語Ⅰ	1前・後			2						1
		実用英語Ⅱ	1前・後			2						1
		実用英語Ⅲ	1前・後			2						1
		実用英語Ⅳ	1前・後			2						1
	その他外国語科目	中国語Ⅰ	1前		2							1
		中国語Ⅱ	1後		2							1
		フランス語Ⅰ	1前		2							1
		フランス語Ⅱ	1後		2							1
		ドイツ語Ⅰ	1前		2							1
		ドイツ語Ⅱ	1後		2							1
		ロシア語Ⅰ	1前		2							1
		ロシア語Ⅱ	1後		2							1
		スペイン語Ⅰ	1前		2							1
		スペイン語Ⅱ	1後		2							1
専門基礎科目	人の身体と心を知るステージ	解剖学	1前	2								1
		生理学	1前	2								1
		病理学	1前	2								1
		心の健康とストレスマネジメント論	1前	1			2					
		感染免疫学	1後	2								1
		栄養・生化学	1後	2								2
		薬理学	1後	2								1
	人の健康問題を考えるステージ	認知症ケア論	1後	1			1					
		老年疾病・治療論	2前	1								1
		公衆衛生学	2前	1								1
		急性疾患論	2前	1								1
		母子疾病・治療論	2前	2								1
		生活習慣病論	2後	2								1
		保健医療福祉法制度論	2後	2								1
		疫学・保健統計学	2後	2			1					
専門科目	看護とは何かを理解するステージ	市民健康論	1前	1			3					
		看護学概論	1後	1			2					
		基礎看護実習Ⅰ	1後	1			2			3		
		看護の技基礎コースⅠ（療養上の世話）	2前	2			2					
		看護の技基礎コースⅡ（フィジカルアセスメント）	2前	1			2					
		看護の技基礎コースⅢ（診療の補助）	2後	2			2					
		看護ケア提供論：看護理論と看護過程	2前	1			1					
		看護の品格育成論	2前	1			2					
		看護倫理	2前	1			1					
		基礎看護実習Ⅱ	2後	2			2			3		
		精神保健看護学概論	2前	1			1					
		精神保健看護ケア提供論	2前	2			1					
		精神保健看護演習	2後	1			1					
		精神保健看護実習Ⅰ	2後	1			1			2		
		精神保健看護実習Ⅱ	3通	1			1			2		

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
共通教育科目	英語科目	英会話Ⅱ	1後		2							1
		実用英語Ⅰ	1前・後			2						1
		実用英語Ⅱ	1前・後			2						1
		実用英語Ⅲ	1前・後			2						1
		実用英語Ⅳ	1前・後			2						1
	その他外国語科目	中国語Ⅰ	1前		2							1
		中国語Ⅱ	1後		2							1
		フランス語Ⅰ	1前		2							1
		フランス語Ⅱ	1後		2							1
		ドイツ語Ⅰ	1前		2							1
		ドイツ語Ⅱ	1後		2							1
		ロシア語Ⅰ	1前		2							1
		ロシア語Ⅱ	1後		2							1
		スペイン語Ⅰ	1前		2							1
		スペイン語Ⅱ	1後		2							1
専門基礎科目	人の身体と心を知るステージ	解剖学	1前	2								1
		生理学	1前	2								1
		病理学	1後	2								1
		心の健康とストレスマネジメント論	1前	1			2					
		感染免疫学	1後	2								1
		栄養・生化学	1後	2								2
		薬理学	1後	2								1
	人の健康問題を考えるステージ	認知症ケア論	1後	1			1					
		老年疾病・治療論	2前	1								1
		公衆衛生学	2前	1								1
		急性疾患論	2前	1								1
		母子疾病・治療論	2前	2								1
		生活習慣病論	2後	2								1
		保健医療福祉法制度論	2後	2								1
		疫学・保健統計学	2後	2			1					
専門科目	看護とは何かを理解するステージ	市民健康論	1前	1			3					
		看護学概論	1後	1			2					
		基礎看護実習Ⅰ	1後	1			2			3		
		看護の技基礎コースⅠ（療養上の世話）	2前	2			2					
		看護の技基礎コースⅡ（フィジカルアセスメント）	2前	1			2					
		看護の技基礎コースⅢ（診療の補助）	2後	2			2					
		看護ケア提供論：看護理論と看護過程	2前	1			1					
		看護の品格育成論	2前	1			2					
		看護倫理	2前	1			1					
		基礎看護実習Ⅱ	2後	2			2			3		
		精神保健看護学概論	2前	1			1					
		精神保健看護ケア提供論	2前	2			1					
		精神保健看護演習	2後	1			1					
		精神保健看護実習Ⅰ	2後	1			1			2		
		精神保健看護実習Ⅱ	3通	1			1			2		

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
専門科目	看護ケア能力を育てるステージ	老年看護学概論	2前	1			1					
		老年看護ケア提供論	2前	1			1					
		老年看護演習	2後	2			1		1			
		老年看護実習Ⅰ	3通	2			1		1	1		
		老年看護実習Ⅱ	3通	2			1		1	1	1	
		成人看護学概論	2前	1			1					
		成人看護ケア提供論	2前	2			1	1				
		成人看護演習	3前	3			1	1				
		成人看護実習Ⅰ(急性)	3通	2			1	1	1	1		
		成人看護実習Ⅱ(慢性)	3通	2			1	1	1	1		
		成人看護実習Ⅲ(回復・維持)	3通	2			1	1	1	1		
		母性看護学概論	2前	1			1					
		母性看護ケア提供論	2前	1			1					
		母性看護演習	3前	2			1					
		母性看護実習	3通	2			1				2	
		小児看護学概論	2前	1			1					
		小児看護ケア提供論	2前	1			1					
		小児看護演習	3前	2			1					
		小児看護実習Ⅰ	2後	1			1			1		
		小児看護実習Ⅱ	3通	1			1			1	2	
	看護ケア能力を拡げるステージ	在宅看護学概論	2後	1			1					
		在宅看護ケア提供論	2後	1			1					
		在宅看護演習	3前	2			1					
		在宅看護実習	3通	2			1	1			1	
		看護統合実習	4前	2			8	1	3	8	4	
		公衆衛生看護学概論	2後	1			1					
		健康教育論	2後	1			1			1		
		公衆衛生看護方法論Ⅰ(対象別)	3後		1		1					
		公衆衛生看護方法論Ⅱ(公衆衛生看護技術)	3後		1		1					
		公衆衛生看護方法論Ⅲ(学校・産業・災害)	4前		2		1	1				
		公衆衛生看護方法論Ⅳ(地域看護診断)	4前		1		1	1				
		公衆衛生看護方法論Ⅴ(健康診査・家庭訪問・健康教育)	4前		2		1	1				
		公衆衛生看護管理論	4前		1		1					
		疫学・保健統計学演習	3後		2		1					
		公衆衛生看護実習	4通		5		1	1		1		

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
専門科目	看護ケア能力を育てるステージ	老年看護学概論	2前	1			1					
		老年看護ケア提供論	2前	1			1					
		老年看護演習	2後	2			1		1			
		老年看護実習Ⅰ	3通	2			1		1	1		
		老年看護実習Ⅱ	3通	2			1		1	1	1	
		成人看護学概論	2前	1			1					
		成人看護ケア提供論	2前	2			1	1				
		成人看護演習	3前	3			1	1				
		成人看護実習Ⅰ(急性)	3通	2			1	1	1	1		
		成人看護実習Ⅱ(慢性)	3通	2			1	1	1	1		
		成人看護実習Ⅲ(回復・維持)	3通	2			1	1	1	1		
		母性看護学概論	2前	1			1					
		母性看護ケア提供論	2前	1			1					
		母性看護演習	3前	2			1					
		母性看護実習	3通	2			1				2	
		小児看護学概論	2前	1			1					
		小児看護ケア提供論	2前	1			1					
		小児看護演習	3前	2			1					
		小児看護実習Ⅰ	2後	1			1			1		
		小児看護実習Ⅱ	3通	1			1			1	2	
	看護ケア能力を拡げるステージ	在宅看護学概論	2後	1			1					
		在宅看護ケア提供論	2後	1			1					
		在宅看護演習	3前	2			1					
		在宅看護実習	3通	2			1	1			1	
		看護統合実習	4前	2			8	1	3	8	4	
		公衆衛生看護学概論	2後	1			1					
		健康教育論	2後	1			1			1		
		公衆衛生看護方法論Ⅰ(対象別)	3後		1		1					
		公衆衛生看護方法論Ⅱ(公衆衛生看護技術)	3後		1		1					
		公衆衛生看護方法論Ⅲ(学校・産業・災害)	4前		2		1	1				
		公衆衛生看護方法論Ⅳ(地域看護診断)	4前		1		1	1				
		公衆衛生看護方法論Ⅴ(健康診査・家庭訪問・健康教育)	4前		2		1	1				
		公衆衛生看護管理論	4前		1		1					
		疫学・保健統計学演習	3後		2		1					
		公衆衛生看護実習	4通		5		1	1		1		

科目区分			授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
					必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門科目	看護の未来を共創するステージ	看護熟練の技	安全･安楽なﾎﾟｼﾞｼｮﾆﾝｸﾞの技	4前		1		1					
			排便ケア	4前		1		1					
			看護ﾘｰﾀﾞｰ	4前		1		1					
			食と看護	4後		1		1					
			ﾀｯﾁｹｱ･ｽｷﾙ	4後		1		1					
			ﾉﾝﾃｸﾆｶﾙ･ｽｷﾙ	4後		1		1					
			MMPI心理検査と看護ｹｱ	4後		1		1					
		看護未来創出	ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙ感染対策	4前		1		1					
			看護技術の科学的検証	4前		1		1					1
			地域の健康課題と多職種連携	4前		1		1					
			統合医療	4後		1			1				
			地域包括ｹｱ	4後		1		1					
			ﾁｰﾑ医療論	4前		2							2
			看護と異文化理解	4通		2		1					
			研究方法論	4前	2			1					
			卒業研究	4通	4			10	2				

科目区分			授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
					必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門科目	看護の未来を共創するステージ	看護熟練の技	安全･安楽なﾎﾟｼﾞｼｮﾆﾝｸﾞの技	4前		1		1					
			排便ケア	4前		1		1					
			看護ﾘｰﾀﾞｰ	4前		1		1					
			食と看護	4後		1		1					
			ﾀｯﾁｹｱ･ｽｷﾙ	4後		1		1					
			ﾉﾝﾃｸﾆｶﾙ･ｽｷﾙ	4後		1		1					
			MMPI心理検査と看護ｹｱ	4後		1		1					
		看護未来創出	ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙ感染対策	4前		1		1					
			看護技術の科学的検証	4前		1		1					1
			地域の健康課題と多職種連携	4前		1		1					
			統合医療	4後		1			1				
			地域包括ｹｱ	4後		1		1					
			ﾁｰﾑ医療論	4前		2							2
			看護と異文化理解	4通		2		1					
			研究方法論	4前	2			1					
			卒業研究	4通	4			10	2				

（注）・　認可申請書又は設置届出書の様式第２号（その２の１）に準じて作成してください。
・　設置認可時又は届出時の授業科目全て（兼任，兼担教員が担当する科目を含む。）を黒字で記載してください。
その上で，認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。
・　履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。
・　１ページ目には認可時又は届出時と平成３０年度の表を記入してください。
・　不要な年度（平成２８年度開設であれば平成２７年度、平成２９年度開設であれば平成２７年度及び平成２８年度、平成３０年度開設であれば平成２７年度から平成２９年度）の表は適宜削除し，詰めてください。
（２つの表が１ページに表示されるようにしてください。）

（１）ー②授業科目表に関する変更内容

【平成３０年度】

・教育内容の向上を図るため、「医療と文化」の担当教員を「兼任教員」から「兼担教員」に変更（授業科目表上は変更なし）。
・兼任教員の本業の予定と合わない理由により、「日本国憲法」の開講時期を「１前」から「１後」に変更。
・兼任教員の本業の予定と合わない理由により、「データ科学と社会」の開講時期を「１前」から「１後」に変更。
（３０年度において、翌年度より専任教員となる新田雅道教授が兼任教員として授業を担当）
・兼任教員の本業の予定と合わない理由により、「統計学」の開講時期を「１前」から「１後」に変更。
・兼任教員に係る時間割調整に伴う共通教育科目（一般科目（科学力））における学生の授業履修の調整を行うため、
「教養としての数学」の開講時期を「１後」から「１前」に変更。
・１年を通じて人体の構造と機能に関する知識の修得を図るため、「病理学」の開講時期を「１前」から「１後」に変更。
（当初１年前期に解剖学、生理学、病理学を開講する予定であったが、１年前期に解剖学、生理学を学び、その理解のもとで
病理学を学ぶことで、より効果的な教育を実施していくため１年後期に病理学を配置変更した。）

（注）・　変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を箇条書きで記入してください。
変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
・　変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
・　不要な年度（平成２８年度開設であれば平成２７年度、平成２９年度開設であれば平成２７年度及び平成２８年度、
平成３０年度開設であれば平成２７年度から平成２９年度）の表は適宜削除してください。

（２）授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計（Ａ）	必修	選択	自由	計	
68 科目	66 科目	4 科目	138 科目	68 科目 [0]	66 科目 [0]	4 科目 [0]	138 科目 [0]	

（注）・　未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに，［　］内に，設置時の計画からの増減を
記入してください。（記入例：１科目減の場合：△１）

（３） 未開講科目

該当なし

番号	授業科目名	単 位 数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1						
2						
3						

（注）・　配当年次に達しているにも関わらず，何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。
・　履修希望者がいなかったために未開講となった科目については，記入しないでください。
・　教職大学院の場合は，「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

（４） 廃止科目

該当なし

番号	授業科目名	単 位 数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1						
2						
3						

（注）・　設置時の計画にあり，何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。
・　教職大学院の場合は，「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

（５） 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

（注）・　授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

（６） 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目（３）と廃止科目（４）の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計（Ａ）}} = \frac{0}{138} = 0\%$$

（注）・　小数点以下第３位を切り捨て，小数点以下第２位まで表示されます。
・　「未開講科目と廃止科目の計」が、「（３）未開講科目」と「（４）廃止科目」の合計数となるように留意してください。

３　施設・設備の整備状況，経費

区分		内容				備考
（1）校地等	区分	専用	共用	共用する他の学校等の専用	計	
	校舎敷地	18,962.05 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	18,962.05 ㎡	末広キャンパス 借用面積：3,676 ㎡ 借用期間：25年
	運動場用地	14,271.00 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	14,271.00 ㎡	
	小計	33,233.05 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	33,233.05 ㎡	
	その他	8,251.28 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	8,251.28 ㎡	
	合計	41,484.33 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	41,484.33 ㎡	
（2）校舎		専用	共用	共用する他の学校等の専用	計	末広キャンパス 借用面積：930 ㎡ 借用期間：25年 中央キャンパス 借用面積：4,030 ㎡ 借用期間：25年
		16,305.47 ㎡ （4,555.95 ㎡）	0 ㎡ （3,644.67 ㎡）	0 ㎡ （4,926.47 ㎡）	16,305.47 ㎡ （13,127.09 ㎡）	

（3）教室等	講義室	演習室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	備考
	23 室	12 室	18 室	0 室 （補助職員　0人）	0 室 （補助職員　0人）	大学全体

（4）専任教員研究室	新設学部等の名称	室数	備考
	保健医療学部　看護学科	16 室	

（5）図書・設備	新設学部等の名称	図書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標本 点	備考
	保健医療学部 看護学科	9,918〔111〕 （8,954〔98〕）	36〔 3〕 （594〔560〕）	3〔 3〕 （570〔566〕）	867 （854）	103 （89）	93 （79）	
	計	9,918〔111〕 （8,954〔98〕）	36〔 3〕 （594〔560〕）	3〔 3〕 （570〔566〕）	867 （854）	103 （89）	93 （79）	

（6）図書館	面積	閲覧座席数	収納可能冊数	備考
	909.83 ㎡	118 席	80,000 冊	大学全体

（7）体育館	面積	体育館以外のスポーツ施設の概要		備考
	960.00 ㎡	－	－	大学全体

（8）経費の見積り及び維持方法の概要

経費の見積り	区分	開設年度	完成年度	区分	開設前年度	開設年度	完成年度
	教員１人当り研究費等	400千円	400千円	図書購入費	~~5,211千円~~ 4,147千円	5,211千円	2,933千円
	共同研究費等	3,000千円	3,000千円	設備購入費	~~130,000千円~~ 111,156千円	98,000千円	3,000千円

学生１人当り納付金	第１年次	第２年次	第３年次	第４年次	第５年次	第６年次
	市内学生918千円 その他1,059千円	636千円	636千円	636千円	－ 千円	－ 千円

学生納付金以外の維持方法の概要	大学運営費交付金、資産運用収入、雑収入　等

備考：共通教育用の図書については、国際文化交流学部の図書として算定を行っている（30）
設備の一部についてリースにて対応することとしたため（30）
設備購入費は大学全体

（注）・　設置時の計画を，申請書の様式第２号（その１の１）に準じて作成してください。（複数のキャンパスに分かれている場合，複数の様式に分ける必要はありません。なお，「（１）校地等」及び「（２）校舎」は大学全体の数字を，その他の項目はＡＣ対象学部等の数値を記入してください。）

・　運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は，その旨（所要時間・距離等）を「備考」に記入してください。

・　「(５)図書・設備」については，上段に完成年度の予定数値を，下段には平成３０年５月１日現在の数値を記入してください。

・　昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては，変更部分を赤字で見え消し修正するとともに，その理由及び報告年度「（30）」を「備考」に赤字で記入してください。

なお，昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については，見え消しのまま黒字にしてください。

・　校舎等建物の計画の変更（校舎又は体育館の総面積の減少，建築計画の遅延）がある場合には，「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。

・　国立大学については「（８）経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

４　ＡＣ対象学部等を含む大学等の状況

大学の名称	○　○　大　学								備　考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開設年度	所在地	
	年	人	年次 人	人		倍			
生産システム科学部									
生産システム科学科	4	80	―	320	学士 （工学）	1.00	平成30年度	石川県小松市土居原町10-10 石川県小松市四丁町ヌ1-3	
保健医療学部									
看護学科	4	50	―	200	学士 （看護学）	1.06	平成30年度	石川県小松市土居原町10-10 石川県小松市向本折町へ14-1	
臨床工学学科	4	30	―	120	学士 （臨床工学）	1.13	平成30年度	同上	
国際文化交流学部									
国際文化交流学科	4	80	―	320	学士 （国際文化学）	1.03	平成30年度	石川県小松市土居原町10-10	

大学の名称	小　松　短　期　大　学								備　考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開設年度	所在地	
地域創造学科	2年	0人	― 年次 ― 人	0人	短期大学士	― 倍	昭和63年	石川県小松市四丁町ヌ1-3	平成30年4月 学生募集停止

（注）・本調査の対象となっている大学等の設置者（学校法人等）が設置している全ての大学（学部，学科），大学院（専攻）及び短期大学（学科）（ＡＣ対象学部等含む）について，それぞれの学校種ごとに，平成３０年５月１日現在の上記項目の情報を記入してください。

・学部の学科または研究科の専攻等，「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。

※「入学定員を定めている組織ごと」には，課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。

※なお，課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は，法令上規定されている組織上の最小単位（大学であれば「学科」，短期大学であれば「専攻課程」）でも記載してください。

・専攻科に係るものについては，記入する必要はありません。

・ＡＣ対象学部等については、必ず記入するとともに、下線を引いてください。

・「平均入学定員超過率」には，標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第２位まで（小数点以下第３位を切り捨て）を記入してください。

・学生募集を停止している学部等がある場合，入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「－」とし，「備考」に「平成○○年より学生募集停止」と記入してください。

５　教員組織の状況

＜保健医療学部　看護学科＞

（１）ー① 担当教員表

【認可時又は届出時】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
専	教授	北岡　和代 （64） ＜平成30年4月＞	心の健康とｽﾄﾚｽﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ論 ※ 看護倫理 精神保健看護学概論 精神保健看護ケア提供論 精神保健看護演習 精神保健看護実習Ⅰ 精神保健看護実習Ⅱ 看護統合実習 卒業研究 看護と異文化理解
専	教授	森川　浩子 （64） ＜平成30年4月＞	テーマ別基礎ゼミ 小児看護学概論 小児看護ケア提供論 小児看護演習 小児看護実習Ⅰ 小児看護実習Ⅱ 看護統合実習 卒業研究
専	教授	中島　素子 （65） ＜平成30年4月＞	健康と体の科学 ※ 市民健康論 ※ 公衆衛生看護学概論 健康教育論 公衆衛生看護方法論Ⅰ （対象別） 公衆衛生看護方法論Ⅱ （公衆衛生看護技術） 公衆衛生看護方法論Ⅲ （学校・産業・災害） ※ 公衆衛生看護方法論Ⅳ （地域看護診断） 公衆衛生看護方法論Ⅴ （健康診査・家庭訪問・健康教育） 公衆衛生看護管理論 公衆衛生看護実習 卒業研究
専	教授	鋤柄　増根 （65） ＜平成31年4月＞	心の健康とｽﾄﾚｽﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ論 ※ 疫学・保健統計学 疫学・保健統計学演習 研究方法論 卒業研究 MMPI心理検査と看護ｹｱ
兼任	講師	鋤柄　増根 （64） ＜平成30年4月＞	心の健康とｽﾄﾚｽﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ論 ※
専	教授	内田　美保 （59） ＜平成30年4月＞	テーマ別基礎ゼミ 市民健康論 ※ 看護学概論 ※ 基礎看護実習Ⅰ 看護の技基礎コースⅠ （療養上の世話） 看護の技基礎コースⅡ （ﾌｨｼﾞｶﾙｱｾｽﾒﾝﾄ） 看護の技基礎コースⅢ （診療の補助） 基礎看護実習Ⅱ 看護統合実習 卒業研究 看護リーダー グローバル感染対策
専	教授	小泉　由美 （59） ＜平成30年4月＞	テーマ別基礎ゼミ 認知症ケア論 看護の品格育成論 老年看護学概論 老年看護ケア提供論 老年看護演習 老年看護実習Ⅰ 老年看護実習Ⅱ 看護統合実習 卒業研究 タッチケア・スキル

【平成３０年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
専	教授	北岡　和代 （64） ＜平成30年4月＞	心の健康とｽﾄﾚｽﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ論 ※ 看護倫理 精神保健看護学概論 精神保健看護ケア提供論 精神保健看護演習 精神保健看護実習Ⅰ 精神保健看護実習Ⅱ 看護統合実習 卒業研究 看護と異文化理解
専	教授	森川　浩子 （64） ＜平成30年4月＞	テーマ別基礎ゼミ 小児看護学概論 小児看護ケア提供論 小児看護演習 小児看護実習Ⅰ 小児看護実習Ⅱ 看護統合実習 卒業研究
専	教授	中島　素子 （65） ＜平成30年4月＞	健康と体の科学 ※ 市民健康論 ※ 公衆衛生看護学概論 健康教育論 公衆衛生看護方法論Ⅰ （対象別） 公衆衛生看護方法論Ⅱ （公衆衛生看護技術） 公衆衛生看護方法論Ⅲ （学校・産業・災害） ※ 公衆衛生看護方法論Ⅳ （地域看護診断） 公衆衛生看護方法論Ⅴ （健康診査・家庭訪問・健康教育） 公衆衛生看護管理論 公衆衛生看護実習 卒業研究
専	教授	鋤柄　増根 （65） ＜平成31年4月＞	心の健康とｽﾄﾚｽﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ論 ※ 疫学・保健統計学 疫学・保健統計学演習 研究方法論 卒業研究 MMPI心理検査と看護ｹｱ
兼任	講師	鋤柄　増根 （64） ＜平成30年4月＞	心の健康とｽﾄﾚｽﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ論 ※
専	教授	内田　美保 （59） ＜平成30年4月＞	テーマ別基礎ゼミ 市民健康論 ※ 看護学概論 ※ 基礎看護実習Ⅰ 看護の技基礎コースⅠ （療養上の世話） 看護の技基礎コースⅡ （ﾌｨｼﾞｶﾙｱｾｽﾒﾝﾄ） 看護の技基礎コースⅢ （診療の補助） 基礎看護実習Ⅱ 看護統合実習 卒業研究 看護リーダー グローバル感染対策
専	教授	小泉　由美 （59） ＜平成30年4月＞	テーマ別基礎ゼミ 認知症ケア論 看護の品格育成論 老年看護学概論 老年看護ケア提供論 老年看護演習 老年看護実習Ⅰ 老年看護実習Ⅱ 看護統合実習 卒業研究 タッチケア・スキル

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
専	教授	松井　優子 （52） ＜平成30年4月＞	看護学概論 ※ 基礎看護実習Ⅰ 看護の技基礎コースⅠ （療養上の世話） 看護ケア提供論：看護理論と看護過程 看護の技基礎コースⅡ （ﾌｨｼﾞｶﾙｱｾｽﾒﾝﾄ） 看護の技基礎コースⅢ （診療の補助） 基礎看護実習Ⅱ 看護統合実習 卒業研究 安全・安楽なポジショニングの技 ノンテクニカル・スキル 看護技術の科学的検証
専	教授	徳田　真由美 （52） ＜平成30年4月＞	市民健康論 ※ 在宅看護学概論 在宅看護ケア提供論 在宅看護演習 在宅看護実習 看護統合実習 卒業研究 排便ケア 地域包括ケア
専	教授	坂本　めぐみ （53） ＜平成31年4月＞	母性看護学概論 母性看護ケア提供論 母性看護演習 母性看護実習 看護統合実習 卒業研究 食と看護 地域の健康課題と多職種連携
専	教授	山﨑　松美 （42） ＜平成30年4月＞	キャリアデザイン・チーム論Ⅱ 看護の品格育成論 成人看護学概論 成人看護ケア提供論 ※ 成人看護演習 成人看護実習Ⅰ（急性） 成人看護実習Ⅱ（慢性） 成人看護実習Ⅲ(回復･維持) 看護統合実習 卒業研究
専	准教授	日下　純子 （64） ＜平成30年4月＞	テーマ別基礎ゼミ 在宅看護実習 公衆衛生看護方法論Ⅲ （学校・産業・災害） ※ 公衆衛生看護方法論Ⅳ （地域看護診断） 公衆衛生看護方法論Ⅴ （健康診査・家庭訪問・健康教育） 公衆衛生看護実習 卒業研究
専	准教授	佐藤　大介 （38） ＜平成30年4月＞	成人看護ケア提供論 ※ 成人看護演習 成人看護実習Ⅰ（急性） 成人看護実習Ⅱ（慢性） 成人看護実習Ⅲ(回復･維持) 看護統合実習 卒業研究 統合医療
専	講師	油野　規代 （60） ＜平成30年4月＞	老年看護演習 老年看護実習Ⅰ 老年看護実習Ⅱ 看護統合実習
専	講師	松村　愛都 （60） ＜平成30年4月＞	テーマ別基礎ゼミ 成人看護実習Ⅰ（急性） 成人看護実習Ⅱ（慢性） 成人看護実習Ⅲ(回復･維持) 看護統合実習

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
専	教授	松井　優子 （52） ＜平成30年4月＞	看護学概論 ※ 基礎看護実習Ⅰ 看護の技基礎コースⅠ （療養上の世話） 看護ケア提供論：看護理論と看護過程 看護の技基礎コースⅡ （ﾌｨｼﾞｶﾙｱｾｽﾒﾝﾄ） 看護の技基礎コースⅢ （診療の補助） 基礎看護実習Ⅱ 看護統合実習 卒業研究 安全・安楽なポジショニングの技 ノンテクニカル・スキル 看護技術の科学的検証
専	教授	徳田　真由美 （52） ＜平成30年4月＞	市民健康論 ※ 在宅看護学概論 在宅看護ケア提供論 在宅看護演習 在宅看護実習 看護統合実習 卒業研究 排便ケア 地域包括ケア
専	教授	坂本　めぐみ （53） ＜平成31年4月＞	母性看護学概論 母性看護ケア提供論 母性看護演習 母性看護実習 看護統合実習 卒業研究 食と看護 地域の健康課題と多職種連携
専	教授	山﨑　松美 （42） ＜平成30年4月＞	キャリアデザイン・チーム論Ⅱ 看護の品格育成論 成人看護学概論 成人看護ケア提供論 ※ 成人看護演習 成人看護実習Ⅰ（急性） 成人看護実習Ⅱ（慢性） 成人看護実習Ⅲ(回復･維持) 看護統合実習 卒業研究
専	准教授	日下　純子 （64） ＜平成30年4月＞	テーマ別基礎ゼミ 在宅看護実習 公衆衛生看護方法論Ⅲ （学校・産業・災害） ※ 公衆衛生看護方法論Ⅳ （地域看護診断） 公衆衛生看護方法論Ⅴ （健康診査・家庭訪問・健康教育） 公衆衛生看護実習 卒業研究
専	准教授	佐藤　大介 （38） ＜平成30年4月＞	成人看護ケア提供論 ※ 成人看護演習 成人看護実習Ⅰ（急性） 成人看護実習Ⅱ（慢性） 成人看護実習Ⅲ(回復･維持) 看護統合実習 卒業研究 統合医療
専	講師	油野　規代 （60） ＜平成30年4月＞	老年看護演習 老年看護実習Ⅰ 老年看護実習Ⅱ 看護統合実習
専	講師	松村　愛都 （60） ＜平成30年4月＞	テーマ別基礎ゼミ 成人看護実習Ⅰ（急性） 成人看護実習Ⅱ（慢性） 成人看護実習Ⅲ(回復･維持) 看護統合実習

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
専	講師	清水　由加里 （50） ＜平成30年4月＞	キャリアデザイン・チーム論Ⅱ 看護統合実習
専	助教	池田　美智子 （58） ＜平成30年4月＞	健康教育論 公衆衛生看護実習
専	助教	片山　美穂 （54） ＜平成32年4月＞	精神保健看護実習Ⅰ 精神保健看護実習Ⅱ 看護統合実習
兼任	講師	片山　美穂 （53） ＜平成31年4月＞	精神保健看護実習Ⅰ
専	助教	加藤　千夏 （47） ＜平成30年4月＞	基礎看護実習Ⅰ 基礎看護実習Ⅱ 看護統合実習
専	助教	小田　梓 （36） ＜平成31年4月＞	小児看護実習Ⅰ 小児看護実習Ⅱ 看護統合実習
専	助教	上田　映美 （34） ＜平成30年4月＞	基礎看護実習Ⅰ 基礎看護実習Ⅱ 看護統合実習
専	助教	鈴木　由依子 （36） ＜平成32年4月＞	成人看護実習Ⅰ（急性） 成人看護実習Ⅱ（慢性） 成人看護実習Ⅲ（回復・維持） 看護統合実習
専	助教	藤田　結香里 （30） ＜平成30年4月＞	キャリアデザイン・チーム論Ⅱ 基礎看護実習Ⅰ 基礎看護実習Ⅱ 看護統合実習
専	助教	誉田　恵理 （29） ＜平成30年4月＞	老年看護実習Ⅰ 老年看護実習Ⅱ 看護統合実習
専	助教	相上　律子 （28） ＜平成31年4月＞	精神保健看護実習Ⅰ 精神保健看護実習Ⅱ 看護統合実習
兼担	教授	木村　繁男 （67） ＜平成30年4月＞	現代科学技術論 ※
兼担	教授	山田　外史 （68） ＜平成30年4月＞	日本産業史 ※
兼担	教授	山田　良穂 （67） ＜平成30年4月＞	アカデミック・スキルズ 日本産業史　※
兼担	教授	安達　正明 （66） ＜平成30年4月＞	アカデミック・スキルズ 教養としての物理 現代科学技術論 ※
兼担	教授	木村　春彦 （66） ＜平成30年4月＞	データ科学と社会 ※ 現代科学技術論 ※
兼担	教授	川端　信義 （65） ＜平成30年4月＞	現代科学技術論 ※
兼担	教授	田村　博志 （65） ＜平成31年4月＞	教養としての数学 統計学 現代科学技術論 ※

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
専	講師	清水　由加里 （50） ＜平成30年4月＞	キャリアデザイン・チーム論Ⅱ 看護統合実習
専	助教	池田　美智子 （58） ＜平成30年4月＞	健康教育論 公衆衛生看護実習
専	助教	片山　美穂 （54） ＜平成32年4月＞	精神保健看護実習Ⅰ 精神保健看護実習Ⅱ 看護統合実習
兼任	講師	片山　美穂 （53） ＜平成31年4月＞	精神保健看護実習Ⅰ
専	助教	加藤　千夏 （47） ＜平成30年4月＞	基礎看護実習Ⅰ 基礎看護実習Ⅱ 看護統合実習
専	助教	小田　梓 （36） ＜平成31年4月＞	小児看護実習Ⅰ 小児看護実習Ⅱ 看護統合実習
専	助教	上田　映美 （34） ＜平成30年4月＞	基礎看護実習Ⅰ 基礎看護実習Ⅱ 看護統合実習
専	助教	鈴木　由依子 （36） ＜平成32年4月＞	成人看護実習Ⅰ（急性） 成人看護実習Ⅱ（慢性） 成人看護実習Ⅲ（回復・維持） 看護統合実習
専	助教	藤田　結香里 （30） ＜平成30年4月＞	キャリアデザイン・チーム論Ⅱ 基礎看護実習Ⅰ 基礎看護実習Ⅱ 看護統合実習
専	助教	誉田　恵理 （29） ＜平成30年4月＞	老年看護実習Ⅰ 老年看護実習Ⅱ 看護統合実習
専	助教	相上　律子 （28） ＜平成31年4月＞	精神保健看護実習Ⅰ 精神保健看護実習Ⅱ 看護統合実習
兼担	教授	木村　繁男 （67） ＜平成30年4月＞	現代科学技術論 ※
兼担	教授	山田　外史 （68） ＜平成30年4月＞	日本産業史 ※
兼担	教授	山田　良穂 （67） ＜平成30年4月＞	アカデミック・スキルズ 日本産業史　※
兼担	教授	安達　正明 （66） ＜平成30年4月＞	アカデミック・スキルズ 教養としての物理 現代科学技術論 ※
兼担	教授	木村　春彦 （66） ＜平成30年4月＞	データ科学と社会 ※ 現代科学技術論 ※
兼担	教授	川端　信義 （65） ＜平成30年4月＞	現代科学技術論 ※
兼担	教授	田村　博志 （65） ＜平成31年4月＞	教養としての数学 統計学 現代科学技術論 ※

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
兼任	講師	田村　博志 （64） ＜平成30年4月＞	現代科学技術論 ※
兼担	教授	岩田　佳雄 （65） ＜平成31年4月＞	アカデミック・スキルズ 日本産業史　※
兼任	講師	岩田　佳雄 （64） ＜平成30年4月＞	日本産業史 ※
兼担	教授	新田　雅道 （60） ＜平成31年4月＞	アカデミック・スキルズ 情報処理基礎 データ科学と社会 ※
兼任	講師	新田　雅道 （59） ＜平成30年4月＞	アカデミック・スキルズ 情報処理基礎 データ科学と社会 ※
兼担	教授	富澤　淳 （59） ＜平成30年4月＞	日本産業史 ※
兼担	教授	上田　芳弘 （60） ＜平成33年4月＞	情報処理基礎 データ科学と社会 ※ 現代科学技術論 ※
兼担	准教授	石若　裕子 （51） ＜平成33年4月＞	情報処理基礎 情報処理応用Ａ
兼担	准教授	疋津　正利 （47） ＜平成30年4月＞	情報処理基礎
兼担	准教授	梶原　祐輔 （32） ＜平成30年4月＞	情報処理基礎 情報処理応用Ａ
兼担	教授	真田　茂 （66） ＜平成30年4月＞	キャリアデザイン・チーム論Ⅱ チーム医療論
兼担	教授	中山　謙二 （72） ＜平成31年4月＞	統計学
兼担	講師	中山　謙二 （71） ＜平成30年4月＞	統計学
兼担	教授	井関　尚一 （66） ＜平成30年4月＞	解剖学 生理学 病理学
兼担	講師	深澤　伸慈 （66） ＜平成32年4月＞	キャリアデザイン・チーム論Ⅱ チーム医療論
兼任	教授	深澤　伸慈 （64） ＜平成30年4月＞	キャリアデザイン・チーム論Ⅱ
兼担	教授	平山　順 （42） ＜平成30年4月＞	テーマ別基礎ゼミ
兼担	准教授	野川　雅道 （46） ＜平成30年4月＞	テーマ別基礎ゼミ
兼担	准教授	李　鍾昊 （44） ＜平成30年4月＞	テーマ別基礎ゼミ 教養としての物理
兼担	准教授	辻村　真一 （39） ＜平成30年4月＞	テーマ別基礎ゼミ 情報処理応用Ｂ

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
兼任	講師	田村　博志 （64） ＜平成30年4月＞	現代科学技術論 ※
兼担	教授	岩田　佳雄 （65） ＜平成31年4月＞	アカデミック・スキルズ 日本産業史　※
兼任	講師	岩田　佳雄 （64） ＜平成30年4月＞	日本産業史 ※
兼担	教授	新田　雅道 （60） ＜平成31年4月＞	アカデミック・スキルズ 情報処理基礎 データ科学と社会 ※
兼任	講師	新田　雅道 （59） ＜平成30年4月＞	アカデミック・スキルズ 情報処理基礎 データ科学と社会 ※
兼担	教授	富澤　淳 （59） ＜平成30年4月＞	日本産業史 ※
兼担	教授	上田　芳弘 （60） ＜平成33年4月＞	情報処理基礎 データ科学と社会 ※ 現代科学技術論 ※
兼担	准教授	石若　裕子 （51） ＜平成33年4月＞	情報処理基礎 情報処理応用Ａ
兼担	准教授	疋津　正利 （47） ＜平成30年4月＞	情報処理基礎
兼担	准教授	梶原　祐輔 （32） ＜平成30年4月＞	情報処理基礎 情報処理応用Ａ
兼担	教授	真田　茂 （66） ＜平成30年4月＞	キャリアデザイン・チーム論Ⅱ チーム医療論
兼担	教授	中山　謙二 （72） ＜平成31年4月＞	統計学
兼担	講師	中山　謙二 （71） ＜平成30年4月＞	統計学
兼担	教授	井関　尚一 （66） ＜平成30年4月＞	解剖学 生理学 病理学
兼任	講師	深澤　伸慈 （66） ＜平成32年4月＞	キャリアデザイン・チーム論Ⅱ チーム医療論
兼任	教授	深澤　伸慈 （64） ＜平成30年4月＞	キャリアデザイン・チーム論Ⅱ
兼担	教授	平山　順 （42） ＜平成30年4月＞	テーマ別基礎ゼミ
兼担	准教授	野川　雅道 （46） ＜平成30年4月＞	テーマ別基礎ゼミ
兼担	准教授	李　鍾昊 （44） ＜平成30年4月＞	テーマ別基礎ゼミ 教養としての物理
兼担	**准教授**	**藤田　一寿 （39） ＜平成30年7月＞**	テーマ別基礎ゼミ 情報処理応用Ｂ

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
兼担	講師	坂元　英雄 (50) ＜平成30年4月＞	キャリアデザイン・チーム論Ⅱ
兼担	講師	井澤　純子 (48) ＜平成30年4月＞	テーマ別基礎ゼミ 情報処理基礎 教養としての数学
兼担	教授	岩田　礼 (65) ＜平成30年4月＞	アカデミック・スキルズ 言葉と文化 ※
兼担	教授	宮崎　猛 (67) ＜平成30年4年＞	アカデミック・スキルズ 自然資源と環境問題
兼担	教授	VANCE, Timothy John (66) ＜平成30年4月＞	言葉と文化 ※ 英語Ⅰb 英語Ⅱb
兼担	教授	盛田　清秀 (65) ＜平成30年4月＞	経済学 ※
兼担	教授	西村　聡 (65) ＜平成32年4月＞	南加賀の歴史と文化 日本の伝統芸能 文章表現法
兼任	講師	西村　聡 (63) ＜平成30年4月＞	南加賀の歴史と文化 日本の伝統芸能 文章表現法
兼担	教授	岡村　徹 (56) ＜平成30年4月＞	アカデミック・スキルズ 英語Ⅰa 英語Ⅱa 英語Ⅱb
兼担	教授	杓谷　茂樹 (55) ＜平成30年4月＞	文化人類学 スペイン語Ⅰ スペイン語Ⅱ
兼担	教授	刘 迺华 (55) ＜平成30年4月＞	中国語Ⅰ 中国語Ⅱ
兼担	准教授	塩谷　サルフィ マクスーダ (63) ＜平成30年4月＞	英語Ⅰa 英語Ⅱa 英語Ⅱb
兼担	准教授	中子(佐藤) 富貴子 (50) ＜平成30年4月＞	アカデミック・スキルズ
兼担	准教授	小原　文衛 (49) ＜平成30年4月＞	英語Ⅰa 英語Ⅱa
兼担	准教授	一ノ渡　忠之 (43) ＜平成30年4月＞	経済学 ※ ロシア語Ⅰ ロシア語Ⅱ
兼担	准教授	木村　誠 (38) ＜平成31年4月＞	アカデミック・スキルズ 心理学 人間の発達と心
兼任	講師	木村　誠 (37) ＜平成30年4月＞	アカデミック・スキルズ 心理学 人間の発達と心
兼担	准教授	木場　紗綾 (37) ＜平成30年4月＞	アカデミック・スキルズ 政治学 ※

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
兼担	講師	坂元　英雄 (50) ＜平成30年4月＞	キャリアデザイン・チーム論Ⅱ
兼担	講師	井澤　純子 (48) ＜平成30年4月＞	テーマ別基礎ゼミ 情報処理基礎 教養としての数学
兼担	教授	岩田　礼 (65) ＜平成30年4月＞	アカデミック・スキルズ 言葉と文化 ※
兼担	教授	宮崎　猛 (67) ＜平成30年4年＞	アカデミック・スキルズ 自然資源と環境問題
兼担	教授	VANCE, Timothy John (66) ＜平成30年4月＞	言葉と文化 ※ 英語Ⅰb 英語Ⅱb
兼担	教授	盛田　清秀 (65) ＜平成30年4月＞	経済学 ※
兼担	教授	西村　聡 (65) ＜平成32年4月＞	南加賀の歴史と文化 日本の伝統芸能 文章表現法
兼任	講師	西村　聡 (63) ＜平成30年4月＞	南加賀の歴史と文化 日本の伝統芸能 文章表現法
兼担	教授	岡村　徹 (56) ＜平成30年4月＞	アカデミック・スキルズ 英語Ⅰa 英語Ⅱa 英語Ⅱb
兼担	教授	杓谷　茂樹 (55) ＜平成30年4月＞	文化人類学 スペイン語Ⅰ スペイン語Ⅱ
兼担	教授	刘 迺华 (55) ＜平成30年4月＞	中国語Ⅰ 中国語Ⅱ
兼担	准教授	塩谷　サルフィ マクスーダ (63) ＜平成30年4月＞	英語Ⅰa 英語Ⅱa 英語Ⅱb
兼担	准教授	中子(佐藤) 富貴子 (50) ＜平成30年4月＞	アカデミック・スキルズ
兼担	准教授	小原　文衛 (49) ＜平成30年4月＞	英語Ⅰa 英語Ⅱa
兼担	准教授	一ノ渡　忠之 (43) ＜平成30年4月＞	経済学 ※ ロシア語Ⅰ ロシア語Ⅱ
兼担	准教授	木村　誠 (38) ＜平成31年4月＞	アカデミック・スキルズ 心理学 人間の発達と心
兼任	講師	木村　誠 (37) ＜平成30年4月＞	アカデミック・スキルズ 心理学 人間の発達と心
兼担	准教授	木場　紗綾 (37) ＜平成30年4月＞	アカデミック・スキルズ 政治学 ※

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
兼担	准教授	千葉　悠志 （32） ＜平成30年4月＞	アカデミック・スキルズ 政治学 ※
兼担	助教	長辻　幸 （35） ＜平成30年4月＞	英語Ⅰa 英語Ⅱa
兼任	講師	三浦　要 （59） ＜平成30年4月＞	哲学 クリティカルシンキング
兼任	講師	宇根　義己 （38） ＜平成30年4月＞	人文地理学
兼任	講師	碇　陽子 （41） ＜平成30年4月＞	医療と文化
兼任	講師	溝部　明男 （68） ＜平成30年4月＞	社会学
兼任	講師	木村　高宏 （43） ＜平成30年4月＞	公共政策論
兼任	講師	榊原　千秋 （56） ＜平成30年4月＞	健康と体の科学 ※
兼任	講師	井上　英夫 （70） ＜平成30年4月＞	社会福祉論 保健医療福祉法制度論
兼任	講師	山崎　友也 （45） ＜平成30年4月＞	日本国憲法
兼任	講師	松下　裕子 （58） ＜平成30年4月＞	スポーツ演習（バレーボール） スポーツ演習（硬式テニス） スポーツ演習（フットサル） スポーツ演習（卓球） スポーツ演習（バドミントン）
兼任	講師	川畠　嘉美 （49） ＜平成32年4月＞	英語Ⅰa
兼任	講師	ABE DAVID KIYOSHI （55） ＜平成32年4月＞	英語Ⅰa
兼任	講師	Raker Vincent ERIC （49） ＜平成30年4月＞	英語Ⅰb 英語Ⅱb
兼任	講師	ERTL JOHN JOSEF （43） ＜平成30年4月＞	英語Ⅰb
兼任	講師	FOX SENAN JAMES （42） ＜平成30年4月＞	英語Ⅱb
兼任	講師	島内　俊彦 （48） ＜平成30年4月＞	英語Ⅲ 英会話Ⅰ 英会話Ⅱ 実用英語Ⅰ 実用英語Ⅱ 実用英語Ⅲ 実用英語Ⅳ
兼任	講師	岩津　航 （42） ＜平成30年4月＞	フランス語Ⅰ フランス語Ⅱ
兼任	講師	名執　純子 （49） ＜平成30年4月＞	ドイツ語Ⅰ ドイツ語Ⅱ
兼任	講師	南保　英孝 （46） ＜平成30年4月＞	情報処理基礎

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
兼担	准教授	千葉　悠志 （32） ＜平成30年4月＞	アカデミック・スキルズ 政治学 ※
兼担	助教	長辻　幸 （35） ＜平成30年4月＞	英語Ⅰa 英語Ⅱa
兼任	講師	三浦　要 （59） ＜平成30年4月＞	哲学 クリティカルシンキング
兼任	講師	宇根　義己 （38） ＜平成30年4月＞	人文地理学
兼担	**教授**	**横川　普正 （69） ＜平成30年7月＞**	医療と文化
兼任	講師	溝部　明男 （68） ＜平成30年4月＞	社会学
兼任	講師	木村　高宏 （43） ＜平成30年4月＞	公共政策論
兼任	講師	榊原　千秋 （56） ＜平成30年4月＞	健康と体の科学 ※
兼任	講師	井上　英夫 （70） ＜平成30年4月＞	社会福祉論 保健医療福祉法制度論
兼任	講師	山崎　友也 （45） ＜平成30年4月＞	日本国憲法
兼任	講師	松下　裕子 （58） ＜平成30年4月＞	スポーツ演習（バレーボール） スポーツ演習（硬式テニス） スポーツ演習（フットサル） スポーツ演習（卓球） スポーツ演習（バドミントン）
兼任	講師	川畠　嘉美 （49） ＜平成32年4月＞	英語Ⅰa
兼任	講師	ABE DAVID KIYOSHI （55） ＜平成32年4月＞	英語Ⅰa
兼任	講師	Raker Vincent ERIC （49） ＜平成30年4月＞	英語Ⅰb 英語Ⅱb
兼任	講師	ERTL JOHN JOSEF （43） ＜平成30年4月＞	英語Ⅰb
兼任	講師	FOX SENAN JAMES （42） ＜平成30年4月＞	英語Ⅱb
兼任	講師	島内　俊彦 （48） ＜平成30年4月＞	英語Ⅲ 英会話Ⅰ 英会話Ⅱ 実用英語Ⅰ 実用英語Ⅱ 実用英語Ⅲ 実用英語Ⅳ
兼任	講師	岩津　航 （42） ＜平成30年4月＞	フランス語Ⅰ フランス語Ⅱ
兼任	講師	名執　純子 （49） ＜平成30年4月＞	ドイツ語Ⅰ ドイツ語Ⅱ
兼任	講師	南保　英孝 （46） ＜平成30年4月＞	情報処理基礎

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
兼任	講師	岡本 成史 （52） ＜平成30年4月＞	感染免疫学
兼任	講師	水野　洋子 （67） ＜平成30年4月＞	栄養・生化学　※
兼任	講師	千葉　賢三 （69） ＜平成30年4月＞	栄養・生化学　※
兼任	講師	川井　恵一 （59） ＜平成30年4月＞	薬理学
兼任	講師	荒谷　穣治 （65） ＜平成31年4月＞	老年疾病・治療論
兼任	講師	櫻井　勝 （47） ＜平成31年4月＞	公衆衛生学
兼任	講師	亀田　正二 （72） ＜平成31年4月＞	急性疾病論
兼任	講師	村上 弘一 （61） ＜平成31年4月＞	母子疾病・治療論
兼任	講師	加藤　康洋 （76） ＜平成31年4月＞	生活習慣病論
兼任	講師	佐藤　宜伯 （57） ＜平成33年4月＞	看護技術の科学的検証

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
兼任	講師	岡本 成史 （52） ＜平成30年4月＞	感染免疫学
兼任	講師	水野　洋子 （67） ＜平成30年4月＞	栄養・生化学　※
兼任	講師	千葉　賢三 （69） ＜平成30年4月＞	栄養・生化学　※
兼任	講師	川井　恵一 （59） ＜平成30年4月＞	薬理学
兼任	講師	荒谷　穣治 （65） ＜平成31年4月＞	老年疾病・治療論
兼任	講師	櫻井　勝 （47） ＜平成31年4月＞	公衆衛生学
兼任	講師	亀田　正二 （72） ＜平成31年4月＞	急性疾病論
兼任	講師	村上 弘一 （61） ＜平成31年4月＞	母子疾病・治療論
兼任	講師	加藤　康洋 （76） ＜平成31年4月＞	生活習慣病論
兼任	講師	佐藤　宜伯 （57） ＜平成33年4月＞	看護技術の科学的検証

（注）・　申請書又は届出書の様式第３号（その２の１）に準じて作成してください。
・　設置認可時又は届出時の教員全て（兼任，兼担教員を含む。）を黒字で記入してください。
その上で，**認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。**
・　年齢は，**それぞれの年度の５月１日時点の満年齢**を記入してください。
・　専任、兼担、兼任の順に記入してください。
・　不要な年度（平成２８年度開設であれば平成２７年度、平成２９年度開設であれば平成２７年平成２９年度）の表は適宜削除し，詰めてください。

（１）ー②担当教員表に関する変更内容

【平成３０年度】

・共通教育科目「医療と文化」の担当教員を、兼任教員から兼担教員である横川善正教授に変更。※国際文化交流学部の専任教員として平成３０年度第１回ＡＣ教員審査に提出（審査中）

（注）・　変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
・　**認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合**は，当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し，大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
・　「専任教員採用等変更書（ＡＣ）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。なお，設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は，「教員審査省略」と記入してください。
・　不要な年度（平成２８年度開設であれば平成２７年度、平成２９年度開設であれば平成２７年度及び平成２８年度、平成３０年度開設であれば平成２７年度から平成２９年度）の表は適宜削除してください。

（２） 専任教員数等

（２）－① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要専任教員数	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数
12 名	6 名

（注）・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二条別表第一イにより算出される専任教員数を記入してください。

（２）－② 専任教員数

設置時の計画					現在（報告書提出時）の状況					現在（報告書提出時）の完成年度時の計画				
教 授	准教授	講 師	助 教	計（A）	教 授	准教授	講 師	助 教	計（B）	教 授	准教授	講 師	助 教	計（C）
10	2	3	10	25	8	2	3	5	18	10	2	3	10	25
(8)	(2)	(3)	(5)	(18)						[0]	[0]	[0]	[0]	[0]

（注）・「設置時の計画」には，設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに，（ ）内に開設時の状況を記入してください。
・「現在（報告書提出時）の状況」には、報告書提出年度の５月１日の教員数（実人数）を記入してください。
・**「現在（報告書提出時）の完成年度時の計画」には，「現在（報告書提出時）の状況」に記入した数字に，教員審査を受審済みであり，完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入**するとともに，［ ］内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：１名減の場合：△１）

（２）－③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告書提出時（上記（B））の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記（C））の教員うち、定年を延長して採用する教員数
65 歳	0 名	5 名

（注）・「年齢構成」には，当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません），および，平成３０年５月１日現在，定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
・なお,職位等によって定年年齢が異なる場合には,職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し，「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

（２）－④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在(報告書提出時)の完成年度時の計画(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{25}{25} = \boxed{100}\ \%$$

（注）・ 小数点以下第３位を切り捨て，小数点以下第２位まで表示されます。

（２）－⑤ 現在（報告書提出時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告書提出時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在(報告書提出時)の状況(B)}} = \frac{0}{18} = \boxed{0}\ \%$$

（注）・ 小数点以下第３位を切り捨て，小数点以下第２位まで表示されます。

（３） 専任教員辞任等の理由

（３）－①　専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番　号	職　位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由
		該当なし				

合計（D）			後任補充状況の集計（E）		
就任を辞退した教員数	担当科目数の合計（a）+（b）+（c）		①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）
0　人	必修	0　科目	必修　0　科目	必修　0　科目	必修　0　科目
	選択	0　科目	選択　0　科目	選択　0　科目	選択　0　科目
	自由	0　科目	自由　0　科目	自由　0　科目	自由　0　科目
	計	0　科目	計　0　科目	計　0　科目	計　0　科目

（注）・　認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
・　「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。
就任した後に辞任した教員は、以下「（３）－②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
・　昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに就任を辞退した場合，赤字にて記入するとともに，
「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（　）書きで報告年度を記入してください。
・　また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、
「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・専任教員が担当する（している）場合は「①」
・兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

（３）－②　専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番　号	職　位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
		該当なし				

合計（F）			後任補充状況の集計（G）		
辞任した教員数	担当科目数の合計（a）+（b）+（c）		①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）
0　人	必修	0　科目	必修　0　科目	必修　0　科目	必修　0　科目
	選択	0　科目	選択　0　科目	選択　0　科目	選択　0　科目
	自由	0　科目	自由　0　科目	自由　0　科目	自由　0　科目
	計	0　科目	計　0　科目	計　0　科目	計　0　科目

（注）・　一度就任した後に、**定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員**について記入してください。
・　昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合，赤字にて記入するとともに，「辞任等の理由」
に辞任理由等および（　）書きで報告年度を記入してください。
・　また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、
「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・専任教員が担当する（している）場合は「①」
・兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

（３）－③　上記（３）－①　・　（３）－②　の合計

合計（D）＋（F）			後任補充状況の集計（E）＋（G）		
辞任等した教員数	担当科目数の合計（a）+（b）+（c）		①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）
0　人	必修	0　科目	必修　0　科目	必修　0　科目	必修　0　科目
	選択	0　科目	選択　0　科目	選択　0　科目	選択　0　科目
	自由	0　科目	自由　0　科目	自由　0　科目	自由　0　科目
	計	0　科目	計　0　科目	計　0　科目	計　0　科目

（３）－④　設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3)-③合計(D)+(F)}{(2)-②設置時の計画(A)} = \frac{0}{25} = 0\ \%$$

（注）・　小数点以下第３位を切り捨て，小数点以下第２位まで表示されます。

（3）ー⑤　定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番　号	職　位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
		該当なし				

合計				後任補充状況の集計								
辞任した教員数	担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）			②の合計数（b）			③の合計数（c）		
0　人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
	計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

（注）・　**定年により退職した全ての専任教員**についてに記入してください。
・　昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合，赤字にて記入するとともに，「辞任等の理由」に辞任理由等および（　）書きで報告年度を記入してください。
・　また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・専任教員が担当する（している）場合は「①」
・兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

（4）専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

（注）・　上記（3）の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

６　留意事項等に対する履行状況等

区　　分	留　意　事　項　等		履　行　状　況		未履行事項についての実施計画
設　置　時 （２９年８月）	・設置の趣旨・目的等が生かされるよう、設置計画を確実に履行すること。また、開設時から４年制大学にふさわしい教育研究活動を行うことはもとより、その水準を一層向上させるよう努めること。	留意事項	・理事長・学長のトップマネジメントのもとに、設置計画を確実に履行し、的確な大学運営を行っている。 ・教育研究活動水準の向上に向け、全学委員会及び学部教授会の両体制から取り組みを行うことを予定している。（３０年度）	未履行	・５月に６年間の計画である中期計画（6年間の計画）を策定し、その後、年度計画を策定する。 ・年度計画を踏まえ、全学委員会である「教育企画委員会」、「研究・地域連携委員会」が具体的な活動計画を策定し、個々の活動は学部教授会のもとに行っていく。（３０年度）
設　置　時 （２９年８月）	・運動場及び体育館が別地にあることから、教育に支障のないようにすることはもとより、学生の課外活動等に配慮すること。	留意事項	・スポーツ演習科目においては、中央キャンパス近くの体育施設を利用するとともに、シャトルバスの運行により支障が生じないよう対応している。 ・小松市により、中央キャンパスの近傍に課外活動の拠点として利用できる建物が設置され、学生の活動を支える環境が高まっている。（３０年度）	履行済	・今後も、アンケート等により学生のニーズの把握に努め、地域社会との協力のもとに、教育環境の向上を図っていく。（３０年度）
設　置　時 （２９年８月）	・完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について着実に実施すること。	留意事項	・若手教員の育成については、専門分野に留まらず他分野の教授等と連携した教育研究活動を行い、後継者の育成を行っていく。 ・中長期的な観点から、教員採用・育成のための計画を策定し、それに沿って教員人事の適正な運用を行う予定である。（３０年度）	未履行	・今年度中に、完成年度までの教員採用・育成計画を策定に着手する。策定後は、計画のもとに、教員の公募・育成等を行うとともに、適宜ＡＣ教員審査に諮っていく。（３０年度）

（注）・　「設置時」には，当該大学等の設置時（認可時又は届出時）に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）　と，それに対する履行状況等について，具体的に記入し，報告年度を（　　）書きで付記してください。

・　「設置計画履行状況調査時」には，当該設置計画履行状況調査の結果，**当該大学に付された意見を全て記入**するとともに，付された意見に対する履行状況等について，具体的に記入してください。その履行状況等を裏付ける資料があれば，添付してください。

・　「履行状況」では，履行途中であれば「未履行」，履行済みであれば「履行済」を選択してください。

・　該当がない場合には，「該当なし」と記入してください。

・　「設置計画履行状況調査時」の（年月）には，調査結果を公表した月（通常２月）を記入してください。（実地調査や面接調査を実施した日ではありません。）

７　その他全般的事項

＜保健医療学部　看護学科＞

（１） 設置計画変更事項等

設　置　時　の　計　画	変更内容・状況，今後の見通しなど
該当なし	

（注）・　１～６の項目に記入した事項以外で，設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）
及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

（２） 教員の資質の維持向上の方策（ＦＤ・ＳＤ活動含む）

①　実施体制

ａ　委員会の設置状況

公立小松大学ＦＤ・ＳＤ推進委員会規則を制定（３０年４月）

ｂ　委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

未開催（３０年６月第１回会議を開催予定）

ｃ　委員会の審議事項等

ＦＤ・ＳＤの推進計画の策定、実施に関すること

②　実施状況

ａ　実施内容

実施内容については、今後開催する公立小松大学ＦＤ・ＳＤ推進委員会により審議を行っていく。

ｂ　実施方法

実施方法については、今後開催する公立小松大学ＦＤ・ＳＤ推進委員会により審議を行っていく。

ｃ　開催状況（教員の参加状況含む）

未開催のため該当なし。

ｄ　実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

未実施のため該当なし。実施後に取り組みを行っていく。

③　学生に対する授業評価アンケートの実施状況

ａ　実施の有無及び実施時期

未実施。３０年度前期開講科目終了時に、授業評価アンケートを実施を予定。

ｂ　教員や学生への公開状況，方法等

学科ごとに集計を行い教員全体で内容を共有することを予定している。また、学生に対しては、学内掲示板等により結果を公表することを予定している。

（注）・「①ａ　委員会の設置状況」には，関係規程等を転載又は添付すること。
「②実施状況」には，実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

（３） 自己点検・評価等に関する事項

①　設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

開学後１ヵ月が経過し、設置認可申請書に記載した内容に沿って、大学運営が行われている。引き続き、設置の趣旨・目的の達成に向かって大学運営を行っていきたい。

②　自己点検・評価報告書

ａ　公表（予定）時期

・平成３１年６月　公表予定

ｂ　公表方法

・大学ホームページ上に公開予定（平成３１年６月末を予定）

③　認証評価を受ける計画

・学内で検討を行っている。

（注）・　設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。
また，「①　設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については，できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。
なお，「②　自己点検・評価報告書」については，当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

（４） 情報公表に関する事項

○　設置計画履行状況報告書

ａ　ホームページに公表（予定）の有無　（　有　・　無　）

ｂ　公表（予定）有の場合の公表（予定）時期　（　年　月　日　）

（注）・　「ａ　ホームページに公表（予定）有無」には，５月１日時点で公表している場合，もしくは，今後公表する予定の場合は，「有」にマルを記入してください。今後も公表する予定がない場合は，「無」にマルを記入してください。
・　「ｂ　公表（予定）有の場合の公表（予定）時期」には，「ａ　ホームページに公表（予定）有無」で「有」にマルを記入した場合のみ，時期を記入してください。

1　調査対象大学等の概要等

（1）設　置　者

公立大学法人公立小松大学

（2）大　学　名

公立小松大学

（3）大学の位置

〒923-0921
石川県小松市土居原町10-10
〒923-8511
石川県小松市向本折町へ14-1

（注）・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合，本部の位置を（　）書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には，複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

（4）管理運営組織

職　　名	設　　置　　時	変　更　状　況	備　　考
理 事 長	（ イシダ　ヒロト ） 石田　寛人 （現職就任30年4月）		
学　　長	（ ヤマモト　ヒロシ ） 山本　博 （現職就任30年4月）		
学 部 長	（ キタオカ　カズヨ ） 北岡　和代 （現職就任30年4月）		
学科長等	（ サナダ　シゲル ） 真田　茂 （現職就任30年4月）		

（注）・「変更状況」は，変更があった場合に記入し，併せて「備考」に変更の理由と変更年月日，報告年度を（　）書きで記入してください。
（例）平成２９年度に報告済の内容　→（29）
平成３０年度に報告する内容　→（30）
・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば，「変更状況」に赤字にて記載（昨年度までに報告された記載があれば，そこに赤字で見え消し修正）するとともに，上記と同様に，「備考」に変更理由等を記入してください。
・大学院の場合には，「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は，各職に相当する職名の方を記載してください。

（５）　調査対象学部等の名称，定員，入学者の状況等

（注）・　当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等，定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
・　なお，課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は，法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
・　様式は，平成２７年度開設の４年制の学科の場合（平成３０年度までの４年間）ですが，開設年度・修業年限に合わせて作成してください。（修業年限が３年以下の場合には欄を削除し，５年以上の場合には，欄を設けてください。）

（５）－①　調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称（学位）	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
保健医療学部 臨床工学科 学士（臨床工学）	保健衛生学関係（看護学関係及びリハビリテーション関係を除く。）	4年	30人	年次 －	120人	

（注）・　定員を変更した場合は，「備考」に変更前の人数，変更年月及び報告年度を（　）書きで記入してください。
・　学生募集停止を予定している場合は、「備考」にその旨記載してください。
・　「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第２号（その２の１））」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

（５）－②　調査対象学部等の入学者の状況

区分＼対象年度	平成２７年度		平成２８年度		平成２９年度		平成３０年度		平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
Ａ　入学定員	－ （　－　） ［　－　］	－	－ （　－　） ［　－　］	－	－ （　－　） ［　－　］	－	30人 （　－　） ［　－　］	—人	1.13倍	
志願者数	－ （－） ［－］	－ （－） ［－］	－ （－） ［－］	－ （－） ［－］	－ （－） ［－］	－ （－） ［－］	234 （－） ［－］	－ （－） ［－］		
受験者数	－ （－） ［－］	－ （－） ［－］	－ （－） ［－］	－ （－） ［－］	－ （－） ［－］	－ （－） ［－］	157 （－） ［－］	－ （－） ［－］		
合格者数	－ （－） ［－］	－ （－） ［－］	－ （－） ［－］	－ （－） ［－］	－ （－） ［－］	－ （－） ［－］	51 （－） ［－］	－ （－） ［－］		
Ｂ　入学者数	－ （－） ［－］	－ （－） ［－］	－ （－） ［－］	－ （－） ［－］	－ （－） ［－］	－ （－） ［－］	34 （－） ［－］	－ （－） ［－］		
入学定員超過率 Ｂ／Ａ							1.13			

（注）・　数字は，平成３０年５月１日現在の数字を記入してください。
・　（　）内には，編入学の状況について**外数で**記入してください。なお，編入学を複数年次で行っている場合には，((　))書きとするなどし，その旨を「備考」に付記してください。 該当がない年には「－」を記入してください。
・　［　］内には，留学生の状況について**内数で**記入してください。該当がない年には「－」を記入してください。
・　留学生については，「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により，我が国の大学（大学院を含む。），短期大学，高等専門学校，専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
・　短期交換留学生など，定員内に含めていない学生については記入しないでください。
・　転入学生は記入しないでください。
・　学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「－」を記入してください。また，その他の学期に入学定員を設けている場合は，備考欄にその人数を記入してください。
・　「入学定員超過率」については，**各年度の春季入学とその他を合計した入学定員，入学者数で算出**してください。なお，計算の際は小数点以下第３位を切り捨て，小数点以下第２位まで記入してください。
・　「平均入学定員超過率」には，開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお，計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

（５）－③　調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 / 学　年	平成２７年度		平成２８年度		平成２９年度		平成３０年度		備　　考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
１年次	－ [－] （ － ）	－ [－] （ － ）	－ [－] （ － ）	－ [－] （ － ）	－ [－] （ － ）	－ [－] （ － ）	34 [－] （ － ）	－ [－] （ － ）	
２年次			－ [－] （ － ）	－ [－] （ － ）	－ [－] （ － ）	－ [－] （ － ）	－ [－] （ － ）	－ [－] （ － ）	
３年次					－ [－] （ － ）	－ [－] （ － ）	－ [－] （ － ）	－ [－] （ － ）	
４年次							－ [－] （ － ）	－ [－] （ － ）	
計	－ [－] （ － ）		－ [－] （ － ）		－ [－] （ － ）		34 [－] （ － ）		

（注）・　数字は，平成３０年５月１日現在の数字を記入してください。
・　[　　]内には，留学生の状況について**内数で**記入してください。該当がない年には「－」を記入してください。
・　留学生については，「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により，我が国の大学（大学院を含む。），短期大学，高等専門学校，専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
・　短期交換留学生など，定員内に含めていない学生については記入しないでください。
・　編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際，備考欄に人数の内訳を記入してください。
・　学期の区分に従い学生を入学させる場合は，春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は，その他の学期欄は「－」を記入してください。また，その他の学期に入学定員を設けている場合は，備考欄にその人数を記入してください。
・　「計」については，**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数，留学生数**を記入してください。
・（　）内には，留年者の状況について，内数で記入してください。該当がない年には「－」を記入してください。

（５）－④　調査対象学部等の退学者等の状況

区分 / 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由
			入学した年度	退学者数	退学者数のうち留学生数	
平成27年度	－ 人	－ 人	平成27年度	－ 人	－ 人	
平成28年度	－ 人	－ 人	平成27年度	－ 人	－ 人	
			平成28年度	－ 人	－ 人	
平成29年度	－ 人	－ 人	平成27年度	－ 人	－ 人	
			平成28年度	－ 人	－ 人	
			平成29年度	－ 人	－ 人	
平成30年度	34 人	0 人	平成27年度	－ 人	－ 人	
			平成28年度	－ 人	－ 人	
			平成29年度	－ 人	－ 人	
			平成30年度	0 人	0 人	
合　計	34 人	0 人				

（注）・ 数字は，平成30年5月1日現在の数字を記入してください。
・ 各年度の在学者数については，該当年度に在学した人数を記入してください。（途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。）
・ 内訳については，退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
・ 在学者数や退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
・ 留学生については，「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により，我が国の大学（大学院を含む。），短期大学，高等専門学校，専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
・ 短期交換留学生など，定員内に含めていない学生については記入しないでください。
・「主な退学理由」は，下の項目を参考に記入してください。その際，「就学意欲の低下（○人）」というように，その人数も含めて記入してください。
（記入項目例）・就学意欲の低下　・学力不足　・他の教育機関への入学・転学　・海外留学
・就職　・学生個人の心身に関する事情　・家庭の事情　・除籍　・その他

（５）－⑤　調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成27年度】

$$\frac{\text{平成27年度の退学者数(a)}}{\text{平成27年度の在学者数(b)}} = \frac{－}{－} = \text{\#VALUE!}\ \%$$

【平成28年度】

$$\frac{\text{平成28年度の退学者数(a)}}{\text{平成28年度の在学者数(b)}} = \frac{－}{－} = \text{\#VALUE!}\ \%$$

【平成29年度】

$$\frac{\text{平成29年度の退学者数(a)}}{\text{平成29年度の在学者数(b)}} = \frac{－}{－} = \text{\#VALUE!}\ \%$$

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{34} = 0\ \%$$

（注）・ 小数点以下第３位を切り捨て，小数点以下第２位まで表示されます。

２　授業科目の概要

＜保健医療学部　臨床工学科＞

（１）ー① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
共通教育科目	導入科目	ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝ・ﾁｰﾑ論Ⅱ	1前	1			2		1			3
		ｱｶﾃﾞﾐｯｸ・ｽｷﾙｽﾞ	1前	1								11
		ﾃｰﾏ別基礎ｾﾞﾐ	1後	2			1	3	1			5
		情報処理基礎	1前	2					1			5
		南加賀の歴史と文化	1後	2								1
	一般科目（人間力）	哲学	1前		2							1
		心理学	1前		2							1
		人間の発達と心	1前		2							1
		日本の伝統芸能	1前		2							1
		人文地理学	1後		2							1
		文化人類学	1後		2							1
		医療と文化	1後		2							1
		文章表現法	1後		2							1
		言葉と文化	1後		2							2
	一般科目（社会力）	日本産業史	1前		2							4
		自然資源と環境問題	1前		2							1
		経済学	1前		2							2
		政治学	1後		2							2
		社会学	1後		2							1
		公共政策論	1後		2							1
		社会福祉論	1後		2							1
		日本国憲法	1前		2							1
	一般科目（科学力）	データ科学と社会	1前		2							3
		情報処理応用A	1後		2							2
		情報処理応用B	1後		2			1				
		ｸﾘﾃｨｶﾙｼﾝｷﾝｸﾞ	1後		2							1
		統計学	1前		2		1					1
		教養としての物理	1前		2			1				1
		教養としての数学	1後		2				1			1
		現代科学技術論	1前		2							5
	一般科目（健康と体力）	健康と体の科学	1前		2							2
		スポーツ演習（ﾊﾞﾚｰﾎﾞｰﾙ）	1前・後		1							1
		スポーツ演習（硬式テニス）	1前		1							1
		スポーツ演習（フットサル）	1前・後		1							1
		スポーツ演習（卓球）	1後		1							1
		スポーツ演習（バドミントン）	1前・後		1							1
	英語科目	英語Ⅰa	1前	2								5
		英語Ⅰb	1前	2								3
		英語Ⅱa	1後	2								3
		英語Ⅱb	1後	2								4
		英語Ⅲ	1後		2							1
		英会話Ⅰ	1後		2							1
		英会話Ⅱ	1後		2							1
		実用英語Ⅰ	1前・後			2						1
		実用英語Ⅱ	1前・後			2						1
		実用英語Ⅲ	1前・後			2						1
		実用英語Ⅳ	1前・後			2						1

【平成３０年度】

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
共通教育科目	導入科目	ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝ・ﾁｰﾑ論Ⅰ	1前	1			2		1			3
		ｱｶﾃﾞﾐｯｸ・ｽｷﾙｽﾞ	1前	1								11
		ﾃｰﾏ別基礎ｾﾞﾐ	1後	2			1	3	1			5
		情報処理基礎	1前	2					1			5
		南加賀の歴史と文化	1後	2								1
	一般科目（人間力）	哲学	1前		2							1
		心理学	1前		2							1
		人間の発達と心	1前		2							1
		日本の伝統芸能	1前		2							1
		人文地理学	1後		2							1
		文化人類学	1後		2							1
		医療と文化	1後		2							1
		文章表現法	1後		2							1
		言葉と文化	1後		2							2
	一般科目（社会力）	日本産業史	1前		2							4
		自然資源と環境問題	1前		2							1
		経済学	1前		2							2
		政治学	1後		2							2
		社会学	1後		2							1
		公共政策論	1後		2							1
		社会福祉論	1後		2							1
		日本国憲法	**1後**		2							1
	一般科目（科学力）	データ科学と社会	**1後**		2							3
		情報処理応用A	1後		2							2
		情報処理応用B	1後		2			1				
		ｸﾘﾃｨｶﾙｼﾝｷﾝｸﾞ	1後		2							1
		統計学	**1後**		2		1					1
		教養としての物理	1前		2			1				1
		教養としての数学	**1前**		2				1			1
		現代科学技術論	1前		2							5
	一般科目（健康と体力）	健康と体の科学	1前		2							2
		スポーツ演習（ﾊﾞﾚｰﾎﾞｰﾙ）	1前・後		1							1
		スポーツ演習（硬式テニス）	1前		1							1
		スポーツ演習（フットサル）	1前・後		1							1
		スポーツ演習（卓球）	1後		1							1
		スポーツ演習（バドミントン）	1前・後		1							1
	英語科目	英語Ⅰa	1前	2								5
		英語Ⅰb	1前	2								3
		英語Ⅱa	1後	2								3
		英語Ⅱb	1後	2								4
		英語Ⅲ	1後		2							1
		英会話Ⅰ	1後		2							1
		英会話Ⅱ	1後		2							1
		実用英語Ⅰ	1前・後			2						1
		実用英語Ⅱ	1前・後			2						1
		実用英語Ⅲ	1前・後			2						1
		実用英語Ⅳ	1前・後			2						1

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
共通教育科目	その他外国語科目	中国語Ⅰ	1前		2							1
		中国語Ⅱ	1後		2							1
		フランス語Ⅰ	1前		2							1
		フランス語Ⅱ	1後		2							1
		ドイツ語Ⅰ	1前		2							1
		ドイツ語Ⅱ	1後		2							1
		ロシア語Ⅰ	1前		2							1
		ロシア語Ⅱ	1後		2							1
		スペイン語Ⅰ	1前		2							1
		スペイン語Ⅱ	1後		2							1
専門基礎科目	医学的基礎	臨床工学総論	1前	2			2	1	1			
		解剖学	1前	2			1					
		解剖生理学実習	2前	1			1					
		生理学	1前	2			1					
		生化学	1前	2			1					
		看護学概論	1後	2								2
		医療関係法規	1後	2								1
		病理学	1前	2			1					
		薬理学	1後	2								1
		公衆衛生学	2前	1								1
		医学概論	2後	2			1					
		感染免疫学	2後	2								1
	理工学的基礎	応用数学	1後	2				1				
		電気工学Ⅰ	1後	2			1					
		電気工学Ⅱ	2前	2			1					
		電気工学演習Ⅰ	1後		1		1	1				
		電気工学演習Ⅱ	2前		1		1	1				
		電気工学実習	2後	2			2					
		電子工学Ⅰ	2前	2			1					
		電子工学Ⅱ	2後	2			1					
		電子工学演習Ⅰ	2前		1		1	1				
		電子工学演習Ⅱ	2後		1		1	1				
		電子工学実習	3前	2			1	1				
		医用機械工学	2後	2				1				
		情報処理工学	1後	2				1				
		ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞ演習	2前	1				2	1			
		医用信号処理	2後	2			1					
		医用通信ｼｽﾃﾑ	3前		2		1					
		医用工学	3前	2				1				
		医用システム工学実習	3後	2			2	2	1			
専門科目	医用生体工学	生体物性工学	2前	2			1					
		生体材料工学	2後	2				1				
		生体計測工学	3前	2			1					
		臨床画像工学	3後		2		1					
	医用機器学	医用機器学概論	2前	2			1					
		医用治療機器学	2後	2			1					
		医用治療機器学実習	3前	1			1					
		画像診断装置学	3後	2			1					
		生体計測装置学	3前	2				1				
		生体計測装置学実習	3後	1				1				
	生体機能代行技術学	呼吸機能代行装置学	2前	2			1					
		呼吸機能代行装置学実習	2後	1			1					
		循環機能代行装置学	2後	2					1			
		循環機能代行装置学実習	3前	1					1			
		代謝機能代行装置学	2後	2								1
		代謝機能代行装置学実習	3前	1								1

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
共通教育科目	その他外国語科目	中国語Ⅰ	1前		2							1
		中国語Ⅱ	1後		2							1
		フランス語Ⅰ	1前		2							1
		フランス語Ⅱ	1後		2							1
		ドイツ語Ⅰ	1前		2							1
		ドイツ語Ⅱ	1後		2							1
		ロシア語Ⅰ	1前		2							1
		ロシア語Ⅱ	1後		2							1
		スペイン語Ⅰ	1前		2							1
		スペイン語Ⅱ	1後		2							1
専門基礎科目	医学的基礎	臨床工学総論	1前	2			2	1	1			
		解剖学	1前	2			1					
		解剖生理学実習	2前	1			1					
		生理学	1前	2			1					
		生化学	1前	2			1					
		看護学概論	1後	2								2
		医療関係法規	1後	2								1
		病理学	1後	2			1					
		薬理学	1後	2								1
		公衆衛生学	2前	1								1
		医学概論	2後	2			1					
		感染免疫学	2後	2								1
	理工学的基礎	応用数学	1後	2				1				
		電気工学Ⅰ	1後	2			1					
		電気工学Ⅱ	2前	2			1					
		電気工学演習Ⅰ	1後		1		1	1				
		電気工学演習Ⅱ	2前		1		1	1				
		電気工学実習	2後	2			2					
		電子工学Ⅰ	2前	2			1					
		電子工学Ⅱ	2後	2			1					
		電子工学演習Ⅰ	2前		1		1	1				
		電子工学演習Ⅱ	2後		1		1	1				
		電子工学実習	3前	2			1	1				
		医用機械工学	2後	2				1				
		情報処理工学	1後	2				1				
		ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞ演習	2前	1				2	1			
		医用信号処理	2後	2			1					
		医用通信ｼｽﾃﾑ	3前		2		1					
		医用工学	3前	2				1				
		医用システム工学実習	3後	2			2	2	1			
専門科目	医用生体工学	生体物性工学	2前	2			1					
		生体材料工学	2後	2				1				
		生体計測工学	3前	2			1					
		臨床画像工学	3後		2		1					
	医用機械学	医用機器学概論	2前	2			1					
		医用治療機器学	2後	2			1					
		医用治療機器学実習	3前	1			1					
		画像診断装置学	3後	2			1					
		生体計測装置学	3前	2				1				
		生体計測装置学実習	3後	1				1				
	生体機能代行技術学	呼吸機能代行装置学	2前	2			1					
		呼吸機能代行装置学実習	2後	1			1					
		循環機能代行装置学	2後	2					1			
		循環機能代行装置学実習	3前	1					1			
		代謝機能代行装置学	2後	2								1
		代謝機能代行装置学実習	3前	1								1

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
専門科目	生体機能代行技術学	臨床医学Ⅰ（呼吸器、循環器）	3前	2			1		1			
		臨床医学Ⅱ（代謝、血液）	3後	2					1			1
		臨床医学Ⅲ（神経系、内分泌系）	3後		2		2					
	医療安全管理学	医用機器安全管理学	3前	2			1		1			
		医用機器安全管理学実習	3後	1			1		1			
	総合実践科目	チーム医療論	4前		2		2					
		グローバル感染対策	4前		1							1
		看護技術の科学的検証	4前		1							2
		地域の健康課題と多職種連	4前		1							1
		地域包括ケア	4後		1							1
		臨床実習	4前	4			2	3	2			1
		卒業研究Ⅰ	4前	2			7	3	2			
		卒業研究Ⅱ	4後	2			7	3	2			

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
専門科目	生体機能代行技術学	臨床医学Ⅰ（呼吸器、循環器）	3前	2			1		1			
		臨床医学Ⅱ（代謝、血液）	3後	2					1			1
		臨床医学Ⅲ（神経系、内分泌系）	3後		2		2					
	医療安全管理学	医用機器安全管理学	3前	2			1		1			
		医用機器安全管理学実習	3後	1			1		1			
	総合実践科目	チーム医療論	4前		2		2					
		グローバル感染対策	4前		1							1
		看護技術の科学的検証	4前		1							2
		地域の健康課題と多職種連	4前		1							1
		地域包括ケア	4後		1							1
		臨床実習	4前	4			2	3	2			1
		卒業研究Ⅰ	4前	2			7	3	2			
		卒業研究Ⅱ	4後	2			7	3	2			

（１）ー②授業科目表に関する変更内容

【平成３０年度】

・教育内容の向上を図るため、「医療と文化」の担当教員を「兼任教員」から「兼担教員」に変更（授業科目表上は変更なし）。
・兼任教員の本業の予定と合わない理由により、「日本国憲法」の開講時期を「１前」から「１後」に変更。
・兼任教員の本業の予定と合わない理由により、「データ科学と社会」の開講時期を「１前」から「１後」に変更。
（３０年度において、翌年度より専任教員となる新田雅道教授が兼任教員として授業を担当）
・兼任教員の本業の予定と合わない理由により、「統計学」の開講時期を「１前」から「１後」に変更。
・兼任教員に係る時間割調整に伴う共通教育科目（一般科目（科学力））における学生の授業履修の調整を行うため、
「教養としての数学」の開講時期を「１後」から「１前」に変更。
・１年を通じて人体の構造と機能に関する知識の修得を図るため、「病理学」の開講時期を「１前」から「１後」に変更。
（当初１年前期に解剖学、生理学、病理学を開講する予定であったが、１年前期に解剖学、生理学を学び、その理解のもとで
病理学を学ぶことで、より効果的な教育を実施していくため１年後期に病理学を配置変更した。）

（注）・　変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を箇条書きで記入してください。
変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
・　変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
・　不要な年度（平成２８年度開設であれば平成２７年度、平成２９年度開設であれば平成２７年度及び平成２８年度、
平成３０年度開設であれば平成２７年度から平成２９年度）の表は適宜削除してください。

（２） 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計（Ａ）	必修	選択	自由	計	
56 科目	56 科目	4 科目	116 科目	56 科目 [0]	56 科目 [0]	4 科目 [0]	116 科目 [0]	

（注）・　未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに，［　］内に，設置時の計画からの増減を
記入してください。（記入例：１科目減の場合：△１）

（３） 未開講科目

該当なし

番号	授業科目名	単 位 数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1						
2						
3						

（注）・　配当年次に達しているにも関わらず，何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。
・　履修希望者がいなかったために未開講となった科目については，記入しないでください。
・　教職大学院の場合は，「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

（４） 廃止科目

該当なし

番号	授業科目名	単 位 数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1						
2						
3						

（注）・　設置時の計画にあり，何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。
・　教職大学院の場合は，「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

（５） 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

（注）・　授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

（６） 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目（３）と廃止科目（４）の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計（Ａ）}} = \frac{0}{116} = 0\%$$

（注）・　小数点以下第３位を切り捨て，小数点以下第２位まで表示されます。
・　「未開講科目と廃止科目の計」が、「（３）未開講科目」と「（４）廃止科目」の合計数となるように留意してください。

３　施設・設備の整備状況，経費

区分		内容				備考
（1）校地等	区分	専用	共用	共用する他の学校等の専用	計	末広キャンパス 借用面積：3,676 ㎡ 借用期間：25年
	校舎敷地	18,962.05 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	18,962.05 ㎡	
	運動場用地	14,271.00 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	14,271.00 ㎡	
	小計	33,233.05 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	33,233.05 ㎡	
	その他	8,251.28 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	8,251.28 ㎡	
	合計	41,484.33 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	41,484.33 ㎡	
（2）校舎		専用	共用	共用する他の学校等の専用	計	末広キャンパス 借用面積：930 ㎡ 借用期間：25年 中央キャンパス 借用面積：4,030 ㎡ 借用期間：25年
		16,305.47 ㎡ （4,555.95 ㎡）	0 ㎡ （3,644.67 ㎡）	0 ㎡ （4,926.47 ㎡）	16,305.47 ㎡ （13,127.09 ㎡）	

（3）教室等	講義室	演習室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	備考
	23 室	12 室	18 室	0 室 （補助職員　0人）	0 室 （補助職員　0人）	大学全体

（4）専任教員研究室	新設学部等の名称	室数	備考
	保健医療学部　臨床工学科	9 室	

（5）図書・設備	新設学部等の名称	図書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標本 点	備考
	保健医療学部 臨床工学科	6,182〔102〕 （6,062〔97〕）	9〔0〕 （8〔0〕）	0〔0〕 （0〔0〕）	130 （94）	138 （104）	18 （18）	
	計	6,182〔102〕 （6,062〔97〕）	9〔0〕 （8〔0〕）	0〔0〕 （0〔0〕）	130 （94）	138 （104）	18 （18）	

（6）図書館	面積	閲覧座席数	収納可能冊数	備考
	909.83 ㎡	118 席	80,000 冊	大学全体

（7）体育館	面積	体育館以外のスポーツ施設の概要		備考
	960.00 ㎡	－	－	大学全体

（8）経費の見積り及び維持方法の概要

経費の見積り 区分	開設年度	完成年度	区分	開設前年度	開設年度	完成年度
教員１人当り研究費等	400千円	400千円	図書購入費	1,286千円	1,286千円	722千円
共同研究費等	3,000千円	3,000千円	設備購入費	~~130,000千円~~ 111,156千円	98,000千円	3,000千円

学生１人当り納付金	第１年次	第２年次	第３年次	第４年次	第５年次	第６年次
	市内学生918千円 その他1,059千円	636千円	636千円	636千円	－ 千円	－ 千円

学生納付金以外の維持方法の概要	大学運営費交付金、資産運用収入、雑収入　等

備考：設備の一部についてリースにて対応することとしたため（30）設備購入費は大学全体

（注）・　設置時の計画を，申請書の様式第２号（その１の１）に準じて作成してください。（複数のキャンパスに分かれている場合，複数の様式に分ける必要はありません。なお，「（１）校地等」及び「（２）校舎」は大学全体の数字を，その他の項目はＡＣ対象学部等の数値を記入してください。）

・　運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は，その旨（所要時間・距離等）を「備考」に記入してください。

・　「（５）図書・設備」については，上段に完成年度の予定数値を，下段には平成３０年５月１日現在の数値を記入してください。

・　昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては，変更部分を赤字で見え消し修正するとともに，その理由及び報告年度「（30）」を「備考」に赤字で記入してください。

なお，昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については，見え消しのまま黒字にしてください。

・　校舎等建物の計画の変更（校舎又は体育館の総面積の減少，建築計画の遅延）がある場合には，「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。

・　国立大学については「（８）経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

４　ＡＣ対象学部等を含む大学等の状況

大学の名称	公立小松大学								備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開設年度	所在地	
	年	人	年次 人	人		倍			
生産システム科学部									
生産システム科学科	4	80	―	320	学士 （工学）	1.00	平成30年度	石川県小松市土居原町10-10 石川県小松市四丁町ヌ1-3	
保健医療学部									
看護学科	4	50	―	200	学士 （看護学）	1.06	平成30年度	石川県小松市土居原町10-10 石川県小松市向本折町へ14-1	
臨床工学学科	4	30	―	120	学士 （臨床工学）	1.13	平成30年度	同上	
国際文化交流学部									
国際文化交流学科	4	80	―	320	学士 （国際文化学）	1.03	平成30年度	石川県小松市土居原町10-10	

大学の名称	小松短期大学								備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開設年度	所在地	
地域創造学科	2年	0人	― 年次 ― 人	0人	短期大学士	― 倍	昭和63年	石川県小松市四丁町ヌ1-3	平成30年4月 学生募集停止

（注）・本調査の対象となっている大学等の設置者（学校法人等）が設置している全ての大学（学部，学科），大学院（専攻）及び短期大学（学科）（ＡＣ対象学部等含む）について，それぞれの学校種ごとに，平成３０年５月１日現在の上記項目の情報を記入してください。

・学部の学科または研究科の専攻等，「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。

※「入学定員を定めている組織ごと」には，課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。

※なお，課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は，法令上規定されている組織上の最小単位（大学であれば「学科」，短期大学であれば「専攻課程」）でも記載してください。

・専攻科に係るものについては，記入する必要はありません。

・ＡＣ対象学部等については、必ず記入するとともに、下線を引いてください。

・「平均入学定員超過率」には，標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第２位まで（小数点以下第３位を切り捨て）を記入してください。

・学生募集を停止している学部等がある場合，入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「－」とし，「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

５　教員組織の状況

＜保健医療学部　臨床工学科＞

（１）ー① 担当教員表

【認可時又は届出時】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
専	教授	真田　茂 (66) ＜平成30年4月＞	キャリアデザイン・チーム論Ⅱ 臨床工学総論 ※ 生体物性工学 臨床画像工学 画像診断装置学 チーム医療論 臨床実習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ
専	教授	中山　謙二 (72) ＜平成31年4月＞	統計学 電気工学Ⅰ 電気工学Ⅱ 電気工学演習Ⅰ 電気工学演習Ⅱ 電気工学実習 医用信号処理 医用通信システム 医用システム工学実習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ
兼任	講師	中山　謙二 (71) ＜平成30年4月＞	統計学 電気工学Ⅰ 電気工学演習Ⅰ
専	教授	井関　尚一 (66) ＜平成30年4月＞	解剖学 解剖生理学実習 生理学 病理学 医学概論 臨床医学Ⅲ（神経系、内分泌系） ※ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ
専	教授	岩橋　正國 (65) ＜平成31年4月＞	医用機器学概論 医用治療機器学 医用治療機器学実習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ
専	教授	深澤　伸慈 (66) ＜平成32年4月＞	キャリアデザイン・チーム論Ⅱ 臨床工学総論 ※ 呼吸機能代行装置学 呼吸機能代行装置学実習 臨床医学Ⅰ（呼吸器、循環器）※ 医用機器安全管理学 医用機器安全管理学実習 チーム医療論 臨床実習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ
兼任	講師	深澤　伸慈 (64) ＜平成30年4月＞	キャリアデザイン・チーム論Ⅱ 臨床工学総論 ※ 呼吸機能代行装置学 呼吸機能代行装置学実習
専	教授	八賀　正司 (64) ＜平成30年4月＞	電気工学実習 電子工学Ⅰ 電子工学Ⅱ 電子工学演習Ⅰ 電子工学演習Ⅱ 電子工学実習 医用システム工学実習 生体計測工学 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ

【平成３０年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
専	教授	真田　茂 (66) ＜平成30年4月＞	キャリアデザイン・チーム論Ⅱ 臨床工学総論 ※ 生体物性工学 臨床画像工学 画像診断装置学 チーム医療論 臨床実習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ
専	教授	中山　謙二 (72) ＜平成31年4月＞	統計学 電気工学Ⅰ 電気工学Ⅱ 電気工学演習Ⅰ 電気工学演習Ⅱ 電気工学実習 医用信号処理 医用通信システム 医用システム工学実習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ
兼任	講師	中山　謙二 (71) ＜平成30年4月＞	統計学 電気工学Ⅰ 電気工学演習Ⅰ
専	教授	井関　尚一 (66) ＜平成30年4月＞	解剖学 解剖生理学実習 生理学 病理学 医学概論 臨床医学Ⅲ（神経系、内分泌系） ※ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ
専	教授	岩橋　正國 (65) ＜平成31年4月＞	医用機器学概論 医用治療機器学 医用治療機器学実習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ
専	教授	深澤　伸慈 (66) ＜平成32年4月＞	キャリアデザイン・チーム論Ⅱ 臨床工学総論 ※ 呼吸機能代行装置学 呼吸機能代行装置学実習 臨床医学Ⅰ（呼吸器、循環器）※ 医用機器安全管理学 医用機器安全管理学実習 チーム医療論 臨床実習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ
兼任	講師	深澤　伸慈 (64) ＜平成30年4月＞	キャリアデザイン・チーム論Ⅱ 臨床工学総論 ※ 呼吸機能代行装置学 呼吸機能代行装置学実習
専	教授	八賀　正司 (64) ＜平成30年4月＞	電気工学実習 電子工学Ⅰ 電子工学Ⅱ 電子工学演習Ⅰ 電子工学演習Ⅱ 電子工学実習 医用システム工学実習 生体計測工学 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
専	教授	平山　順 （42） ＜平成30年4月＞	テーマ別基礎ゼミ 生化学 臨床医学Ⅲ（神経系、内分泌系）　※ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ
専	准教授	野川　雅道 （46） ＜平成30年4月＞	テーマ別基礎ゼミ 臨床工学総論 ※ 電気工学演習Ⅰ 電気工学演習Ⅱ 電子工学演習Ⅰ 電子工学演習Ⅱ 電子工学実習 医用機械工学 医用システム工学実習 生体材料工学 生体計測装置学 生体計測装置学実習 臨床実習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ
専	准教授	李　鍾昊 （44） ＜平成30年4月＞	テーマ別基礎ゼミ 教養としての物理 応用数学 プログラミング演習 医用工学 医用システム工学実習 臨床実習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ
専	准教授	辻村　真一 （39） ＜平成30年4月＞	テーマ別基礎ゼミ 情報処理応用Ｂ 情報処理工学 プログラミング演習 臨床実習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ
専	講師	坂元　英雄 （50） ＜平成30年4月＞	キャリアデザイン・チーム論Ⅱ 臨床工学総論 ※ 循環機能代行装置学 循環機能代行装置学実習 臨床医学Ⅰ（呼吸器、循環器）※ 臨床医学Ⅱ（代謝、血液）　※ 医用機器安全管理学 医用機器安全管理学実習 臨床実習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ
専	講師	井澤　純子 （48） ＜平成30年4月＞	テーマ別基礎ゼミ 情報処理基礎 教養としての数学 プログラミング演習 医用システム工学実習 臨床実習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ
兼担	教授	木村　繁男 （67） ＜平成30年4月＞	現代科学技術論 ※
兼担	教授	山田　外史 （68） ＜平成30年4月＞	日本産業史 ※
兼担	教授	山田　良穂 （67） ＜平成30年4月＞	アカデミック・スキルズ 日本産業史　※
兼担	教授	安達　正明 （66） ＜平成30年4月＞	アカデミック・スキルズ 教養としての物理 現代科学技術論
兼担	教授	木村　春彦 （66） ＜平成30年4月＞	データ科学と社会 ※ 現代科学技術論 ※
兼担	教授	川端　信義 （65） ＜平成30年4月＞	現代科学技術論 ※

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
専	教授	平山　順 （42） ＜平成30年4月＞	テーマ別基礎ゼミ 生化学 臨床医学Ⅲ（神経系、内分泌系）　※ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ
専	准教授	野川　雅道 （46） ＜平成30年4月＞	テーマ別基礎ゼミ 臨床工学総論 ※ 電気工学演習Ⅰ 電気工学演習Ⅱ 電子工学演習Ⅰ 電子工学演習Ⅱ 電子工学実習 医用機械工学 医用システム工学実習 生体材料工学 生体計測装置学 生体計測装置学実習 臨床実習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ
専	准教授	李　鍾昊 （44） ＜平成30年4月＞	テーマ別基礎ゼミ 教養としての物理 応用数学 プログラミング演習 医用工学 医用システム工学実習 臨床実習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ
専	**准教授**	**藤田　一寿** **（39）** **＜平成30年7月＞**	テーマ別基礎ゼミ 情報処理応用Ｂ 情報処理工学 プログラミング演習 臨床実習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ
専	講師	坂元　英雄 （50） ＜平成30年4月＞	キャリアデザイン・チーム論Ⅱ 臨床工学総論 ※ 循環機能代行装置学 循環機能代行装置学実習 臨床医学Ⅰ（呼吸器、循環器）※ 臨床医学Ⅱ（代謝、血液）　※ 医用機器安全管理学 医用機器安全管理学実習 臨床実習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ
専	講師	井澤　純子 （48） ＜平成30年4月＞	テーマ別基礎ゼミ 情報処理基礎 教養としての数学 プログラミング演習 医用システム工学実習 臨床実習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ
兼担	教授	木村　繁男 （67） ＜平成30年4月＞	現代科学技術論 ※
兼担	教授	山田　外史 （68） ＜平成30年4月＞	日本産業史 ※
兼担	教授	山田　良穂 （67） ＜平成30年4月＞	アカデミック・スキルズ 日本産業史　※
兼担	教授	安達　正明 （66） ＜平成30年4月＞	アカデミック・スキルズ 教養としての物理 現代科学技術論
兼担	教授	木村　春彦 （66） ＜平成30年4月＞	データ科学と社会 ※ 現代科学技術論 ※
兼担	教授	川端　信義 （65） ＜平成30年4月＞	現代科学技術論 ※

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
兼担	教授	田村　博志 （65） ＜平成31年4月＞	教養としての数学 統計学 現代科学技術論 ※
兼任	講師	田村　博志 （64） ＜平成30年4月＞	現代科学技術論 ※
兼担	教授	岩田　佳雄 （65） ＜平成31年4月＞	アカデミック・スキルズ 日本産業史　※
兼任	講師	岩田　佳雄 （64） ＜平成30年4月＞	日本産業史 ※
兼担	教授	新田　雅道 （60） ＜平成31年4月＞	アカデミック・スキルズ 情報処理基礎 データ科学と社会　※
兼任	講師	新田　雅道 （59） ＜平成30年4月＞	アカデミック・スキルズ 情報処理基礎 データ科学と社会　※
兼担	教授	富澤　淳 （59） ＜平成30年4月＞	日本産業史 ※
兼担	教授	上田　芳弘 （60） ＜平成33年4月＞	情報処理基礎 データ科学と社会 ※ 現代科学技術論 ※
兼担	准教授	石若　裕子 （51） ＜平成33年4月＞	情報処理基礎 情報処理応用Ａ
兼担	准教授	疋津　正利 （47） ＜平成30年4月＞	情報処理基礎
兼担	准教授	梶原　祐輔 （32） ＜平成30年4月＞	情報処理基礎 情報処理応用Ａ
兼担	教授	森川　浩子 （64） ＜平成30年4月＞	テーマ別基礎ゼミ
兼担	教授	中島　素子 （65） ＜平成30年4月＞	健康と体の科学 ※
兼担	教授	内田　美保 （59） ＜平成30年4月＞	テーマ別基礎ゼミ 看護学概論 ※ グローバル感染対策
兼担	教授	小泉　由美 （59） ＜平成30年4月＞	テーマ別基礎ゼミ
兼担	教授	松井　優子 （52） ＜平成30年4月＞	看護学概論 ※ 看護技術の科学的検証
兼担	教授	徳田　真由美 （52） ＜平成30年4月＞	地域包括ケア
兼担	教授	坂本　めぐみ （53） ＜平成31年4月＞	地域の健康課題と多職種連携
兼担	教授	山﨑　松美 （42） ＜平成30年4月＞	キャリアデザイン・チーム論Ⅱ
兼担	准教授	日下　純子 （64） ＜平成30年4月＞	テーマ別基礎ゼミ

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
兼担	教授	田村　博志 （65） ＜平成31年4月＞	教養としての数学 統計学 現代科学技術論 ※
兼任	講師	田村　博志 （64） ＜平成30年4月＞	現代科学技術論 ※
兼担	教授	岩田　佳雄 （65） ＜平成31年4月＞	アカデミック・スキルズ 日本産業史　※
兼任	講師	岩田　佳雄 （64） ＜平成30年4月＞	日本産業史 ※
兼担	教授	新田　雅道 （60） ＜平成31年4月＞	アカデミック・スキルズ 情報処理基礎 データ科学と社会　※
兼任	講師	新田　雅道 （59） ＜平成30年4月＞	アカデミック・スキルズ 情報処理基礎 データ科学と社会　※
兼担	教授	富澤　淳 （59） ＜平成30年4月＞	日本産業史 ※
兼担	教授	上田　芳弘 （60） ＜平成33年4月＞	情報処理基礎 データ科学と社会 ※ 現代科学技術論 ※
兼担	准教授	石若　裕子 （51） ＜平成33年4月＞	情報処理基礎 情報処理応用Ａ
兼担	准教授	疋津　正利 （47） ＜平成30年4月＞	情報処理基礎
兼担	准教授	梶原　祐輔 （32） ＜平成30年4月＞	情報処理基礎 情報処理応用Ａ
兼担	教授	森川　浩子 （64） ＜平成30年4月＞	テーマ別基礎ゼミ
兼担	教授	中島　素子 （65） ＜平成30年4月＞	健康と体の科学 ※
兼担	教授	内田　美保 （59） ＜平成30年4月＞	テーマ別基礎ゼミ 看護学概論 ※ グローバル感染対策
兼担	教授	小泉　由美 （59） ＜平成30年4月＞	テーマ別基礎ゼミ
兼担	教授	松井　優子 （52） ＜平成30年4月＞	看護学概論 ※ 看護技術の科学的検証
兼担	教授	徳田　真由美 （52） ＜平成30年4月＞	地域包括ケア
兼担	教授	坂本　めぐみ （53） ＜平成31年4月＞	地域の健康課題と多職種連携
兼担	教授	山﨑　松美 （42） ＜平成30年4月＞	キャリアデザイン・チーム論Ⅱ
兼担	准教授	日下　純子 （64） ＜平成30年4月＞	テーマ別基礎ゼミ

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
兼担	准教授	松村　愛都 (60) ＜平成30年4月＞	テーマ別基礎ゼミ
兼担	講師	清水　由加里 (50) ＜平成30年4月＞	キャリアデザイン・チーム論Ⅱ
兼担	助教	藤田　結香里 (30) ＜平成30年4月＞	キャリアデザイン・チーム論Ⅱ
兼担	教授	岩田　礼 (65) ＜平成30年4月＞	アカデミック・スキルズ 言葉と文化 ※
兼担	教授	宮崎　猛 (67) ＜平成30年4年＞	アカデミック・スキルズ 自然資源と環境問題
兼担	教授	VANCE, Timothy John (66) ＜平成30年4月＞	言葉と文化 ※ 英語Ⅰb 英語Ⅱb
兼担	教授	盛田　清秀 (65) ＜平成30年4月＞	経済学 ※
兼担	教授	西村　聡 (65) ＜平成32年4月＞	南加賀の歴史と文化 日本の伝統芸能 文章表現法
兼任	講師	西村　聡 (63) ＜平成30年4月＞	南加賀の歴史と文化 日本の伝統芸能 文章表現法
兼担	教授	岡村　徹 (56) ＜平成30年4月＞	アカデミック・スキルズ 英語Ⅰa 英語Ⅱa 英語Ⅱb
兼担	教授	杓谷　茂樹 (55) ＜平成30年4月＞	文化人類学 スペイン語Ⅰ スペイン語Ⅱ
兼担	教授	刘 酒华 (55) ＜平成30年4月＞	中国語Ⅰ 中国語Ⅱ
兼担	准教授	塩谷　サルフィ マクスーダ (63) ＜平成30年4月＞	英語Ⅰa 英語Ⅱa 英語Ⅱb
兼担	准教授	中子(佐藤) 富貴子 (50) ＜平成30年4月＞	アカデミック・スキルズ
兼担	准教授	小原　文衛 (49) ＜平成30年4月＞	英語Ⅰa 英語Ⅱa
兼担	准教授	一ノ渡　忠之 (43) ＜平成30年4月＞	経済学 ※ ロシア語Ⅰ ロシア語Ⅱ
兼担	准教授	木村　誠 (38) ＜平成31年4月＞	アカデミック・スキルズ 心理学 人間の発達と心
兼任	講師	木村　誠 (37) ＜平成30年4月＞	アカデミック・スキルズ 心理学 人間の発達と心

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
兼担	准教授	松村　愛都 (60) ＜平成30年4月＞	テーマ別基礎ゼミ
兼担	講師	清水　由加里 (50) ＜平成30年4月＞	キャリアデザイン・チーム論Ⅱ
兼担	助教	藤田　結香里 (30) ＜平成30年4月＞	キャリアデザイン・チーム論Ⅱ
兼担	教授	岩田　礼 (65) ＜平成30年4月＞	アカデミック・スキルズ 言葉と文化 ※
兼担	教授	宮崎　猛 (67) ＜平成30年4年＞	アカデミック・スキルズ 自然資源と環境問題
兼担	教授	VANCE, Timothy John (66) ＜平成30年4月＞	言葉と文化 ※ 英語Ⅰb 英語Ⅱb
兼担	教授	盛田　清秀 (65) ＜平成30年4月＞	経済学 ※
兼担	教授	西村　聡 (65) ＜平成32年4月＞	南加賀の歴史と文化 日本の伝統芸能 文章表現法
兼任	講師	西村　聡 (63) ＜平成30年4月＞	南加賀の歴史と文化 日本の伝統芸能 文章表現法
兼担	教授	岡村　徹 (56) ＜平成30年4月＞	アカデミック・スキルズ 英語Ⅰa 英語Ⅱa 英語Ⅱb
兼担	教授	杓谷　茂樹 (55) ＜平成30年4月＞	文化人類学 スペイン語Ⅰ スペイン語Ⅱ
兼担	教授	刘 酒华 (55) ＜平成30年4月＞	中国語Ⅰ 中国語Ⅱ
兼担	准教授	塩谷　サルフィ マクスーダ (63) ＜平成30年4月＞	英語Ⅰa 英語Ⅱa 英語Ⅱb
兼担	准教授	中子(佐藤) 富貴子 (50) ＜平成30年4月＞	アカデミック・スキルズ
兼担	准教授	小原　文衛 (49) ＜平成30年4月＞	英語Ⅰa 英語Ⅱa
兼担	准教授	一ノ渡　忠之 (43) ＜平成30年4月＞	経済学 ※ ロシア語Ⅰ ロシア語Ⅱ
兼担	准教授	木村　誠 (38) ＜平成31年4月＞	アカデミック・スキルズ 心理学 人間の発達と心
兼任	講師	木村　誠 (37) ＜平成30年4月＞	アカデミック・スキルズ 心理学 人間の発達と心

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
兼担	准教授	木場　紗綾 (37) ＜平成30年4月＞	アカデミック・スキルズ 政治学 ※
兼担	准教授	千葉　悠志 (32) ＜平成30年4月＞	アカデミック・スキルズ 政治学 ※
兼担	助教	長辻　幸 (35) ＜平成30年4月＞	英語Ⅰa 英語Ⅱa
兼任	講師	三浦　要 (59) ＜平成30年4月＞	哲学 クリティカルシンキング
兼任	講師	宇根　義己 (38) ＜平成30年4月＞	人文地理学
兼任	講師	碇　陽子 (41) ＜平成30年4月＞	医療と文化
兼任	講師	溝部　明男 (68) ＜平成30年4月＞	社会学
兼任	講師	木村　高宏 (43) ＜平成30年4月＞	公共政策論
兼任	講師	井上　英夫 (70) ＜平成30年4月＞	社会福祉論
兼任	講師	山崎　友也 (45) ＜平成30年4月＞	日本国憲法
兼任	講師	榊原　千秋 (56) ＜平成30年4月＞	健康と体の科学 ※
兼任	講師	松下　裕子 (58) ＜平成30年4月＞	スポーツ演習（バレーボール） スポーツ演習（硬式テニス） スポーツ演習（フットサル） スポーツ演習（卓球） スポーツ演習（バドミントン）
兼任	講師	川畠　嘉美 (49) ＜平成32年4月＞	英語Ⅰa
兼任	講師	ABE DAVID KIYOSHI (55) ＜平成32年4月＞	英語Ⅰa
兼任	講師	Raker Vincent ERIC (49) ＜平成30年4月＞	英語Ⅰb 英語Ⅱb
兼任	講師	ERTL JOHN JOSEF (43) ＜平成30年4月＞	英語Ⅰb
兼任	講師	FOX SENAN JAMES (42) ＜平成30年4月＞	英語Ⅱb
兼任	講師	島内　俊彦 (48) ＜平成30年4月＞	英語Ⅲ 英会話Ⅰ 英会話Ⅱ 実用英語Ⅰ 実用英語Ⅱ 実用英語Ⅲ 実用英語Ⅳ
兼任	講師	岩津　航 (42) ＜平成30年4月＞	フランス語Ⅰ フランス語Ⅱ
兼任	講師	名執　純子 (49) ＜平成30年4月＞	ドイツ語Ⅰ ドイツ語Ⅱ

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
兼担	准教授	木場　紗綾 (37) ＜平成30年4月＞	アカデミック・スキルズ 政治学 ※
兼担	准教授	千葉　悠志 (32) ＜平成30年4月＞	アカデミック・スキルズ 政治学 ※
兼担	助教	長辻　幸 (35) ＜平成30年4月＞	英語Ⅰa 英語Ⅱa
兼任	講師	三浦　要 (59) ＜平成30年4月＞	哲学 クリティカルシンキング
兼任	講師	宇根　義己 (38) ＜平成30年4月＞	人文地理学
兼担	**教授**	**横川　善正** **(69)** **＜平成30年4月＞**	医療と文化
兼任	講師	溝部　明男 (68) ＜平成30年4月＞	社会学
兼任	講師	木村　高宏 (43) ＜平成30年4月＞	公共政策論
兼任	講師	井上　英夫 (70) ＜平成30年4月＞	社会福祉論
兼任	講師	山崎　友也 (45) ＜平成30年4月＞	日本国憲法
兼任	講師	榊原　千秋 (56) ＜平成30年4月＞	健康と体の科学 ※
兼任	講師	松下　裕子 (58) ＜平成30年4月＞	スポーツ演習（バレーボール） スポーツ演習（硬式テニス） スポーツ演習（フットサル） スポーツ演習（卓球） スポーツ演習（バドミントン）
兼任	講師	川畠　嘉美 (49) ＜平成32年4月＞	英語Ⅰa
兼任	講師	ABE DAVID KIYOSHI (55) ＜平成32年4月＞	英語Ⅰa
兼任	講師	Raker Vincent ERIC (49) ＜平成30年4月＞	英語Ⅰb 英語Ⅱb
兼任	講師	ERTL JOHN JOSEF (43) ＜平成30年4月＞	英語Ⅰb
兼任	講師	FOX SENAN JAMES (42) ＜平成30年4月＞	英語Ⅱb
兼任	講師	島内　俊彦 (48) ＜平成30年4月＞	英語Ⅲ 英会話Ⅰ 英会話Ⅱ 実用英語Ⅰ 実用英語Ⅱ 実用英語Ⅲ 実用英語Ⅳ
兼任	講師	岩津　航 (42) ＜平成30年4月＞	フランス語Ⅰ フランス語Ⅱ
兼任	講師	名執　純子 (49) ＜平成30年4月＞	ドイツ語Ⅰ ドイツ語Ⅱ

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
兼任	講師	南保　英孝 （46） ＜平成30年4月＞	情報処理基礎
兼任	講師	佐藤　宜伯 （55） ＜平成31年4月＞	代謝機能代行装置学 代謝機能代行装置学実習 臨床医学Ⅱ（代謝、血液）　※ 看護技術の科学的検証 臨床実習
兼任	講師	相内　信 （68） ＜平成30年4月＞	医療関係法規
兼任	講師	川井　惠一 （59） ＜平成30年4月＞	薬理学
兼任	講師	櫻井　勝 （47） ＜平成31年4月＞	公衆衛生学
兼任	講師	岡本 成史 （52） ＜平成31年4月＞	感染免疫学

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
兼任	講師	南保　英孝 （46） ＜平成30年4月＞	情報処理基礎
兼任	講師	佐藤　宜伯 （55） ＜平成31年4月＞	代謝機能代行装置学 代謝機能代行装置学実習 臨床医学Ⅱ（代謝、血液）　※ 看護技術の科学的検証 臨床実習
兼任	講師	相内　信 （68） ＜平成30年4月＞	医療関係法規
兼任	講師	川井　惠一 （59） ＜平成30年4月＞	薬理学
兼任	講師	櫻井　勝 （47） ＜平成31年4月＞	公衆衛生学
兼任	講師	岡本 成史 （52） ＜平成31年4月＞	感染免疫学

（注）・　申請書又は届出書の様式第３号（その２の１）に準じて作成してください。
・　設置認可時又は届出時の教員全て（兼任，兼担教員を含む。）を黒字で記入してください。
その上で，**認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。**
・　年齢は，**それぞれの年度の５月１日時点の満年齢**を記入してください。
・　専任、兼担、兼任の順に記入してください。
・　不要な年度（平成２８年度開設であれば平成２７年度、平成２９年度開設であれば平成２７
平成２９年度）の表は適宜削除し，詰めてください。

（１）ー②担当教員表に関する変更内容

【平成３０年度】

・辻村真一准教授就任辞退。初年度前期に担当科目がないことから、藤田一寿を科目を担当しない准教授として４月１日より採用し、平成３０年度第１回ＡＣ教員審査に提出（審査中）。 ・共通教育科目「医療と文化」の担当教員を、兼任教員から兼担教員である横川善正教授に変更。※国際文化交流学部の専任教員として平成３０年度第１回ＡＣ教員審査に提出（審査中）

（注）・　変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
・　**認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合**は，当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し，大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
・　「専任教員採用等変更書（ＡＣ）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。なお，設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は，「教員審査省略」と記入してください。
・　不要な年度（平成２８年度開設であれば平成２７年度、平成２９年度開設であれば平成２７年度及び平成２８年度、平成３０年度開設であれば平成２７年度から平成２９年度）の表は適宜削除してください。

（２） 専任教員数等

（２）－① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要専任教員数	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数
12 名	6 名

（注）・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二条別表第一イにより算出される専任教員数を記入してください。

（２）－② 専任教員数

設置時の計画					現在（報告書提出時）の状況					現在（報告書提出時）の完成年度時の計画				
教 授	准教授	講 師	助 教	計（A）	教 授	准教授	講 師	助 教	計（B）	教 授	准教授	講 師	助 教	計（C）
7	3	2	0	12	4	3	2	0	9	7	3	2	0	12
(4)	(3)	(2)	(0)	(9)						[0]	[0]	[0]	[0]	[0]

（注）・「設置時の計画」には，設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに，（ ）内に開設時の状況を記入してください。
・「現在（報告書提出時）の状況」には、報告書提出年度の５月１日の教員数（実人数）を記入してください。
・**「現在（報告書提出時）の完成年度時の計画」には，「現在（報告書提出時）の状況」に記入した数字に，教員審査を受審済みであり，完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入**するとともに，［ ］内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：１名減の場合：△１）

（２）－③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告書提出時（上記（B））の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記（C））の教員うち、定年を延長して採用する教員数
65 歳	2 名	6 名

（注）・「年齢構成」には，当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません），および，平成３０年５月１日現在，定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
・なお,職位等によって定年年齢が異なる場合には,職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し，「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

（２）－④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在(報告書提出時)の完成年度時の計画(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{12}{12} = \boxed{100}\ \%$$

（注）・ 小数点以下第３位を切り捨て，小数点以下第２位まで表示されます。

（２）－⑤ 現在（報告書提出時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告書提出時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在(報告書提出時)の状況(B)}} = \frac{2}{9} = \boxed{22.22}\ \%$$

（注）・ 小数点以下第３位を切り捨て，小数点以下第２位まで表示されます。

（３） 専任教員辞任等の理由

（３）－① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番　号	職　位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由
1	准教授	辻村　真一	必修	テーマ別基礎ゼミ	①	健康上の理由のため就任辞退（30）
			選択	情報処理応用Ｂ	①	
			必修	情報処理工学	①	
			必修	プログラミング演習	①	
			必修	臨床実習	①	
			必修	卒業研究Ⅰ	①	
			必修	卒業研究Ⅱ	①	

合計（Ｄ）				後任補充状況の集計（Ｅ）							
就任を辞退した教員数	担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）			①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）	
1　人	必修	6	科目	必修	6 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
	選択	1	科目	選択	1 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
	自由	0	科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
	計	7	科目	計	7 科目	計	0 科目	計	0 科目

（注）・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。
就任した後に辞任した教員は、以下「（３）－②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに就任を辞退した場合，赤字にて記入するとともに，
「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（　）書きで報告年度を記入してください。
・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、
「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・専任教員が担当する（している）場合は「①」
・兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

（３）－② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番　号	職　位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
		該当なし				

合計（Ｆ）				後任補充状況の集計（Ｇ）							
辞任した教員数	担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）			①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）	
0　人	必修	0	科目	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
	選択	0	科目	選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
	自由	0	科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
	計	0	科目	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

（注）・ 一度就任した後に、**定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員**についてに記入してください。
・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合，赤字にて記入するとともに，「辞任等の理由」
に辞任理由等および（　）書きで報告年度を記入してください。
・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、
「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・専任教員が担当する（している）場合は「①」
・兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

（３）－③ 上記（３）－① ・ （３）－② の合計

合計（Ｄ）＋（Ｆ）				後任補充状況の集計（Ｅ）＋（Ｇ）							
辞任等した教員数	担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）			①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）	
1　人	必修	6	科目	必修	6 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
	選択	1	科目	選択	1 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
	自由	0	科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
	計	7	科目	計	7 科目	計	0 科目	計	0 科目

（３）－④　設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3)-③合計(D)+(F)}{(2)-②設置時の計画(A)} = \frac{1}{12} = 8.33\ \%$$

（注）・　小数点以下第３位を切り捨て，小数点以下第２位まで表示されます。

（３）－⑤　定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番　号	職　位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
		該当なし				

合計				後任補充状況の集計							
辞任した教員数	担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）			①の合計数（a）			②の合計数（b）			③の合計数（c）		
0　人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
	計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

（注）・　**定年により退職した全ての専任教員**についてに記入してください。
・　昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合，赤字にて記入するとともに，「辞任等の理由」に辞任理由等および（　）書きで報告年度を記入してください。
・　また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・専任教員が担当する（している）場合は「①」
・兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

（４）専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

本学部における専任教員就任辞退者は、開学年度の前期に担当授業科目を有しておらず、学生の履修等への影響は出ていない。後任については、候補者選を速やかに行い、平成30年第１回のＡＣ教員審査に提出し、現在審査を受けている。なお、当該後任候補者については、授業を持たない専任教員として４月から採用しており、授業の準備等を行っている。これにより、十分な準備期間を与え、適切な履修につなげていく。

（注）・　上記（３）の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

６　留意事項等に対する履行状況等

区　　分	留　意　事　項　等		履　行　状　況		未履行事項についての実施計画
設　置　時 （２９年８月）	・設置の趣旨・目的等が生かされるよう、設置計画を確実に履行すること。また、開設時から４年制大学にふさわしい教育研究活動を行うことはもとより、その水準を一層向上させるよう努めること。	留意事項	・理事長・学長のトップマネジメントのもとに、設置計画を確実に履行し、的確な大学運営を行っている。 ・教育研究活動水準の向上に向け、全学委員会及び学部教授会の両体制から取り組みを行うことを予定している。（３０年度）	未履行	・５月に６年間の計画である中期計画（6年間の計画）を策定し、その後、年度計画を策定する。 ・年度計画を踏まえ、全学委員会である「教育企画委員会」、「研究・地域連携委員会」が具体的な活動計画を策定し、個々の活動は学部教授会のもとに行っていく。（３０年度）
設　置　時 （２９年８月）	・運動場及び体育館が別地にあることから、教育に支障のないようにすることはもとより、学生の課外活動等に配慮すること。	留意事項	・スポーツ演習科目においては、中央キャンパス近くの体育施設を利用するとともに、シャトルバスの運行により支障が生じないよう対応している。 ・小松市により、中央キャンパスの近傍に課外活動の拠点として利用できる建物が設置され、学生の活動を支える環境が高まっている。（３０年度）	履行済	・今後も、アンケート等により学生のニーズの把握に努め、地域社会との協力のもとに、教育環境の向上を図っていく。（３０年度）
設　置　時 （２９年８月）	・完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について着実に実施すること。	留意事項	・中長期的な観点から、教員採用・育成のための計画を策定し、それに沿って教員人事の適正な運用を行う予定である。（３０年度）	未履行	・今年度中に、完成年度までの教員採用・育成計画を策定に着手する。策定後は、計画のもとに、教員の公募・育成等を行うとともに、適宜ＡＣ教員審査に諮っていく。（３０年度）

（注）・　「設置時」には，当該大学等の設置時（認可時又は届出時）に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）　と，それに対する履行状況等について，具体的に記入し，報告年度を（　　）書きで付記してください。

・　「設置計画履行状況調査時」には，当該設置計画履行状況調査の結果，**当該大学に付された意見を全て記入**するとともに，付された意見に対する履行状況等について，具体的に記入してください。その履行状況等を裏付ける資料があれば，添付してください。

・　「履行状況」では，履行途中であれば「未履行」，履行済みであれば「履行済」を選択してください。

・　該当がない場合には，「該当なし」と記入してください。

・　「設置計画履行状況調査時」の（年月）には，調査結果を公表した月（通常２月）を記入してください。（実地調査や面接調査を実施した日ではありません。）

７　その他全般的事項

＜保健医療学部　臨床工学科＞

（１） 設置計画変更事項等

設　置　時　の　計　画	変更内容・状況，今後の見通しなど
該当なし	

（注）・　１～６の項目に記入した事項以外で，設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）
及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

（２） 教員の資質の維持向上の方策（ＦＤ・ＳＤ活動含む）

①　実施体制

ａ　委員会の設置状況

公立小松大学ＦＤ・ＳＤ推進委員会規則を制定（３０年４月）

ｂ　委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

未開催（３０年６月第１回会議を開催予定）

ｃ　委員会の審議事項等

ＦＤ・ＳＤの推進計画の策定、実施に関すること

②　実施状況

ａ　実施内容

実施内容については、今後開催する公立小松大学ＦＤ・ＳＤ推進委員会により審議を行っていく。

ｂ　実施方法

実施方法については、今後開催する公立小松大学ＦＤ・ＳＤ推進委員会により審議を行っていく。

ｃ　開催状況（教員の参加状況含む）

未開催のため該当なし。

ｄ　実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

未実施のため該当なし。実施後に取り組みを行っていく。

③　学生に対する授業評価アンケートの実施状況

ａ　実施の有無及び実施時期

未実施。３０年度前期開講科目終了時に、授業評価アンケートを実施を予定。

ｂ　教員や学生への公開状況，方法等

学科ごとに集計を行い教員全体で内容を共有することを予定している。また、学生に対しては、学内掲示板等により結果を公表することを予定している。

（注）・「①ａ　委員会の設置状況」には，関係規程等を転載又は添付すること。
「②実施状況」には，実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

（３） 自己点検・評価等に関する事項

①　設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

開学後１ヵ月が経過し、設置認可申請書に記載した内容に沿って、大学運営が行われている。引き続き、設置の趣旨・目的の達成に向かって大学運営を行っていきたい。

②　自己点検・評価報告書

ａ　公表（予定）時期

・平成３１年６月　公表予定

ｂ　公表方法

・大学ホームページ上に公開予定（平成３１年６月末を予定）

③　認証評価を受ける計画

・学内で検討を行っている。

（注）・　設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。
また，「①　設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については，できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。
なお，「②　自己点検・評価報告書」については，当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

（４） 情報公表に関する事項

○　設置計画履行状況報告書

ａ　ホームページに公表（予定）の有無　（　有　・　無　）

ｂ　公表（予定）有の場合の公表（予定）時期　（　年　月　日　）

（注）・　「ａ　ホームページに公表（予定）有無」には，５月１日時点で公表している場合，もしくは，今後公表する予定の場合は，「有」にマルを記入してください。今後も公表する予定がない場合は，「無」にマルを記入してください。
・　「ｂ　公表（予定）有の場合の公表（予定）時期」には，「ａ　ホームページに公表（予定）有無」で「有」にマルを記入した場合のみ，時期を記入してください。

1　調査対象大学等の概要等

（1）設　置　者

公立大学法人公立小松大学

（2）大　学　名

公立小松大学

（3）大学の位置

〒923-0921
石川県小松市土居原町10-10

（注）・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合，本部の位置を（　）書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には，複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

（4）管理運営組織

職　　名	設　　置　　時	変　更　状　況	備　　考
理 事 長	（ イシダ　ヒロト ） 石田　寛人 （現職就任30年4月）		
学　　長	（ ヤマモト　ヒロシ ） 山本　博 （現職就任30年4月）		
学 部 長	（ イワタ　レイ ） 岩田　礼 （現職就任30年4月）		
学科長等	（ イワタ　レイ ） 岩田　礼 （現職就任30年4月）		

（注）・「変更状況」は，変更があった場合に記入し，併せて「備考」に変更の理由と変更年月日，報告年度を（　）書きで記入してください。
（例）平成２９年度に報告済の内容　→（29）
平成３０年度に報告する内容　→（30）
・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば，「変更状況」に赤字にて記載（昨年度までに報告された記載があれば，そこに赤字で見え消し修正）するとともに，上記と同様に，「備考」に変更理由等を記入してください。
・大学院の場合には，「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は，各職に相当する職名の方を記載してください。

（５）　調査対象学部等の名称，定員，入学者の状況等

（注）・　当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等，定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
・　なお，課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は，法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
・　様式は，平成２７年度開設の４年制の学科の場合（平成３０年度までの４年間）ですが，開設年度・修業年限に合わせて作成してください。（修業年限が３年以下の場合には欄を削除し，５年以上の場合には，欄を設けてください。）

（５）－①　調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称（学位）	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
国際文化交流学部 国際文化交流学科 学士（国際文化学）	文学関係	4年	80人	年次 －	320人	

（注）・　定員を変更した場合は，「備考」に変更前の人数，変更年月及び報告年度を（　）書きで記入してください。
・　学生募集停止を予定している場合は、「備考」にその旨記載してください。
・　「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第２号（その２の１））」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

（５）－②　調査対象学部等の入学者の状況

区分＼対象年度	平成２７年度		平成２８年度		平成２９年度		平成３０年度		平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
Ａ　入学定員	－ （　－　） ［　－　］	－	－ （　－　） ［　－　］	－	－ （　－　） ［　－　］	－	80人 （　－　） ［　－　］	－人	1.03倍	
志願者数	－ （　－　） ［　－　］	－ （　－　） ［　－　］	－ （　－　） ［　－　］	－ （　－　） ［　－　］	－ （　－　） ［　－　］	－ （　－　） ［　－　］	427 （　－　） ［　－　］	－ （　－　） ［　－　］		
受験者数	－ （　－　） ［　－　］	－ （　－　） ［　－　］	－ （　－　） ［　－　］	－ （　－　） ［　－　］	－ （　－　） ［　－　］	－ （　－　） ［　－　］	330 （　－　） ［　－　］	－ （　－　） ［　－　］		
合格者数	－ （　－　） ［　－　］	－ （　－　） ［　－　］	－ （　－　） ［　－　］	－ （　－　） ［　－　］	－ （　－　） ［　－　］	－ （　－　） ［　－　］	145 （　－　） ［　－　］	－ （　－　） ［　－　］		
Ｂ　入学者数	－ （　－　） ［　－　］	－ （　－　） ［　－　］	－ （　－　） ［　－　］	－ （　－　） ［　－　］	－ （　－　） ［　－　］	－ （　－　） ［　－　］	83 （　－　） ［　－　］	－ （　－　） ［　－　］		
入学定員超過率 Ｂ／Ａ							1.03			

（注）・　数字は，平成３０年５月１日現在の数字を記入してください。
・　（　）内には，編入学の状況について**外数で**記入してください。なお，編入学を複数年次で行っている場合には，((　))書きとするなどし，その旨を「備考」に付記してください。 該当がない年には「－」を記入してください。
・　［　］内には，留学生の状況について**内数で**記入してください。該当がない年には「－」を記入してください。
・　留学生については，「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により，我が国の大学（大学院を含む。），短期大学，高等専門学校，専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
・　短期交換留学生など，定員内に含めていない学生については記入しないでください。
・　転入学生は記入しないでください。
・　学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「－」を記入してください。また，その他の学期に入学定員を設けている場合は，備考欄にその人数を記入してください。
・　「入学定員超過率」については，**各年度の春季入学とその他を合計した入学定員，入学者数で算出**してください。なお，計算の際は小数点以下第３位を切り捨て，小数点以下第２位まで記入してください。
・　「平均入学定員超過率」には，開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお，計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

（５）－③　調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 / 学　年	平成２７年度		平成２８年度		平成２９年度		平成３０年度		備　　考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
１年次	－ [－] （ － ）	－ [－] （ － ）	－ [－] （ － ）	－ [－] （ － ）	－ [－] （ － ）	－ [－] （ － ）	83 [－] （ － ）	－ [－] （ － ）	
２年次			－ [－] （ － ）	－ [－] （ － ）	－ [－] （ － ）	－ [－] （ － ）	－ [－] （ － ）	－ [－] （ － ）	
３年次					－ [－] （ － ）	－ [－] （ － ）	－ [－] （ － ）	－ [－] （ － ）	
４年次							－ [－] （ － ）	－ [－] （ － ）	
計	－ [－] （ － ）		－ [－] （ － ）		－ [－] （ － ）		83 [－] （ － ）		

（注）・　数字は，平成３０年５月１日現在の数字を記入してください。
・　[　　]内には，留学生の状況について**内数で**記入してください。該当がない年には「－」を記入してください。
・　留学生については，「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により，我が国の大学（大学院を含む。），短期大学，高等専門学校，専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
・　短期交換留学生など，定員内に含めていない学生については記入しないでください。
・　編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際，備考欄に人数の内訳を記入してください。
・　学期の区分に従い学生を入学させる場合は，春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は，その他の学期欄は「－」を記入してください。また，その他の学期に入学定員を設けている場合は，備考欄にその人数を記入してください。
・　「計」については，**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数，留学生数**を記入してください。
・（　）内には，留年者の状況について，内数で記入してください。該当がない年には「－」を記入してください。

（５）－④　調査対象学部等の退学者等の状況

区分 / 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳 入学した年度	内訳 退学者数	内訳 退学者数のうち留学生数	主な退学理由
平成27年度	－ 人	－ 人	平成27年度	－ 人	－ 人	
平成28年度	－ 人	－ 人	平成27年度	－ 人	－ 人	
			平成28年度	－ 人	－ 人	
平成29年度	－ 人	－ 人	平成27年度	－ 人	－ 人	
			平成28年度	－ 人	－ 人	
			平成29年度	－ 人	－ 人	
平成30年度	83 人	0 人	平成27年度	－ 人	－ 人	
			平成28年度	－ 人	－ 人	
			平成29年度	－ 人	－ 人	
			平成30年度	0 人	0 人	
合　計	83 人	0 人				

（注）・ 数字は，平成30年5月1日現在の数字を記入してください。
・ 各年度の在学者数については，該当年度に在学した人数を記入してください。（途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。）
・ 内訳については，退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
・ 在学者数や退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
・ 留学生については，「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により，我が国の大学（大学院を含む。），短期大学，高等専門学校，専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
・ 短期交換留学生など，定員内に含めていない学生については記入しないでください。
・「主な退学理由」は，下の項目を参考に記入してください。その際，「就学意欲の低下（○人）」というように，その人数も含めて記入してください。
（記入項目例）・就学意欲の低下　・学力不足　・他の教育機関への入学・転学　・海外留学
・就職　・学生個人の心身に関する事情　・家庭の事情　・除籍　・その他

（５）－⑤　調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成27年度】

$$\frac{\text{平成27年度の退学者数(a)}}{\text{平成27年度の在学者数(b)}} = \frac{－}{－} = \text{\#VALUE!}\ \%$$

【平成28年度】

$$\frac{\text{平成28年度の退学者数(a)}}{\text{平成28年度の在学者数(b)}} = \frac{－}{－} = \text{\#VALUE!}\ \%$$

【平成29年度】

$$\frac{\text{平成29年度の退学者数(a)}}{\text{平成29年度の在学者数(b)}} = \frac{－}{－} = \text{\#VALUE!}\ \%$$

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{83} = 0\ \%$$

（注）・ 小数点以下第３位を切り捨て，小数点以下第２位まで表示されます。

２　授業科目の概要

＜国際文化交流学部　国際文化交流科学科＞

（１）ー① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
共通教育科目	導入科目	ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝ・ﾁｰﾑ論Ⅲ	1前	1			2	1				
		ｱｶﾃﾞﾐｯｸ・ｽｷﾙｽﾞ	1前	1								11
		ﾃｰﾏ別基礎ｾﾞﾐ	1後	2			8	8		1		
		情報処理基礎	1前	2								6
		南加賀の歴史と文化	1後	2			1					
	一般科目（人間力）	哲学	1前		2							1
		心理学	1前		2			1				
		人間の発達と心	1前		2			1				
		日本の伝統芸能	1前		2		1					
		人文地理学	1後		2							1
		文化人類学	1後		2		1					
		医療と文化	1後		2							1
		文章表現法	1後		2		1					
		言葉と文化	1後		2		2					
	一般科目（社会力）	日本産業史	1前		2							4
		自然資源と環境問題	1前		2		1					
		経済学	1前		2		1	1				
		政治学	1後		2			2				
		社会学	1後		2							1
		公共政策論	1後		2							1
		社会福祉論	1後		2							1
		日本国憲法	1前		2							1
	一般科目（科学力）	データ科学と社会	1前		2							3
		情報処理応用A	1後		2							2
		情報処理応用B	1後		2							1
		ｸﾘﾃｨｶﾙｼﾝｷﾝｸﾞ	1後		2							1
		統計学	1前		2							2
		教養としての物理	1前		2							2
		教養としての数学	1後		2							2
		現代科学技術論	1前		2							5
	一般科目（健康と体力）	健康と体の科学	1前		2							2
		スポーツ演習（ﾊﾞﾚｰﾎﾞｰﾙ）	1前・後		1							1
		スポーツ演習（硬式テニス）	1前		1							1
		スポーツ演習（フットサル）	1前・後		1							1
		スポーツ演習（卓球）	1後		1							1
		スポーツ演習（バドミントン）	1前・後		1							1
	英語科目	英語Ⅰa	1前	2				2		1		2
		英語Ⅰb	1前	2			1					2
		英語Ⅱa	1後	2			1	1		1		
		英語Ⅱb	1後	2			1	1				2
		英語Ⅲ	1後	2								1
		実用英語Ⅰ	1前・後			2						1
		実用英語Ⅱ	1前・後			2						1
		実用英語Ⅲ	1前・後			2						1
		実用英語Ⅳ	1前・後			2						1

【平成３０年度】

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
共通教育科目	導入科目	ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝ・ﾁｰﾑ論Ⅲ	1前	1			2	1				
		ｱｶﾃﾞﾐｯｸ・ｽｷﾙｽﾞ	1前	1								11
		ﾃｰﾏ別基礎ｾﾞﾐ	1後	2			8	8		1		
		情報処理基礎	1前	2								6
		南加賀の歴史と文化	1後	2			1					
	一般科目（人間力）	哲学	1前		2							1
		心理学	1前		2			1				
		人間の発達と心	1前		2			1				
		日本の伝統芸能	1前		2		1					
		人文地理学	1後		2							1
		文化人類学	1後		2		1					
		医療と文化	1後		2		1					
		文章表現法	1後		2		1					
		言葉と文化	1後		2		2					
	一般科目（社会力）	日本産業史	1前		2							4
		自然資源と環境問題	1前		2		1					
		経済学	1前		2		1	1				
		政治学	1後		2			2				
		社会学	1後		2							1
		公共政策論	1後		2							1
		社会福祉論	1後		2							1
		日本国憲法	1後		2							1
	一般科目（科学力）	データ科学と社会	1後		2							3
		情報処理応用A	1後		2							2
		情報処理応用B	1後		2							1
		ｸﾘﾃｨｶﾙｼﾝｷﾝｸﾞ	1後		2							1
		統計学	1後		2							2
		教養としての物理	1前		2							2
		教養としての数学	1前		2							2
		現代科学技術論	1前		2							5
	一般科目（健康と体力）	健康と体の科学	1前		2							2
		スポーツ演習（ﾊﾞﾚｰﾎﾞｰﾙ）	1前・後		1							1
		スポーツ演習（硬式テニス）	1前		1							1
		スポーツ演習（フットサル）	1前・後		1							1
		スポーツ演習（卓球）	1後		1							1
		スポーツ演習（バドミントン）	1前・後		1							1
	英語科目	英語Ⅰa	1前	2				2		1		2
		英語Ⅰb	1前	2			1					2
		英語Ⅱa	1後	2			1	1		1		
		英語Ⅱb	1後	2			1	1				2
		英語Ⅲ	1後	2								1
		実用英語Ⅰ	1前・後			2						1
		実用英語Ⅱ	1前・後			2						1
		実用英語Ⅲ	1前・後			2						1
		実用英語Ⅳ	1前・後			2						1

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
共通教育科目	その他外国語科目	中国語Ⅰ	1前		2		1					
		中国語Ⅱ	1後		2		1					
		フランス語Ⅰ	1前		2							1
		フランス語Ⅱ	1後		2							1
		ドイツ語Ⅰ	1前		2							1
		ドイツ語Ⅱ	1後		2							1
		ロシア語Ⅰ	1前		2			1				
		ロシア語Ⅱ	1後		2			1				
		スペイン語Ⅰ	1前		2		1					
		スペイン語Ⅱ	1後		2		1					
専門基礎科目		国際交流論	1前	2			1	3				
		観光学概論	2前		2		1	1				
		地域政策概論	2前		2		2					
		ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙﾋｽﾄﾘｰ	2前		2			1				1
		アジア社会論	2前		2			3				
		日本文化論	2前		2		1					
		言語学概論	2前		2		3					
		異文化ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ論	2前	2				2				
外国語科目	基礎外国語科目	English comprehension Ⅰ	2前	2			1					1
		English expression Ⅰ	2前	2						1		1
		Tourism English Ⅰ	2後		2			1				
		English comprehension Ⅱa	2前		2			1				
		English comprehension Ⅱb	2後		2			1				
		English expression Ⅱa	2後		2							1
		English expression Ⅱb	2後		2							1
		中国語Ⅰa	1前	2			1					
		中国語Ⅰb	1前	2			1					
		中国語Ⅱa	1後	2			1					
		中国語Ⅱb	1後	2			1					
		中国語Ⅲa	2前		2		1					
		中国語Ⅲb	2前		2		1					
		中国語Ⅳa	2後		2		1					
		中国語Ⅳb	2後		2		1					
専門科目	専門外国語科目	Tourism English Ⅱ	3･4前		2							1
		English comprehension Ⅲ	3･4前		2		1					
		English expression Ⅲ	3･4前		2					1		
		English presentation Ⅰ	3･4後		2							1
		English presentation Ⅱ	3･4後		2		1					
		中国語理解Ⅰ	3･4前		2		1					
		中国語理解Ⅱ	3･4後		2		1					
		中国語表現法	3･4前		2		1					
		中国語会話	3･4前		2		1					
		ビジネス中国語	3･4後		2		1					
	観光・地域創生系科目群	ｻｽﾃｨﾅﾌﾞﾙﾂｰﾘｽﾞﾑ論	2後		2		2	1				
		観光産業概論	2後		2		1					
		世界遺産を学ぶ	2後		2		1					
		地域再生ﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ論	2後		2		1					
		観光社会学	2後		2							1
		観光資源論	3･4前		2		1					
		ﾏｰｹﾃｨﾝｸﾞ調査論	3･4前		2							1

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
共通教育科目	その他外国語科目	中国語Ⅰ	1前		2		1					
		中国語Ⅱ	1後		2		1					
		フランス語Ⅰ	1前		2							1
		フランス語Ⅱ	1後		2							1
		ドイツ語Ⅰ	1前		2							1
		ドイツ語Ⅱ	1後		2							1
		ロシア語Ⅰ	1前		2			1				
		ロシア語Ⅱ	1後		2			1				
		スペイン語Ⅰ	1前		2		1					
		スペイン語Ⅱ	1後		2		1					
専門基礎科目		国際交流論	1前	2			1	3				
		観光学概論	2前		2		1	1				
		地域政策概論	2前		2		2					
		ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙﾋｽﾄﾘｰ	2前		2			1				1
		アジア社会論	2前		2			3				
		日本文化論	2前		2		1					
		言語学概論	2前		2		3					
		異文化ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ論	2前	2				2				
外国語科目	基礎外国語科目	English comprehension Ⅰ	2前	2			1					1
		English expression Ⅰ	2前	2						1		1
		Tourism English Ⅰ	2後		2			1				
		English comprehension Ⅱa	2前		2			1				
		English comprehension Ⅱb	2後		2			1				
		English expression Ⅱa	2後		2							1
		English expression Ⅱb	2後		2							1
		中国語Ⅰa	1前	2			1					
		中国語Ⅰb	1前	2			1					
		中国語Ⅱa	1後	2			1					
		中国語Ⅱb	1後	2			1					
		中国語Ⅲa	2前		2		1					
		中国語Ⅲb	2前		2		1					
		中国語Ⅳa	2後		2		1					
		中国語Ⅳb	2後		2		1					
専門科目	専門外国語科目	Tourism English Ⅱ	3･4前		2							1
		English comprehension Ⅲ	3･4前		2		1					
		English expression Ⅲ	3･4前		2					1		
		English presentation Ⅰ	3･4後		2							1
		English presentation Ⅱ	3･4後		2		1					
		中国語理解Ⅰ	3･4前		2		1					
		中国語理解Ⅱ	3･4後		2		1					
		中国語表現法	3･4前		2		1					
		中国語会話	3･4前		2		1					
		ビジネス中国語	3･4後		2		1					
	観光・地域創生系科目群	ｻｽﾃｨﾅﾌﾞﾙﾂｰﾘｽﾞﾑ論	2後		2		2	1				
		観光産業概論	2後		2		1					
		世界遺産を学ぶ	2後		2		1					
		地域再生ﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ論	2後		2		1					
		観光社会学	2後		2							1
		観光資源論	3･4前		2		1					
		ﾏｰｹﾃｨﾝｸﾞ調査論	3･4前		2							1

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
専門科目	観光・地域創生系科目群	ｲﾝﾊﾞｳﾝﾄﾞ観光論	3･4前		2							1
		ﾎｽﾋﾟﾀﾘﾃｨﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ	3･4前		2			1				1
		観光人材育成論	3･4後		2			1				
		ﾊﾞﾘｱﾌﾘｰﾂｰﾘｽﾞﾑ論	3･4後		2			1				
		ｸﾞﾘｰﾝﾂｰﾘｽﾞﾑ論	3･4後		2		1					
		観光人類学	3･4後		2		1					
		観光地理学	3･4後		2		1					
		多文化共生社会論	3･4後		2		1	1				
		地域ﾌﾞﾗﾝﾃﾞｨﾝｸﾞ論	3･4前		2		1					
		地域産業論	3･4後		2		1					
		フードシステム論	3･4前		2		1					
		農村地域振興論	3･4後		2		1					
		財政学	3･4前		2		1					
		社会調査法	3･4後		2			1				
		地理情報学概説	3･4前		2							1
		観光学演習A	3前		2		1					
		観光学演習B	3前		2			1				
		観光学演習C	3前		2		1					
		地域創生演習	3前		2		1					
		多文化共生社会演習	3前		2			1				
		課題研究A	3後		2		3	1				
	政治経済系科目群	国際政治論	2後		2			2				
		国際貿易論	2後		2			1				
		中国語圏社会文化論	2後		2			1				
		アジア現代史概論	2後		2							1
		東南アジア地域社会論	3･4前		2			1				
		NGO論	3･4後		2			1				
		国際協力論	3･4前		2			1				
		イスラーム社会論	3･4前		2			1				
		中東政治論	3･4後		2			1				
		資源エネルギー・環境論	3･4前		2			1				
		新興国経済論	3･4後		2			1				
		グローカル論	3･4前		2			1				
		サブカルチャー論	3･4後		2			1				
		メディア情報論	3･4前		2			1				
		現代メディア史	3･4後		2			1				
		国際政治論演習A	3前		2			1				
		国際政治論演習B	3前		2			1				
		国際経済論演習	3前		2			1				
		国際社会論演習	3前		2			1				
		課題研究B	3後		2			4				
	言語文化系科目群	英語圏言語文化論	2後		2		1					
		中国言語文化論	2後		2		1					
		英語圏文芸論	2後		2			1				
		英語研究A	3･4前		2		1					
		英語研究B	3･4後		2		1					
		中国語研究A	3･4後		2		1					
		中国語研究B	3･4前		2		1					
		社会言語学	3･4前		2		1					
		日本語の歴史	3･4前		2		1					

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
専門科目	観光・地域創生系科目群	ｲﾝﾊﾞｳﾝﾄﾞ観光論	3･4前		2							1
		ﾎｽﾋﾟﾀﾘﾃｨﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ	3･4前		2			1				1
		観光人材育成	3･4後		2			1				
		ﾊﾞﾘｱﾌﾘｰﾂｰﾘｽﾞﾑ論	3･4後		2			1				
		ｸﾞﾘｰﾝﾂｰﾘｽﾞﾑ論	3･4後		2		1					
		観光人類学	3･4後		2		1					
		観光地理学	3･4後		2		1					
		多文化共生社会論	3･4後		2		1	1				
		地域ﾌﾞﾗﾝﾃﾞｨﾝｸﾞ論	3･4前		2		1					
		地域産業論	3･4後		2		1					
		フードシステム論	3･4前		2		1					
		農村地域振興論	3･4後		2		1					
		財政学	3･4前		2		1					
		社会調査法	3･4後		2			1				
		地理情報学概説	3･4前		2							1
		観光学演習A	3前		2		1					
		観光学演習B	3前		2			1				
		観光学演習C	3前		2		1					
		地域創生演習	3前		2		1					
		多文化共生社会演習	3前		2			1				
		課題研究A	3後		2		3	1				
	政治経済系科目群	国際政治論	2後		2			2				
		国際貿易論	2後		2			1				
		中国語圏社会文化論	2後		2			1				
		アジア現代史概論	2後		2							1
		東南アジア地域社会論	3･4前		2			1				
		NGO論	3･4後		2			1				
		国際協力論	3･4前		2			1				
		イスラーム社会論	3･4前		2			1				
		中東政治論	3･4後		2			1				
		資源エネルギー・環境論	3･4前		2			1				
		新興国経済論	3･4後		2			1				
		グローカル論	3･4前		2			1				
		サブカルチャー論	3･4後		2			1				
		メディア情報論	3･4前		2			1				
		現代メディア史	3･4後		2			1				
		国際政治論演習A	3前		2			1				
		国際政治論演習B	3前		2			1				
		国際経済論演習	3前		2			1				
		国際社会論演習	3前		2			1				
		課題研究B	3後		2			4				
	言語文化系	英語圏言語文化論	2後		2		1					
		中国言語文化論	2後		2		1					
		英語圏文芸論	2後		2			1				
		英語研究A	3･4前		2		1					
		英語研究B	3･4後		2		1					
		中国語研究A	3･4後		2		1					
		中国語研究B	3･4前		2		1					
		社会言語学	3･4前		2		1					
		日本語の歴史	3･4前		2		1					

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
				必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門科目	言語文化系	語用論	3･4前		2					1		
		日英対照言語表現論	3･4後		2					1		
		比較文学論	3･4後		2		1					3
		日本古典読解	3･4前		2		1					
		相互理解の心理学	3･4後		2			1				
		言語学演習	3後		2		1					
		社会言語学演習	3前		2		1					
		日本語学演習	3前		2		1					
		英語学演習	3前		2					1		
		中国語学演習	3後		2		1					
		日本文化論演習	3後		2		1					
	学部共通科目	卒業論文	4通	8			8	7		1		
		ｲﾝﾀｰﾝｼｯﾌﾟⅠ	3前		2		3	2				
		ｲﾝﾀｰﾝｼｯﾌﾟⅡ	3前･後		2		3	2				
		異文化体験実習	2･3前 2･3後		4		3	2		1		
		海外語学研修	2･3前 2･3後		4		4	1		1		
		地域実習	3･4通		2		5	2				

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
				必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門科目	言語文化系	語用論	3･4前		2					1		
		日英対照言語表現論	3･4後		2					1		
		比較文学論	3･4後		2		1					3
		日本古典読解	3･4前		2		1					
		相互理解の心理学	3･4後		2			1				
		言語学演習	3後		2		1					
		社会言語学演習	3前		2		1					
		日本語学演習	3前		2		1					
		英語学演習	3前		2					1		
		中国語学演習	3後		2		1					
		日本文化論演習	3後		2		1					
	学部共通科目	卒業論文	4通	8			8	7		1		
		ｲﾝﾀｰﾝｼｯﾌﾟⅠ	3前		2		3	2				
		ｲﾝﾀｰﾝｼｯﾌﾟⅡ	3前･後		2		3	2				
		異文化体験実習	2･3前 2･3後		4		3	2		1		
		海外語学研修	2･3前 2･3後		4		4	1		1		
		地域実習	3･4通		2		5	2				

（注）・　認可申請書又は設置届出書の様式第２号（その２の１）に準じて作成してください。
・　設置認可時又は届出時の授業科目全て（兼任，兼担教員が担当する科目を含む。）を黒字で記載してください。
その上で，認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。
・　履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。
・　１ページ目には認可時又は届出時と平成３０年度の表を記入してください。
・　不要な年度（平成２８年度開設であれば平成２７年度、平成２９年度開設であれば平成２７年度及び平成２８年度、平成３０年度開設であれば平成２７年度から平成２９年度）の表は適宜削除し，詰めてください。
（２つの表が１ページに表示されるようにしてください。）

（１）ー②授業科目表に関する変更内容

【平成３０年度】

・教育内容の向上を図るため、「医療と文化」の担当教員を「兼任教員」から「専任教員」に変更（ＡＣ教員審査に提出し審査中。審査により認められれば、授業科目表記載のとおり実施する）。
・兼任教員の本業の予定と合わない理由により、「日本国憲法」の開講時期を「１前」から「１後」に変更。
・兼任教員の本業の予定と合わない理由により、「データ科学と社会」の開講時期を「１前」から「１後」に変更。
（３０年度において、翌年度より専任教員となる新田雅道教授が兼任教員として授業を担当）
・兼任教員の本業の予定と合わない理由により、「統計学」の開講時期を「１前」から「１後」に変更。
・兼任教員に係る時間割調整に伴う共通教育科目（一般科目（科学力））における学生の授業履修の調整を行うため、
「教養としての数学」の開講時期を「１後」から「１前」に変更。

（注）・　変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を箇条書きで記入してください。
変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
・　変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
・　不要な年度（平成２８年度開設であれば平成２７年度、平成２９年度開設であれば平成２７年度及び平成２８年度、
平成３０年度開設であれば平成２７年度から平成２９年度）の表は適宜削除してください。

（２）授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計（Ａ）	必修	選択	自由	計	
19 科目	139 科目	4 科目	162 科目	19 科目 [0]	139 科目 [0]	4 科目 [0]	162 科目 [0]	

（注）・　未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに，［　］内に，設置時の計画からの増減を
記入してください。（記入例：１科目減の場合：△１）

（３） 未開講科目

該当なし

番号	授業科目名	単 位 数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1						
2						
3						

（注）・　配当年次に達しているにも関わらず，何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。
・　履修希望者がいなかったために未開講となった科目については，記入しないでください。
・　教職大学院の場合は，「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

（４） 廃止科目

該当なし

番号	授業科目名	単 位 数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1						
2						
3						

（注）・　設置時の計画にあり，何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。
・　教職大学院の場合は，「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

（５） 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

（注）・　授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

（６） 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目（３）と廃止科目（４）の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計（Ａ）}} = \frac{0}{162} = 0\%$$

（注）・　小数点以下第３位を切り捨て，小数点以下第２位まで表示されます。
・　「未開講科目と廃止科目の計」が、「（３）未開講科目」と「（４）廃止科目」の合計数となるように留意してください。

３　施設・設備の整備状況，経費

区分		内容				備考
(1) 校地等	区分	専用	共用	共用する他の学校等の専用	計	
	校舎敷地	18,962.05 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	18,962.05 ㎡	末広キャンパス 借用面積：3,676 ㎡ 借用期間：25年
	運動場用地	14,271.00 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	14,271.00 ㎡	
	小計	33,233.05 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	33,233.05 ㎡	
	その他	8,251.28 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	8,251.28 ㎡	
	合計	41,484.33 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	41,484.33 ㎡	
(2) 校舎		専用	共用	共用する他の学校等の専用	計	末広キャンパス 借用面積：930 ㎡ 借用期間：25年 中央キャンパス 借用面積：4,030 ㎡ 借用期間：25年
		16,305.47 ㎡ (4,555.95 ㎡)	0 ㎡ (3,644.67 ㎡)	0 ㎡ (4,926.47 ㎡)	16,305.47 ㎡ (13,127.09 ㎡)	

(3) 教室等	講義室	演習室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	備考
	23 室	12 室	18 室	0 室 (補助職員 0人)	0 室 (補助職員 0人)	大学全体

(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称	室数	備考
	国際文化交流学部 国際文化交流学科	17 室	

(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標本 点	備考
	国際文化交流学部 国際文化交流学科	12,000〔513〕 (14,878〔1,128〕)	54〔20〕 (374〔346〕)	20〔20〕 (338〔338〕)	345 (223)	0 (0)	0 (0)	
	計	12,000〔513〕 (13,940〔1,128〕)	54〔20〕 (374〔346〕)	20〔20〕 (338〔338〕)	345 (223)	0 (0)	0 (0)	

(6) 図書館	面積	閲覧座席数	収納可能冊数	備考
	909.83 ㎡	118 席	80,000 冊	大学全体

(7) 体育館	面積	体育館以外のスポーツ施設の概要		備考
	960.00 ㎡	―	―	大学全体

(8) 経費の見積り及び維持方法の概要

経費の見積り 区分	開設年度	完成年度	区分	開設前年度	開設年度	完成年度
教員１人当り研究費等	300千円	300千円	図書購入費	~~6,668千円~~ 15,955千円	6,668千円	3,753千円
共同研究費等	2,000千円	2,000千円	設備購入費	~~130,000千円~~ 111,156千円	98,000千円	3,000千円

学生１人当り納付金	第１年次	第２年次	第３年次	第４年次	第５年次	第６年次
	市内学生868千円 その他1,009千円	636千円	636千円	636千円	― 千円	― 千円

学生納付金以外の維持方法の概要	大学運営費交付金、資産運用収入、雑収入　等

備考：教育環境を向上させるため、全学部に係る共通教育用の図書を、国際文化交流学部の図書として追加購入（30）
共通教育用の図書については、全学分を国際文化交流学部の図書として算定している（30）
設備の一部についてリースにて対応することとしたため（30）
設備購入費は大学全体

（注）・　設置時の計画を，申請書の様式第２号（その１の１）に準じて作成してください。（複数のキャンパスに分かれている場合，複数の様式に分ける必要はありません。なお，「（１）校地等」及び「（２）校舎」は大学全体の数字を，その他の項目はＡＣ対象学部等の数値を記入してください。）

・　運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は，その旨（所要時間・距離等）を「備考」に記入してください。

・　「(５)図書・設備」については，上段に完成年度の予定数値を，下段には平成３０年５月１日現在の数値を記入してください。

・　昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては，変更部分を赤字で見え消し修正するとともに，その理由及び報告年度「（30）」を「備考」に赤字で記入してください。
　なお，昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については，見え消しのまま黒字にしてください。

・　校舎等建物の計画の変更（校舎又は体育館の総面積の減少，建築計画の遅延）がある場合には，「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。

・　国立大学については「（８）経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

４　ＡＣ対象学部等を含む大学等の状況

大学の名称	公立小松大学								備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開設年度	所在地	
	年	人	年次 人	人		倍			
生産システム科学部									
生産システム科学科	4	80	―	320	学士 （工学）	1.00	平成30年度	石川県小松市土居原町10-10 石川県小松市四丁町ヌ1-3	
保健医療学部									
看護学科	4	50	―	200	学士 （看護学）	1.06	平成30年度	石川県小松市土居原町10-10 石川県小松市向本折町へ14-1	
臨床工学学科	4	30	―	120	学士 （臨床工学）	1.13	平成30年度	同上	
国際文化交流学部									
国際文化交流学科	4	80	―	320	学士 （国際文化学）	1.03	平成30年度	石川県小松市土居原町10-10	

大学の名称	小松短期大学								備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開設年度	所在地	
地域創造学科	2年	0人	― 年次 ― 人	0人	短期大学士	― 倍	昭和63年	石川県小松市四丁町ヌ1-3	平成30年4月 学生募集停止

（注）・本調査の対象となっている大学等の設置者（学校法人等）が設置している全ての大学（学部，学科），大学院（専攻）及び短期大学（学科）（ＡＣ対象学部等含む）について，それぞれの学校種ごとに，平成３０年５月１日現在の上記項目の情報を記入してください。

・学部の学科または研究科の専攻等，「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。

※「入学定員を定めている組織ごと」には，課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。

※なお，課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は，法令上規定されている組織上の最小単位（大学であれば「学科」，短期大学であれば「専攻課程」）でも記載してください。

・専攻科に係るものについては，記入する必要はありません。

・ＡＣ対象学部等については、必ず記入するとともに、下線を引いてください。

・「平均入学定員超過率」には，標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第２位まで（小数点以下第３位を切り捨て）を記入してください。

・学生募集を停止している学部等がある場合，入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「－」とし，「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

５　教員組織の状況

＜国際文化交流学部　国際文化交流学科＞

（１）ー① 担当教員表

【認可時又は届出時】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 担当授業科目名
専	教授	岩田　礼 (65) ＜平成30年4月＞ キャリアデザイン・チーム論Ⅲ テーマ別基礎ゼミ 言葉と文化 ※ 国際交流論 ※ 言語学概論 ※ 中国言語文化論 中国語研究Ｂ 中国語学演習 中国語Ｉb 中国語理解Ｉ インターンシップⅠ インターンシップⅡ 異文化体験実習 海外語学研修 地域実習 卒業論文
専	教授	宮崎　猛 (67) ＜平成30年4年＞ テーマ別基礎ゼミ 自然資源と環境問題 地域政策概論 ※ サスティナブルツーリズム論 ※ 観光産業概論 グリーンツーリズム論 地域ブランディング論 【隔年】 地域産業論 【隔年】 観光学演習Ｃ 課題研究Ａ 地域実習 卒業論文
専	教授	VANCE, Timothy John (66) ＜平成30年4月＞ テーマ別基礎ゼミ 言葉と文化 ※ 英語Ｉb 英語Ⅱb 言語学概論 ※ 日本語の歴史 日本語学演習 卒業論文
専	教授	盛田　清秀 (65) ＜平成30年4月＞ キャリアデザイン・チーム論Ⅲ テーマ別基礎ゼミ 経済学 ※ 地域政策概論 ※ 地域再生マネジメント論 フードシステム論 農村地域振興論 【隔年】 財政学 【隔年】 地域創生演習 課題研究Ａ インターンシップⅠ インターンシップⅡ 地域実習 卒業論文
専	教授	西村　聡 (65) ＜平成32年4月＞ テーマ別基礎ゼミ 南加賀の歴史と文化 日本の伝統芸能 文章表現法 日本文化論 比較文学論 ※ 日本古典読解 日本文化論演習 地域実習 卒業論文
兼任	講師	西村　聡 (63) ＜平成30年4月＞ 南加賀の歴史と文化 日本の伝統芸能 文章表現法

【平成３０年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 担当授業科目名
専	教授	岩田　礼 (65) ＜平成30年4月＞ キャリアデザイン・チーム論Ⅲ テーマ別基礎ゼミ 言葉と文化 ※ 国際交流論 ※ 言語学概論 ※ 中国言語文化論 中国語研究Ｂ 中国語学演習 中国語Ｉb 中国語理解Ｉ インターンシップⅠ インターンシップⅡ 異文化体験実習 海外語学研修 地域実習 卒業論文
専	教授	宮崎　猛 (67) ＜平成30年4年＞ テーマ別基礎ゼミ 自然資源と環境問題 地域政策概論 ※ サスティナブルツーリズム論 ※ 観光産業概論 グリーンツーリズム論 地域ブランディング論 【隔年】 地域産業論 【隔年】 観光学演習Ｃ 課題研究Ａ 地域実習 卒業論文
専	教授	VANCE, Timothy John (66) ＜平成30年4月＞ テーマ別基礎ゼミ 言葉と文化 ※ 英語Ｉb 英語Ⅱb 言語学概論 ※ 日本語の歴史 日本語学演習 卒業論文
専	教授	盛田　清秀 (65) ＜平成30年4月＞ キャリアデザイン・チーム論Ⅲ テーマ別基礎ゼミ 経済学 ※ 地域政策概論 ※ 地域再生マネジメント論 フードシステム論 農村地域振興論 【隔年】 財政学 【隔年】 地域創生演習 課題研究Ａ インターンシップⅠ インターンシップⅡ 地域実習 卒業論文
専	教授	西村　聡 (65) ＜平成32年4月＞ テーマ別基礎ゼミ 南加賀の歴史と文化 日本の伝統芸能 文章表現法 日本文化論 比較文学論 ※ 日本古典読解 日本文化論演習 地域実習 卒業論文
兼任	講師	西村　聡 (63) ＜平成30年4月＞ 南加賀の歴史と文化 日本の伝統芸能 文章表現法

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
専	教授	SANDERS, Robert Martin (62) ＜平成30年4月＞	テーマ別基礎ゼミ 中国語研究Ａ 社会言語学 社会言語学演習 中国語Ⅰa 中国語Ⅱa 中国語Ⅲa 中国語Ⅳa 異文化体験実習 海外語学研修 卒業論文
専	教授	岡村　徹 (56) ＜平成30年4月＞	テーマ別基礎ゼミ 英語Ⅰa 英語Ⅱa 英語Ⅱb 言語学概論 ※ 多文化共生社会論 ※ 英語圏言語文化論 英語研究Ａ 【隔年】 英語研究Ｂ 【隔年】 言語学演習 English comprehensionⅠ English comprehensionⅢ English presentationⅡ 海外語学研修 卒業論文
専	教授	杓谷　茂樹 (55) ＜平成30年4月＞	テーマ別基礎ゼミ 文化人類学 スペイン語Ⅰ スペイン語Ⅱ 観光学概論 ※ サスティナブルツーリズム論 ※ 世界遺産を学ぶ 観光資源論 観光人類学 【隔年】 観光地理学 【隔年】 観光学演習Ａ 課題研究Ａ インターンシップⅠ インターンシップⅡ 地域実習 卒業論文
専	教授	刘 酒华 (55) ＜平成30年4月＞	中国語Ⅰ 中国語Ⅱ 中国語Ⅱb 中国語Ⅲb 中国語Ⅳb 中国語理解Ⅱ 中国語表現法 中国語会話 ビジネス中国語 異文化体験実習 海外語学研修
専	准教授	塩谷　サルフィ マクスーダ (63) ＜平成30年4月＞	テーマ別基礎ゼミ 英語Ⅰa 英語Ⅱa 英語Ⅱb 国際交流論 ※ 異文化ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ論 ※ Tourism EnglishⅠ 多文化共生社会論 ※ 多文化共生社会演習 異文化体験実習 海外語学研修 卒業論文
専	准教授	酒井　亨 (52) ＜平成30年4月＞	キャリアデザイン・チーム論Ⅲ テーマ別基礎ゼミ アジア社会論 ※ 中国語圏社会文化論 グローカル論 サブカルチャー論 メディア情報論 国際社会論演習 課題研究Ｂ インターンシップⅠ インターンシップⅡ 地域実習 卒業論文

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
専	教授	SANDERS, Robert Martin (62) ＜平成30年4月＞	テーマ別基礎ゼミ 中国語研究Ａ 社会言語学 社会言語学演習 中国語Ⅰa 中国語Ⅱa 中国語Ⅲa 中国語Ⅳa 異文化体験実習 海外語学研修 卒業論文
専	教授	岡村　徹 (56) ＜平成30年4月＞	テーマ別基礎ゼミ 英語Ⅰa 英語Ⅱa 英語Ⅱb 言語学概論 ※ 多文化共生社会論 ※ 英語圏言語文化論 英語研究Ａ 【隔年】 英語研究Ｂ 【隔年】 言語学演習 English comprehensionⅠ English comprehensionⅢ English presentationⅡ 海外語学研修 卒業論文
専	教授	杓谷　茂樹 (55) ＜平成30年4月＞	テーマ別基礎ゼミ 文化人類学 スペイン語Ⅰ スペイン語Ⅱ 観光学概論 ※ サスティナブルツーリズム論 ※ 世界遺産を学ぶ 観光資源論 観光人類学 【隔年】 観光地理学 【隔年】 観光学演習Ａ 課題研究Ａ インターンシップⅠ インターンシップⅡ 地域実習 卒業論文
専	教授	刘 酒华 (55) ＜平成30年4月＞	中国語Ⅰ 中国語Ⅱ 中国語Ⅱb 中国語Ⅲb 中国語Ⅳb 中国語理解Ⅱ 中国語表現法 中国語会話 ビジネス中国語 異文化体験実習 海外語学研修
専	准教授	塩谷　サルフィ マクスーダ (63) ＜平成30年4月＞	テーマ別基礎ゼミ 英語Ⅰa 英語Ⅱa 英語Ⅱb 国際交流論 ※ 異文化ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ論 ※ Tourism EnglishⅠ 多文化共生社会論 ※ 多文化共生社会演習 異文化体験実習 海外語学研修 卒業論文
専	准教授	酒井　亨 (52) ＜平成30年4月＞	キャリアデザイン・チーム論Ⅲ テーマ別基礎ゼミ アジア社会論 ※ 中国語圏社会文化論 グローカル論 サブカルチャー論 メディア情報論 国際社会論演習 課題研究Ｂ インターンシップⅠ インターンシップⅡ 地域実習 卒業論文

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
専	准教授	中子(佐藤) 富貴子 (50) ＜平成30年4月＞	テーマ別基礎ゼミ 観光学概論 ※ サスティナブルツーリズム論 ※ ホスピタリティマネジメント ※ 観光人材育成論 【隔年】 バリアフリーツーリズム論 【隔年】 社会調査法 観光学演習Ｂ 課題研究Ａ インターンシップⅠ インターンシップⅡ 地域実習 卒業論文
専	准教授	小原　文衛 (49) ＜平成30年4月＞	テーマ別基礎ゼミ 英語Ⅰa 英語Ⅱa 国際交流論 ※ 異文化ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ論 ※ English comprehension Ⅱa 英語圏文芸論 卒業論文
専	准教授	一ノ渡　忠之 (43) ＜平成30年4月＞	テーマ別基礎ゼミ 経済学 ※ ロシア語Ⅰ ロシア語Ⅱ グローバルヒストリー ※ 国際貿易論 資源エネルギー・環境論 新興国経済論 国際経済論演習 課題研究Ｂ English comprehensionⅡb 卒業論文
専	准教授	木村　誠 (38) ＜平成31年4月＞	テーマ別基礎ゼミ 心理学 人間の発達と心 国際交流論 ※ 相互理解の心理学 異文化体験実習
兼任	講師	木村　誠 (37) ＜平成30年4月＞	テーマ別基礎ゼミ 心理学 人間の発達と心
専	准教授	木場　紗綾 (37) ＜平成30年4月＞	テーマ別基礎ゼミ 政治学 ※ アジア社会論 ※ 国際政治論 ※ 東南アジア地域社会論 NGO論 国際協力論 国際政治論演習Ａ 課題研究Ｂ 卒業論文
専	准教授	千葉　悠志 (32) ＜平成30年4月＞	テーマ別基礎ゼミ 政治学 ※ アジア社会論 ※ 国際政治論 ※ イスラーム社会論 中東政治論 現代メディア史 国際政治論演習B 課題研究Ｂ 卒業論文
専	助教	長辻　幸 (35) ＜平成30年4月＞	テーマ別基礎ゼミ 英語Ⅰa 英語Ⅱa 語用論 日英対照言語表現論 英語学演習 English expressionⅠ English expressionⅢ 異文化体験実習 海外語学研修 卒業論文

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
専	准教授	中子(佐藤) 富貴子 (50) ＜平成30年4月＞	テーマ別基礎ゼミ 観光学概論 ※ サスティナブルツーリズム論 ※ ホスピタリティマネジメント ※ 観光人材育成論 【隔年】 バリアフリーツーリズム論 【隔年】 社会調査法 観光学演習Ｂ 課題研究Ａ インターンシップⅠ インターンシップⅡ 地域実習 卒業論文
専	准教授	小原　文衛 (49) ＜平成30年4月＞	テーマ別基礎ゼミ 英語Ⅰa 英語Ⅱa 国際交流論 ※ 異文化ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ論 ※ English comprehension Ⅱa 英語圏文芸論 卒業論文
専	准教授	一ノ渡　忠之 (43) ＜平成30年4月＞	テーマ別基礎ゼミ 経済学 ※ ロシア語Ⅰ ロシア語Ⅱ グローバルヒストリー ※ 国際貿易論 資源エネルギー・環境論 新興国経済論 国際経済論演習 課題研究Ｂ English comprehensionⅡb 卒業論文
専	准教授	木村　誠 (38) ＜平成31年4月＞	テーマ別基礎ゼミ 心理学 人間の発達と心 国際交流論 ※ 相互理解の心理学 異文化体験実習
兼任	講師	木村　誠 (37) ＜平成30年4月＞	テーマ別基礎ゼミ 心理学 人間の発達と心
専	准教授	木場　紗綾 (37) ＜平成30年4月＞	テーマ別基礎ゼミ 政治学 ※ アジア社会論 ※ 国際政治論 ※ 東南アジア地域社会論 NGO論 国際協力論 国際政治論演習Ａ 課題研究Ｂ 卒業論文
専	准教授	千葉　悠志 (32) ＜平成30年4月＞	テーマ別基礎ゼミ 政治学 ※ アジア社会論 ※ 国際政治論 ※ イスラーム社会論 中東政治論 現代メディア史 国際政治論演習B 課題研究Ｂ 卒業論文
専	助教	長辻　幸 (35) ＜平成30年4月＞	テーマ別基礎ゼミ 英語Ⅰa 英語Ⅱa 語用論 日英対照言語表現論 英語学演習 English expressionⅠ English expressionⅢ 異文化体験実習 海外語学研修 卒業論文

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
兼担	教授	木村　繁男 （67） ＜平成30年4月＞	現代科学技術論 ※
兼担	教授	山田　外史 （68） ＜平成30年4月＞	日本産業史 ※
兼担	教授	山田　良穂 （67） ＜平成30年4月＞	アカデミック・スキルズ 日本産業史　※
兼担	教授	安達　正明 （66） ＜平成30年4月＞	アカデミック・スキルズ 教養としての物理 現代科学技術論 ※
兼担	教授	木村　春彦 （66） ＜平成30年4月＞	データ科学と社会 ※ 現代科学技術論 ※
兼担	教授	川端　信義 （65） ＜平成30年4月＞	現代科学技術論 ※
兼担	教授	田村　博志 （65） ＜平成31年4月＞	教養としての数学 統計学 現代科学技術論 ※
兼任	講師	田村　博志 （64） ＜平成30年4月＞	現代科学技術論 ※
兼担	教授	岩田　佳雄 （65） ＜平成31年4月＞	アカデミック・スキルズ 日本産業史　※
兼任	講師	岩田　佳雄 （64） ＜平成30年4月＞	日本産業史 ※
兼担	教授	新田　雅道 （60） ＜平成31年4月＞	アカデミック・スキルズ
兼任	講師	新田　雅道 （59） ＜平成30年4月＞	アカデミック・スキルズ
兼担	教授	富澤　淳 （59） ＜平成30年4月＞	日本産業史 ※
兼担	教授	上田　芳弘 （60） ＜平成33年4月＞	情報処理基礎 データ科学と社会 ※ 現代科学技術論 ※
兼担	准教授	石若　裕子 （51） ＜平成33年4月＞	情報処理基礎 情報処理応用Ａ
兼担	准教授	疋津　正利 （47） ＜平成30年4月＞	情報処理基礎
兼担	准教授	梶原　祐輔 （32） ＜平成30年4月＞	情報処理基礎 情報処理応用Ａ
兼担	教授	北岡　和代 （64） ＜平成30年4月＞	アカデミック・スキルズ
兼担	教授	中島　素子 （65） ＜平成30年4月＞	健康と体の科学 ※
兼担	教授	松井　優子 （52） ＜平成30年4月＞	アカデミック・スキルズ
兼担	教授	德田　真由美 （52） ＜平成30年4月＞	アカデミック・スキルズ

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
兼担	教授	木村　繁男 （67） ＜平成30年4月＞	現代科学技術論 ※
兼担	教授	山田　外史 （68） ＜平成30年4月＞	日本産業史 ※
兼担	教授	山田　良穂 （67） ＜平成30年4月＞	アカデミック・スキルズ 日本産業史　※
兼担	教授	安達　正明 （66） ＜平成30年4月＞	アカデミック・スキルズ 教養としての物理 現代科学技術論 ※
兼担	教授	木村　春彦 （66） ＜平成30年4月＞	データ科学と社会 ※ 現代科学技術論 ※
兼担	教授	川端　信義 （65） ＜平成30年4月＞	現代科学技術論 ※
兼担	教授	田村　博志 （65） ＜平成31年4月＞	教養としての数学 統計学 現代科学技術論 ※
兼任	講師	田村　博志 （64） ＜平成30年4月＞	現代科学技術論 ※
兼担	教授	岩田　佳雄 （65） ＜平成31年4月＞	アカデミック・スキルズ 日本産業史　※
兼任	講師	岩田　佳雄 （64） ＜平成30年4月＞	日本産業史 ※
兼担	教授	新田　雅道 （60） ＜平成31年4月＞	アカデミック・スキルズ
兼任	講師	新田　雅道 （59） ＜平成30年4月＞	アカデミック・スキルズ
兼担	教授	富澤　淳 （59） ＜平成30年4月＞	日本産業史 ※
兼担	教授	上田　芳弘 （60） ＜平成33年4月＞	情報処理基礎 データ科学と社会 ※ 現代科学技術論 ※
兼担	准教授	石若　裕子 （51） ＜平成33年4月＞	情報処理基礎 情報処理応用Ａ
兼担	准教授	疋津　正利 （47） ＜平成30年4月＞	情報処理基礎
兼担	准教授	梶原　祐輔 （32） ＜平成30年4月＞	情報処理基礎 情報処理応用Ａ
兼担	教授	北岡　和代 （64） ＜平成30年4月＞	アカデミック・スキルズ
兼担	教授	中島　素子 （65） ＜平成30年4月＞	健康と体の科学 ※
兼担	教授	松井　優子 （52） ＜平成30年4月＞	アカデミック・スキルズ
兼担	教授	德田　真由美 （52） ＜平成30年4月＞	アカデミック・スキルズ

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
兼担	准教授	佐藤　大介 (38) ＜平成30年4月＞	アカデミック・スキルズ
兼担	教授	中山　謙二 (72) ＜平成31年4月＞	アカデミック・スキルズ 統計学
兼任	講師	中山　謙二 (71) ＜平成30年4月＞	アカデミック・スキルズ 統計学
兼担	教授	井関　尚一 (66) ＜平成30年4月＞	アカデミック・スキルズ
兼担	教授	八賀　正司 (64) ＜平成30年4月＞	アカデミック・スキルズ
兼担	准教授	李　鍾昊 (44) ＜平成30年4月＞	教養としての物理
兼担	准教授	辻村　真一 (39) ＜平成30年4月＞	情報処理応用Ｂ
兼担	講師	井澤　純子 (48) ＜平成30年4月＞	情報処理基礎 教養としての数学
兼任	講師	南保　英孝 (46) ＜平成30年4月＞	情報処理基礎
兼任	講師	三浦　要 (59) ＜平成30年4月＞	哲学 クリティカルシンキング
兼任	講師	宇根　義己 (38) ＜平成30年4月＞	人文地理学 地理情報学概説
兼任	講師	碇　陽子 (41) ＜平成30年4月＞	医療と文化
兼任	講師	溝部　明男 (68) ＜平成30年4月＞	社会学
兼任	講師	木村　高宏 (43) ＜平成30年4月＞	公共政策論
兼任	講師	井上　英夫 (70) ＜平成30年4月＞	社会福祉論
兼任	講師	山崎　友也 (45) ＜平成30年4月＞	日本国憲法
兼任	講師	榊原　千秋 (56) ＜平成30年4月＞	健康と体の科学 ※
兼任	講師	松下　裕子 (58) ＜平成30年4月＞	スポーツ演習（バレーボール） スポーツ演習（硬式テニス） スポーツ演習（フットサル） スポーツ演習（卓球） スポーツ演習（バドミントン）
兼任	講師	川畠　嘉美 (49) ＜平成32年4月＞	英語Ｉａ
兼任	講師	ABE DAVID KIYOSHI (55) ＜平成32年4月＞	英語Ｉａ

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
兼担	准教授	佐藤　大介 (38) ＜平成30年4月＞	アカデミック・スキルズ
兼担	教授	中山　謙二 (72) ＜平成31年4月＞	アカデミック・スキルズ 統計学
兼任	講師	中山　謙二 (71) ＜平成30年4月＞	アカデミック・スキルズ 統計学
兼担	教授	井関　尚一 (66) ＜平成30年4月＞	アカデミック・スキルズ
兼担	教授	八賀　正司 (64) ＜平成30年4月＞	アカデミック・スキルズ
兼担	准教授	李　鍾昊 (44) ＜平成30年4月＞	教養としての物理
兼担	**准教授**	**藤田　一寿** **(39)** **＜平成30年7月＞**	情報処理応用Ｂ
兼担	講師	井澤　純子 (48) ＜平成30年4月＞	情報処理基礎 教養としての数学
兼任	講師	南保　英孝 (46) ＜平成30年4月＞	情報処理基礎
兼任	講師	三浦　要 (59) ＜平成30年4月＞	哲学 クリティカルシンキング
兼任	講師	宇根　義己 (38) ＜平成30年4月＞	人文地理学 地理情報学概説
専	**教授**	**横川　善正** **(69)** **＜平成30年4月＞**	医療と文化
兼任	講師	溝部　明男 (68) ＜平成30年4月＞	社会学
兼任	講師	木村　高宏 (43) ＜平成30年4月＞	公共政策論
兼任	講師	井上　英夫 (70) ＜平成30年4月＞	社会福祉論
兼任	講師	山崎　友也 (45) ＜平成30年4月＞	日本国憲法
兼任	講師	榊原　千秋 (56) ＜平成30年4月＞	健康と体の科学 ※
兼任	講師	松下　裕子 (58) ＜平成30年4月＞	スポーツ演習（バレーボール） スポーツ演習（硬式テニス） スポーツ演習（フットサル） スポーツ演習（卓球） スポーツ演習（バドミントン）
兼任	講師	川畠　嘉美 (49) ＜平成32年4月＞	英語Ｉａ
兼任	講師	ABE DAVID KIYOSHI (55) ＜平成32年4月＞	英語Ｉａ

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
兼任	講師	Raker Vincent ERIC (49) ＜平成30年4月＞	英語Ⅰb 英語Ⅱb English presentation Ⅰ
兼任	講師	ERTL JOHN JOSEF (43) ＜平成30年4月＞	英語Ⅰb Tourism EnglishⅡ
兼任	講師	FOX SENAN JAMES (42) ＜平成30年4月＞	英語Ⅱb
兼任	講師	島内　俊彦 (48) ＜平成30年4月＞	英語Ⅲ 実用英語Ⅰ 実用英語Ⅱ 実用英語Ⅲ 実用英語Ⅳ
兼任	講師	岩津　航 (42) ＜平成30年4月＞	フランス語Ⅰ フランス語Ⅱ 比較文学論 ※
兼任	講師	名執　純子 (49) ＜平成30年4月＞	ドイツ語Ⅰ ドイツ語Ⅱ
兼任	講師	田邊　文彦 (64) ＜平成32年4月＞	マーケティング調査論
兼任	講師	小野田　金司 (60) ＜平成30年4月＞	インバウンド観光論
兼任	講師	Pornpisanu Promsivapallop (44) ＜平成32年4月＞	ホスピタリティマネジメント　※
兼任	講師	古泉　達矢 (39) ＜平成31年4月＞	グローバルヒストリー　※ アジア現代史概論
兼任	講師	上田　望 (54) ＜平成32年4月＞	比較文学論 ※
兼任	講師	鈴木　暁世 (42) ＜平成32年4月＞	比較文学論 ※
兼任	講師	結城　正美 (50) ＜平成31年4月＞	English comprehensionⅠ English expressionⅠ
兼任	講師	LYNCH Gavin Leigh (42) ＜平成31年4月＞	English expressionⅡa English expressionⅡb
兼任	講師	遠藤　英樹 (57) ＜平成31年4月＞	観光社会学

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
兼任	講師	Raker Vincent ERIC (49) ＜平成30年4月＞	英語Ⅰb 英語Ⅱb English presentation Ⅰ
兼任	講師	ERTL JOHN JOSEF (43) ＜平成30年4月＞	英語Ⅰb Tourism EnglishⅡ
兼任	講師	FOX SENAN JAMES (42) ＜平成30年4月＞	英語Ⅱb
兼任	講師	島内　俊彦 (48) ＜平成30年4月＞	英語Ⅲ 実用英語Ⅰ 実用英語Ⅱ 実用英語Ⅲ 実用英語Ⅳ
兼任	講師	岩津　航 (42) ＜平成30年4月＞	フランス語Ⅰ フランス語Ⅱ 比較文学論 ※
兼任	講師	名執　純子 (49) ＜平成30年4月＞	ドイツ語Ⅰ ドイツ語Ⅱ
兼任	講師	田邊　文彦 (64) ＜平成32年4月＞	マーケティング調査論
兼任	講師	小野田　金司 (60) ＜平成30年4月＞	インバウンド観光論
兼任	講師	Pornpisanu Promsivapallop (44) ＜平成32年4月＞	ホスピタリティマネジメント　※
兼任	講師	古泉　達矢 (39) ＜平成31年4月＞	グローバルヒストリー　※ アジア現代史概論
兼任	講師	上田　望 (54) ＜平成32年4月＞	比較文学論 ※
兼任	講師	鈴木　暁世 (42) ＜平成32年4月＞	比較文学論 ※
兼任	講師	結城　正美 (50) ＜平成31年4月＞	English comprehensionⅠ English expressionⅠ
兼任	講師	LYNCH Gavin Leigh (42) ＜平成31年4月＞	English expressionⅡa English expressionⅡb
兼任	講師	遠藤　英樹 (57) ＜平成31年4月＞	観光社会学

（注）・　申請書又は届出書の様式第３号（その２の１）に準じて作成してください。
・　設置認可時又は届出時の教員全て（兼任，兼担教員を含む。）を黒字で記入してください。
その上で，**認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。**
・　年齢は，**それぞれの年度の５月１日時点の満年齢**を記入してください。
・　専任、兼担、兼任の順に記入してください。
・　不要な年度（平成２８年度開設であれば平成２７年度、平成２９年度開設であれば平成２７
平成２９年度）の表は適宜削除し，詰めてください。

（１）ー②担当教員表に関する変更内容

【平成３０年度】

・共通教育科目「医療と文化」（後期に開講）の担当教員について、教育効果の向上をよりよいものにするため、兼任教員の碇洋子から、専任教員のとして雇用する横川善正教授に変更。（３０年４月から授業を担当しない専任教員として採用し、平成３０年度第１回ＡＣ教員審査に提出（審査中））

（注）・　変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
・　**認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合**は，当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し，大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
・　「専任教員採用等変更書（ＡＣ）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「○年○月教員審査済」と記入してください。なお，設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は，「教員審査省略」と記入してください。
・　不要な年度（平成２８年度開設であれば平成２７年度、平成２９年度開設であれば平成２７年度及び平成２８年度、平成３０年度開設であれば平成２７年度から平成２９年度）の表は適宜削除してください。

（２） 専任教員数等

（２）－① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要専任教員数	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数
10 名	5 名

（注）・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二条別表第一イにより算出される専任教員数を記入してください。

（２）－② 専任教員数

設置時の計画					現在（報告書提出時）の状況					現在（報告書提出時）の完成年度時の計画				
教 授	准教授	講 師	助 教	計（A）	教 授	准教授	講 師	助 教	計（B）	教 授	准教授	講 師	助 教	計（C）
9	8	0	1	18	9	7	0	1	17	10	8	0	1	19
(8)	(7)	(0)	(1)	(16)						[1]	[0]	[0]	[0]	[0]

（注）・「設置時の計画」には，設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに，（ ）内に開設時の状況を記入してください。
・「現在（報告書提出時）の状況」には、報告書提出年度の５月１日の教員数（実人数）を記入してください。
・**「現在（報告書提出時）の完成年度時の計画」には，「現在（報告書提出時）の状況」に記入した数字に，教員審査を受審済みであり，完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入**するとともに，［ ］内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：１名減の場合：△１）

（２）－③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告書提出時（上記（B））の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記（C））の教員うち、定年を延長して採用する教員数
65 歳	3 名	8 名

（注）・「年齢構成」には，当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません），および，平成３０年５月１日現在，定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
・なお,職位等によって定年年齢が異なる場合には,職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し，「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

（２）－④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在(報告書提出時)の完成年度時の計画(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{19}{18} = \boxed{105.55}\ \%$$

（注）・ 小数点以下第３位を切り捨て，小数点以下第２位まで表示されます。

（２）－⑤ 現在（報告書提出時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告書提出時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在(報告書提出時)の状況(B)}} = \frac{3}{17} = \boxed{17.64}\ \%$$

（注）・ 小数点以下第３位を切り捨て，小数点以下第２位まで表示されます。

（３） 専任教員辞任等の理由

（３）－① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番　号	職　位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由
		該当なし				

合計（D）			後任補充状況の集計（E）		
就任を辞退した教員数	担当科目数の合計（a）+（b）+（c）		①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）
0　人	必修	0　科目	必修　0　科目	必修　0　科目	必修　0　科目
	選択	0　科目	選択　0　科目	選択　0　科目	選択　0　科目
	自由	0　科目	自由　0　科目	自由　0　科目	自由　0　科目
	計	0　科目	計　0　科目	計　0　科目	計　0　科目

（注）・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。
就任した後に辞任した教員は、以下「（３）－②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに就任を辞退した場合，赤字にて記入するとともに，
「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（　）書きで報告年度を記入してください。
・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、
「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・専任教員が担当する（している）場合は「①」
・兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

（３）－② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番　号	職　位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
		該当なし				

合計（F）			後任補充状況の集計（G）		
辞任した教員数	担当科目数の合計（a）+（b）+（c）		①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）
0　人	必修	0　科目	必修　0　科目	必修　0　科目	必修　0　科目
	選択	0　科目	選択　0　科目	選択　0　科目	選択　0　科目
	自由	0　科目	自由　0　科目	自由　0　科目	自由　0　科目
	計	0　科目	計　0　科目	計　0　科目	計　0　科目

（注）・ 一度就任した後に、**定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員**について記入してください。
・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合，赤字にて記入するとともに，「辞任等の理由」
に辞任理由等および（　）書きで報告年度を記入してください。
・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、
「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・専任教員が担当する（している）場合は「①」
・兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

（３）－③ 上記（３）－① ・ （３）－② の合計

合計（D）＋（F）			後任補充状況の集計（E）＋（G）		
辞任等した教員数	担当科目数の合計（a）+（b）+（c）		①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）
0　人	必修	0　科目	必修　0　科目	必修　0　科目	必修　0　科目
	選択	0　科目	選択　0　科目	選択　0　科目	選択　0　科目
	自由	0　科目	自由　0　科目	自由　0　科目	自由　0　科目
	計	0　科目	計　0　科目	計　0　科目	計　0　科目

（３）－④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3)-③合計(D)+(F)}{(2)-②設置時の計画(A)} = \frac{0}{18} = \boxed{0}\ \%$$

（注）・ 小数点以下第３位を切り捨て，小数点以下第２位まで表示されます。

（3）ー⑤　定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番　号	職　位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
		該当なし				

合計				後任補充状況の集計								
辞任した教員数	担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）			②の合計数（b）			③の合計数（c）		
0　人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
	計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

（注）・　**定年により退職した全ての専任教員**についてに記入してください。
・　昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合，赤字にて記入するとともに，「辞任等の理由」に辞任理由等および（　）書きで報告年度を記入してください。
・　また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・専任教員が担当する（している）場合は「①」
・兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

（4）専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

（注）・　上記（3）の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

６　留意事項等に対する履行状況等

区　　分	留　意　事　項　等		履　行　状　況		未履行事項についての実施計画
設　置　時 （２９年８月）	・設置の趣旨・目的等が生かされるよう、設置計画を確実に履行すること。また、開設時から４年制大学にふさわしい教育研究活動を行うことはもとより、その水準を一層向上させるよう努めること。	留意事項	・理事長・学長のトップマネジメントのもとに、設置計画を確実に履行し、的確な大学運営を行っている。 ・教育研究活動水準の向上に向け、全学委員会及び学部教授会の両体制から取り組みを行うことを予定している。（３０年度）	未履行	・５月に６年間の計画である中期計画（6年間の計画）を策定し、その後、年度計画を策定する。 ・年度計画を踏まえ、全学委員会である「教育企画委員会」、「研究・地域連携委員会」が具体的な活動計画を策定し、個々の活動は学部教授会のもとに行っていく。（３０年度）
設　置　時 （２９年８月）	・「インターンシップ」及び「地域実習」の教育効果を高めるためには担当教員が十分に関わることが重要だが、一方で、研究に従事する時間の確保が困難になる等の弊害も考えられるため、関係する委員会、各センター及び各教員の役割分担や責任の所在を明確に設定する等により、担当教員の研究時間の確保に努めること。	留意事項	・開学から１ヵ月を迎え、各センターや全学委員会の活動が開始されている。「インターンシップ」や「地域実習」に対する支援について、具体的な議論を行い、全学として支援する体制を構築していく。 ・担当教員の負担を軽減するため、テーマ設定や他の教員による支援体制などの詳細な検討を行う。（３０年度）	未履行	・「インターンシップ」及び「地域実習」は平成32年度より開講される科目であり、平成31年度に受入先との調整を行うことを計画している。 ・平成30年度においては、実習にあたって関係する組織・教員の役割や責任の明確化を行い、具体的な実施計画の検討に入る。 ・平成31年度には、担当教員ごとの具体的な業務内容を定め、この中で研究時間の確保についても十分に留意していく。（３０年度）
設　置　時 （２９年８月）	・「インターンシップ」と「地域実習」の学修目的の違いが分かりづらいため、学生がこれらの科目の学修目的を正しく理解した上で、履修ができるよう十分に周知すること。	留意事項	・入学時の学部オリエンテーションにおいて、それぞれの授業科目の学修目的や違いについて履修指導している。 ・今後も継続的に、学生への説明を行う機会を設け、学修目的を正しく理解できるよう努めていく。（３０年度）	履行済	・学生と担当教員が行う定期的な面談や、進級時などにオリエンテーションを行うなど、きめ細かな学習支援を行うため、学生の声を聴き、学習指導に生かしていく。（３０年度）
設　置　時 （２９年８月）	・「観光社会学」については、観光学の基幹科目となることから、専門的知識のある教員を専任として確保できるよう努めること。	留意事項	・本学部の基幹科目である「観光社会学」については、当該分野で著名な教授を非常勤講師として招くこととなっている。（３０年度）	未履行	・ディプロマポリシーに照らし、観光学に係る学修の到達度を把握・認識するとともに、より高い教育効果を得られるよう、できるだけ早い時期に専任教員を確保するよう努める。（３０年度）
設　置　時 （２９年８月）	・運動場及び体育館が別地にあることから、教育に支障のないようにすることはもとより、学生の課外活動等に配慮すること。	留意事項	・スポーツ演習科目においては、中央キャンパス近くの体育施設を利用するとともに、シャトルバスの運行により支障が生じないよう対応している。 ・小松市により、中央キャンパスの近傍に課外活動の拠点として利用できる建物が設置され、学生の活動を支える環境がより整いつつある。（３０年度）	履行済	・今後も、アンケート等により学生のニーズの把握に努め、地域社会との協力のもとに、教育環境の向上を図っていく。（３０年度）

設　置　時 （２９年８月）	・完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について着実に実施すること。	留意事項	・中長期的な観点から、教員採用・育成のための計画を策定し、それに沿って教員人事の適正な運用を行う予定である。（３０年度）	未履行	・今年度中に、完成年度までの教員採用・育成計画を策定に着手する。策定後は、計画のもとに、教員の公募・育成等を行うとともに、適宜ＡＣ教員審査に諮っていく。（３０年度）

（注）・　「設置時」には，当該大学等の設置時（認可時又は届出時）に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）　と，それに対する履行状況等について，具体的に記入し，報告年度を（　　）書きで付記してください。

・　「設置計画履行状況調査時」には，当該設置計画履行状況調査の結果，**当該大学に付された意見を全て記入**するとともに，付された意見に対する履行状況等について，具体的に記入してください。その履行状況等を裏付ける資料があれば，添付してください。

・　「履行状況」では，履行途中であれば「未履行」，履行済みであれば「履行済」を選択してください。

・　該当がない場合には，「該当なし」と記入してください。

・　「設置計画履行状況調査時」の（年月）には，調査結果を公表した月（通常２月）を記入してください。（実地調査や面接調査を実施した日ではありません。）

７　その他全般的事項

＜国際文化交流学部　国際文化交流学科＞

（１） 設置計画変更事項等

設　置　時　の　計　画	変更内容・状況，今後の見通しなど
該当なし	

（注）・　１～６の項目に記入した事項以外で，設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）
及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

（２） 教員の資質の維持向上の方策（ＦＤ・ＳＤ活動含む）

①　実施体制

ａ　委員会の設置状況

公立小松大学ＦＤ・ＳＤ推進委員会規則を制定（３０年４月）

ｂ　委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

未開催（３０年６月第１回会議を開催予定）

ｃ　委員会の審議事項等

ＦＤ・ＳＤの推進計画の策定、実施に関すること

②　実施状況

ａ　実施内容

実施内容については、今後開催する公立小松大学ＦＤ・ＳＤ推進委員会により審議を行っていく。

ｂ　実施方法

実施方法については、今後開催する公立小松大学ＦＤ・ＳＤ推進委員会により審議を行っていく。

ｃ　開催状況（教員の参加状況含む）

未開催のため該当なし。

ｄ　実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

未実施のため該当なし。実施後に取り組みを行っていく。

③　学生に対する授業評価アンケートの実施状況

ａ　実施の有無及び実施時期

未実施。３０年度前期開講科目終了時に、授業評価アンケートを実施を予定。

ｂ　教員や学生への公開状況，方法等

学科ごとに集計を行い教員全体で内容を共有することを予定している。また、学生に対しては、学内掲示板等により結果を公表することを予定している。

（注）・「①ａ　委員会の設置状況」には，関係規程等を転載又は添付すること。
「②実施状況」には，実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

（３） 自己点検・評価等に関する事項

①　設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

開学後１ヵ月が経過し、設置認可申請書に記載した内容に沿って、大学運営が行われている。引き続き、設置の趣旨・目的の達成に向かって大学運営を行っていきたい。

②　自己点検・評価報告書

ａ　公表（予定）時期

・平成３１年６月　公表予定

ｂ　公表方法

・大学ホームページ上に公開予定（平成３１年６月末を予定）

③　認証評価を受ける計画

・学内で検討を行っている。

（注）・　設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。
また，「①　設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については，できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。
なお，「②　自己点検・評価報告書」については，当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

（４） 情報公表に関する事項

○　設置計画履行状況報告書

ａ　ホームページに公表（予定）の有無　（　有　・　無　）

ｂ　公表（予定）有の場合の公表（予定）時期　（　年　月　日　）

（注）・　「ａ　ホームページに公表（予定）有無」には，５月１日時点で公表している場合，もしくは，今後公表する予定の場合は，「有」にマルを記入してください。今後も公表する予定がない場合は，「無」にマルを記入してください。
・　「ｂ　公表（予定）有の場合の公表（予定）時期」には，「ａ　ホームページに公表（予定）有無」で「有」にマルを記入した場合のみ，時期を記入してください。

公立小松大学ＦＤ・ＳＤ推進委員会規則

平成 30 年４月１日
規則第 10 号

（趣旨）

第１条　この規程は、公立小松大学（以下「大学」という。）の授業の内容及び方法の改善並びに事務職員等を対象とした管理運営や教育・研究支援までを含めた資質向上に関する組織的な取組推進に向け、ファカルティ・ディベロップメント（以下「ＦＤ」という。）及びスタッフ・ディベロップメント（以下「ＳＤ」という。）を実施することを目的として、公立大学法人公立小松大学組織及び運営に関する基本規程第７条に基づき大学に設置する公立小松大学ＦＤ・ＳＤ推進委員会（以下「委員会」という。）の運営等に関し必要な事項を定めるものとする。

（所掌事項）

第２条　委員会は、公立小松大学自己点検・評価委員会（以下、「点検・評価委員会」という。）の定める計画等に基づき、次に掲げる事項を審議するとともに、ＦＤ及びＳＤの組織的な取り組みを推進するための活動を行う。

(1)　大学におけるＦＤ・ＳＤの推進計画に関すること

(2)　大学におけるＦＤ・ＳＤの実施に関すること

(3)　その他ＦＤ・ＳＤの組織的な取組推進に関すること

２　委員会は、各年度における全学的なＦＤ・ＳＤの取組状況の調査をし、その結果を点検・評価委員会に報告するとともに、公表しなければならない。

（組織）

第３条　委員会は次に掲げる委員をもって構成する。

(1)　学長

(2)　副学長

(3)　学部長及び学科長

(4)　事務局長

(5)　総務課長

(6)　その他学長が必要と認めた者

（委員長）

第４条　委員会に委員長を置き、学長をもって充てる。

２　委員長は、委員会を代表し、議事その他の会務を掌理する。

３　委員長に事故があるときは、委員長があらかじめ指名した委員が、その職務を代理する。

（任期）

第５条　第３条第１項第６号に定める委員の任期は２年とする。ただし、再任を妨げな

い。
２　委員が任期途中で退任した場合は、速やかに補充する。
３　前項の委員の任期は、前任者の残任期間とする。
（会議）
第６条　委員会の会議は、委員長が招集し、その議長となる。
２　委員会は、委員の半数以上の出席がなければ開くことができない。
３　会議の議事は、出席者の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。
４　委員会は、委員以外の者（学外者を含む。）の出席を求めて意見を聞くことができる。
（ＦＤ部会）
第７条　ＦＤの取組を学部ごとに組織的に実施するため、各学部にＦＤ部会を置く。
２　ＦＤ部会は、委員会が定める計画等に基づき、学部長の指揮の下にＦＤに関する計画の策定、活動の実施及び委員会への取組状況の報告を行う。
（ＳＤ部会）
第８条　ＳＤの取組を組織的に実施するため、ＳＤ部会を置く。
２　ＳＤ部会は、委員会が定める計画等に基づき、事務局長の指揮の下にＳＤに関する計画の策定、活動の実施及び委員会への取組状況の報告を行う。
（庶務）
第９条　委員会の事務は、事務局総務課において処理する。
（委任）
第10条　この規則に定めるもののほか、委員会に関し必要な事項は、委員会が別に定める。

附 則
この規則は、平成30年４月１日から施行する。